

KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART ANNUAL REPORT 2023

郡山市立美術館年報
令和5年度

目次

郡山市立美術館年報 令和5年度

目次

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格	2
II 展覧会事業	3
1) 常設展	4
2) 企画展	20
III 教育普及事業	52
1) 講演会	52
2) 美術講座	52
3) ギャラリートーク	52
4) 文化講座	53
5) ミュージアム・シアター	53
6) ミュージアム・コンサート	53
7) ワークショップ	54
8) 第21回風土記の丘の美術展	55
9) 第15回風土記の空	55
10) 美術館における鑑賞学習対応	55
11) 博物館実習	55
12) ジュニア・インターンシップ	55
13) 学校連携・対外協力・部局連携	56
14) その他	56
15) 刊行物	57
16) 館外での活動及び関連記事・報道	58
IV 作品収集・保存管理事業	59
1) 新収蔵作品・美術資料一覧	59
2) 収蔵作品貸出状況	69
3) 収蔵作品等の掲載	72
4) 収蔵作品修復状況	72
5) その他の保存管理事業	75
V 利用者数	76
1) 展覧会	76
2) 教育普及事業	77
3) 過去5年間の利用者数の推移状況	77
4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	78
VI 管理運営	79
1) 関係法規	79
2) 名簿・組織	83
3) 建築設備概要・平面図・面積表	84
4) 利用案内	88

I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

沿革

1981（昭和56）年9月	美術館建設懇談会設置
1982（昭和57）年2月	美術館基本構想懇話会設置
1983（昭和58）年3月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985（昭和60）年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987（昭和62）年4月	美術館建設準備室設置
1987（昭和62）年6月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988（昭和63）年1月	美術館建設場所決定
1989（平成元）年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990（平成2）年1月	収蔵美術品特別展示開催（於：郡山市民文化センター） （株）TAK建設・都市計画研究所の設計案当選（同社に設計を委託）
1990（平成2）年3月	美術館建設基本設計完了
1990（平成2）年10月	美術館建設実施設計完了
1990（平成2）年12月	美術館建設工事着工
1992（平成4）年6月	美術館建設本体工事完了
1992（平成4）年7月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992（平成4）年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館
2017（平成29）年10月1日	改修工事のため休館
2018（平成30）年7月7日	再オープン

郡山市立美術館の目的と性格

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本(版)の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また、郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

Ⅱ 展覧会事業

1) 常設展

第1期 令和5年4月26日～7月9日

展示室1：異国情緒を描く

展示室3：郡山の作家たち

展示室2：旅する南薫造

展示室4：①詩と版画

②うつわにみる東洋憧憬

第2期 令和5年7月12日～10月1日

展示室1：版画にみる絵画のエッセンス

展示室3：イギリスのポップアート

展示室2：近代の日本画

展示室4：①明治の版画

②ドレッサーの仕事

第3期 令和5年10月4日～12月27日

展示室1：イギリスの油彩画

展示室3：何に見える？色んなかたち

展示室2：画家とスケッチ

展示室4：①ヴォーティシズムとその周辺

②佐藤潤四郎とガラス

第4期 令和6年1月30日～4月21日

展示室1：イギリス美術とモード

展示室3：“雰囲気”を展示する

展示室2：“雰囲気”を展示する

展示室4：①ブランギンの版画

②工芸にみる造形美

2) 企画展

令和5年4月15日～6月11日

大川美術館コレクションによる 20世紀アート120

令和5年6月24日～8月20日

テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展

令和5年9月2日～10月22日

土橋醇展 パリ、湖南—幻想を追って

令和5年11月3日～12月24日

酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ

令和6年1月30日～3月24日

日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

1) 常設展

令和5年度 第1期 令和5年4月26日～7月9日

展示室1 異国情緒を描く

人は未知の世界に心惹かれるものですが、西洋人は古くから東洋に大きな関心と憧れを寄せてきました。美術の分野では、18世紀になるとトルコ趣味(テュルクリ)や中国趣味(シノワズリ)の人気が高まります。そして19世紀末には、日本の開国をきっかけとして、日本趣味(ジャポネズリ)の一大ブームが西洋諸国に巻き起こりました。

そのような歴史を土壌にして制作された、東洋趣味を取り入れた作品、来日画家が日本の風物を描きとめた絵画、そしてさらに遠くの国々を題材とした書籍を展示します。描き手が異国のどこに感興を覚えたのか、当時の情景と画家の視線へ思いを馳せてお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
バーナード・リーチ	北京の前門	1918	ソフトグラウンドエッチング・紙
バーナード・リーチ	家	1912	エッチング・紙
チャールズ・ワグマン	北京風景	1860	水彩・紙
ロバート・ギビングス(画・刻)	『トンガ純愛実話』	1935	木口木版/本
ロバート・ギビングス(画・刻)	『珊瑚礁を越えて』	1948	木口木版/本
エリック・ウィリアム・ラヴィリアス(画・刻)	M.アームストロング『砂漠、伝説』	1926	木口木版/本
グヴェンドレン・メアリー・ラヴェラ(画・刻)	H.A.ウェッジウッド『東洋奇譚』	1939	木口木版/本
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光の茶屋	1890	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	赤羽、芝公園の一隅	1891	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京、麻布	1891	油彩・板
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889頃	水彩・紙
バーナード・リーチ	立杭		コンテ・紙
バーナード・リーチ	きこり		油彩・紙
チャールズ・ワグマン	水汲み		水彩・紙
チャールズ・ワグマン	物売り		水彩・紙
チャールズ・ワグマン	若い女		水彩・紙
チャールズ・ワグマン	座る日本女性		水彩・紙
チャールズ・ワグマン	ふたりの日本女性		水彩・紙
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
サー・ジョシユア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールドー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス

展示室2 旅する南薫造

明治末から昭和にかけて日本の洋画界に確かな足跡を残した南薫造の画業の展開には、旅が深く関わっています。1907(明治40)年、南は「水彩画が見度かつたので、先づ英國」のロンドンに留学しました。そこでターナーやホイッスラー、ラファエル前派といったイギリス美術にくわえ、博物館で古代美術を研究しています。

次なる外洋への旅は、1916(大正5)年のインドでした。

留学時代からインド美術を模写していた南にとって、待望の旅だったでしょう。約40日間にわたるインド滞在中で10都市以上を訪問し、精力的に写生を行っています。

以降も、4度の朝鮮半島訪問や、台湾と中国への渡航など、官展の審査員や従軍画家としての公務がきっかけの旅を重ねました。今回は、新収蔵品を中心に南の海外での旅路をたどります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
サー・エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	早朝	1878	リトチント・紙	
南 薫造	バーン=ジョーンズ作「水車」模写	1908(明治41)	油彩・キャンバス	
南 薫造	農村風景	1909(明治42)	水彩・紙	
南 薫造	舟を曳く馬	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	農作業	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	ヒナギク	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
南 薫造	風景		水彩・紙	
南 薫造	風景二題	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	風景	1909(明治42)	水彩・紙	
南 薫造	郊外の小道		水彩・紙	
南 薫造	河べりから見た風景		水彩・紙	
南 薫造	河と並木		水彩・紙	
南 薫造	平野		水彩・紙	
南 薫造	ドアの前に立つ少女	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	窓辺の少女	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	少女		水彩・紙	
南 薫造	首飾りとリボンをつけた少女	1907-10(明治40-43)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	窓際に立つ子供		鉛筆・紙	
南 薫造	教会堂		水彩・紙	
南 薫造	川べりの家		水彩・紙	
南 薫造	甲板上の鳥籠	1916(大正5)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	雲		水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	夕日		水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	印度アグラの聖地	1916(大正5)	油彩・キャンバス	
南 薫造	インドの建物	1916(大正5)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	写生するインドの若者	1916(大正5)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	子を抱く母	1916(大正5)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	母と子	1916(大正5)	水彩・紙	南建氏寄贈
南 薫造	京城、景福宮建春門	1925(大正14)	油彩・板	
南 薫造	川筋の家	1925(大正14)	油彩・板	
南 薫造	朝鮮の女	1942(昭和17)頃	水彩・紙	南建氏寄贈
石川 欽一郎	台南の裏町		水彩・紙	

展示室3 郡山の作家たち

当館では、「郷土ゆかりの美術」を作品収集の柱のひとつとしています。県の真ん中に位置する郡山市は、経済活動もさることながら芸術文化活動も盛んな地域であり、美術の分野においても多くの優れた作家を輩出しました。

ふるさと「郡山」で育まれた芸術家たちの温かくも鋭い

まなざしは、劇的に変化を遂げる社会へ、また、変わらずにそこにある故郷へと向けられ、さまざまな芸術作品の源泉となりました。

ここでは、郡山を拠点に活躍した作家たちによる、想いのこもった力強く、多彩な作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
鎌田 正蔵	白日夢	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田 正蔵	飢える人	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田 正蔵	鳥が落ちる(86.4.26の記録)	1986(昭和61)	アクリル・キャンバス	
佐藤 昭一	食事	1952(昭和27)	油彩・板	佐藤昭一氏寄贈
佐藤 昭一	廢坑	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	佐藤昭一氏寄贈
黒沢 吉蔵	河の附近の風景	1956(昭和31)	岩絵具、箔・紙	黒沢吉蔵氏寄贈
黒沢 吉蔵	ガスタンクのある風景	1956(昭和31)	岩絵具、箔・紙	黒沢吉蔵氏寄贈
黒沢 吉蔵	大和箸中	1980(昭和55)	岩絵具・紙	
安藤 重春	虫	1990(平成2)	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤 重春	皎	1987(昭和62)頃	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
芳賀 忠行	虚構の風景—城	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	
水田 莊介	青衣の女	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	
青津 清喜	窓際	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	
佐藤 静司	鰯	1936(昭和11)	木彫	
三木 宗策	達磨		木彫	佐藤静司氏寄贈
三木 宗策	根付		木彫	佐藤静司氏寄贈

展示室4-① 詩と版画

表紙が気になって本を手にしたたり、記憶にとどめた経験はないでしょうか。内容はもちろんですが、かたちある本には、装幀(ブックデザイン)や挿絵、書体にも作り手たちの世界観や美意識が反映されています。版画は古くから本の挿絵という大きな役割を担ってきました。とりわけ詩集に編まれる詩と挿絵には、読み手の想像を誘

う深く豊かな関わりをみることができます。1950年代以降には、詩人と美術家たちの共作による優れた「詩画集」が数多く作られました。詩画集において、版画は詩と呼応するように分かちがたく結びつき、ひとつの作品世界を創造しています。今回は、当館の版(本)のコレクションのなかから、詩と版画に注目します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホルマン・ハント(画) ディエル兄弟(刻)	アルフレッド・テニスン『詩集』	1859刊	木口木版/本
アーサー・ジョゼフ・ギヤスキ(画)	S.ベアリング・ゴールド編『童謡集』	1895刊	木口木版/本
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル(画)	J.キーツ『イザベラ(バジルの壺)』	1898刊	木口木版/本
山本 芳翠(画)	ジュディット・ゴージェ『蜻蛉集』	1884刊	リトグラフ/本
田中 恭吉(画)、恩地 孝四郎(装幀・画)	萩原朔太郎『月に吠える』	1917(大正6)刊	木版/本
逸見 享	『書窓版画帖十連聚其七 水韻譜』	1942(昭和17)刊	木版/本
恩地 孝四郎	『書窓版画帖十連聚其八 蟲・魚・介』	1943(昭和18)刊	木版/本
駒井 哲郎	『マルドロオルの歌』	1952(昭和27)刊	エッチング、アクアチント/本
駒井 哲郎	藁(マルドロオルの歌)	1956(昭和31)	エッチング・紙
駒井 哲郎	juin「球根たち」	1960(昭和35)	エッチング・紙
駒井 哲郎	詩画集『人それと呼んで反歌という』 PL5「鎮魂歌」の別刷	1965(昭和40)	エッチング、リフトグランドエッチング、 エンブレヴィーニング・紙
駒井 哲郎	詩画集『人それと呼んで反歌という』 PL6「年齢について」の別刷	1966(昭和41)	エッチング、ドライポイント・紙
駒井 哲郎	詩画集『からんどりえ』フロントピースMai 「斬られた首」の別刷	1960(昭和35)	エッチング・紙
駒井 哲郎	juin「球根たち」	1960(昭和35)	サンドペーパーによるエッチング、 エンブレヴィーニング・紙
駒井 哲郎	庭の一隅	1965(昭和40)	サンドペーパーによるエッチング、 エンブレヴィーニング・紙
日和崎 尊夫	坂本直明『FURESIMA』	1980(昭和55)刊	木口木版/本
柄澤 齊	山崎栄治『鑿』Ⅲより「花鳥風月」	1981(昭和56)刊	木口木版/本
柄澤 齊	山崎栄治『鑿』Ⅳより「深夜Ⅰ」	1982(昭和57)刊	木口木版/本
秀島 由己男	高橋睦夫『静物考』	1985(昭和60)刊	メゾチント/本
ヘンリー・ムーア	オーデン『詩集』	1973刊	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
パトリック・コルフフィールド	『ジュール・ラフォルグの詩(A版)』	1973刊	シルクスクリーン・紙/ポートフォリオ

展示室4-② うつわにみる東洋憧憬

ここでは、クリストファー・ドレッサー(1834-1904)と佐藤潤四郎(1907-1988)の作品を中心に、彼らがどのように日本や東洋の美に影響を受けたのかを探ります。

イギリス人のドレッサーは、工芸分野でジャポニスムの潮流を先導した人物です。「龍や波、花などを抽象化した装飾文様には、信仰や願いが込められており、そこに日本人の自然観が表れている」と彼は考えました。自身の作品に日本的な意匠を取り入れつつ、西洋的感覚と

まく調和させています。

郡山出身の佐藤も、東洋由来の仏教世界を近代的に表現しました。「仏足跡」は、釈迦の足の裏の形を刻みつけた石「仏足石」にインスピレーションを受けた、佐藤得意の題材です。この不思議な図様を、ガラス素材の特質を十分に生かすことで、神秘的なイメージへと仕上げることに成功しました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
バーナード・リーチ	山水	1968	墨・紙
クリストファー・ドレッサー著	『日本—その建築、美術、工芸』	1882	本
佐藤 潤四郎	水指(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹き・カット
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹き・カット
佐藤 潤四郎	水指(魚)	1986(昭和61)	ガラス/型吹き
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス/宙吹き
佐藤 潤四郎	視屏・いのしし	1966(昭和41)頃	ガラス/サンドキャスト
佐藤 潤四郎	龍文花器		ガラス/宙吹き・グラヴェール
佐藤 潤四郎	植物花瓶		ガラス/宙吹き・グラヴェール
佐藤 潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	放射能遮蔽ガラス/サンドブラスト
佐藤 潤四郎	花器・仏足跡ロータス		ガラス/宙吹き、サンドブラスト
佐藤 潤四郎	舍利器(カレット入り)		ガラス/宙吹き・カレット融着

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	舍利器		ガラス／宙吹・気泡封入、プランツ
佐藤 潤四郎	舍利器(玄奘三蔵院型バリエーション)		ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	ガラス／宙吹・プランツ、雲母封入
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	舍利器(西塔型バリエーション)		ガラス／宙吹・エッチング、グラヴユール
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利小容器(試作)		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利器(試作)	1978(昭和53)	ガラス／宙吹・グラヴユール
浜田 庄司	鉛釉花打茶碗		陶器
仁阿弥 道八	刷毛目鉢	19世紀(江戸)	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉人物文扁壺	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉龍波濤文水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	褐釉瓢箪型花瓶	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄釉竹節型小皿	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉蓮花刻文皿	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-1882頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様大皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	色絵花鳥模様壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵蝶花模様瓢箪形壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵椿文龍花瓶(一対)	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	染付鳥波濤文把手付鉢		磁器
クリストファー・ドレッサー	染付鳥文壺		磁器

渡辺宗侑氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
● 1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
● 2階展示ロビー			
清水 多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
三坂 耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ
● 前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第1期 常設展示室3



第1期 常設展示室4

令和5年度 第2期 令和5年7月12日～10月1日

展示室1 版画にみる絵画のエッセンス

写真の誕生以前の時代、版画はイメージを広く伝える重要な手段でした。ヨーロッパでは、機械による写真製版が生まれるまで、人の手で版を作る版画はオリジナル版画と複製版画に分かれていました。今回取りあげるのは複製版画で、絵画や彫刻など別の媒体で創作された作品を複製するものです。そして、それを見た人は、版画をたよりに実際の絵を想像したわけです。

ただし、複製といっても、写真のように作品の“正確な”コピーではありません。絵画を版画にすると、版画家は版画のサイズや色彩で絵画を最大限に表すために、絵画の翻訳をしてきました。また、様々な理由で細部の描写が異なることもあります。本章では、版画家がすくいとった絵画のエッセンスを版画の中を探してみます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース原画、ジェラルド・ジャン・パティスト・スコタン2世版刻	『当世風結婚』第1場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、ベルナル・パロン版刻	『当世風結婚』第2場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、ベルナル・パロン版刻	『当世風結婚』第3場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、シモン・フランソワ・ラヴェネ1世版刻	『当世風結婚』第4場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、シモン・フランソワ・ラヴェネ1世版刻	『当世風結婚』第5場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、ジェラルド・ジャン・パティスト・スコタン2世版刻	『当世風結婚』第6場	1745	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース原画、フランソワ・モルロン・ド・ラ・カーヴ版刻	『選挙』第3回 投票日		エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	美の分析II	1753	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	橋と牛(『研鑽の書』より)	1807	エッチング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー(原画、エッチング)、チャールズ・ターナー(メゾチント)	橋と牛(『研鑽の書』より)		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタル峠の下り道	1848	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー原画、ジェームズ・テイベッツ・ウィルモア版刻	ランプリス湖、北ウェールズ	1834	エッチング、ライン・エンブレイヴィング・紙
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	ウェイマス湾(『イングランドの風景』より)	1830	メゾチント
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	夏の夕(『イングランドの風景』より)	1830-2	メゾチント／ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	真昼(『イングランドの風景』より)	1830-2	メゾチント／ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル原画、デイヴィッド・ルーカス版刻	ハドリー大聖堂(『イングランドの風景』より)	1830-2	メゾチント／ポートフォリオ
サー・ジョン・エヴァレット・ミレイ原画、シャルル・ワルトネ版刻	自画像		エッチング・紙
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	古風な考えの私の母	1928頃	エッチング・紙
ウォルター・シッカート	ムガル・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング、アクアチント・紙
ウォルター・シッカート	麦わら帽子	1907頃	リトグラフ・紙
サー・フランク・ブランギン	ヴェニス・運河	1924	油彩・キャンバス
サー・フランク・ブランギン原画、漆原木虫版刻	橋のある風景[橋、バーナード城]		木版・紙
サー・フランク・ブランギン原画、漆原木虫版刻	夜景(用水池)[プリュージュのヤン・ファン・エイク広場]		木版・紙
サー・フランク・ブランギン原画、漆原木虫版刻	船着場[プリュージュのプレディクヘーレン橋]		木版・紙
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	アラスからバボームへの道	1918	リトグラフ・紙
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	大攻撃の後	1918	リトグラフ・紙

展示室2 近代の日本画

「日本画」という言葉は、近代以後、新しく流入した西洋の技法の絵画と区別し、日本固有の絵画を言い表すためにつくられたものです。それまでの日本の絵画は、画題や絵画様式、技法などにより名称がつけられていましたが、以後はこれらを総称して「日本画」と呼ぶようになりました。

この言葉は、粉末状に砕いた天然の鉱石を膠と混ぜて

作る「岩絵具」を使った絵画を指す場合もあります。千年以上前に大陸から伝えられたこの技法を今も継承している日本画は、長い歴史の中で、国内の諸流派が影響しあい、時には西洋画法も取り入れることで、今日まで発展してきたといえるでしょう。

今回は、福島県ゆかりの作家を中心に、個性あふれる日本画コレクションをご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
梶田 半古	蝶	1907-1912(明治40年代)頃	岩絵具・絹／二曲一隻屏風
荻生 天泉	行成卿	1932(昭和7)	岩絵具・紙／二曲一双屏風
須田 珙中	鷹の囀		岩絵具・紙／二曲一隻屏風
湯田 玉水	夏山驟雨・晩秋暮鴉		墨、岩絵具・絹／二曲一双屏風
酒井 三良	春池小景	1926(大正15)	岩絵具・絹／二曲一隻屏風
安藤 重春	婦去来	1972(昭和47)	岩絵具・紙
安藤 重春	午后	1973(昭和48)頃	岩絵具・紙 安藤重春氏寄贈
湯田 玉水	夏		紙本墨彩
棟方 志功	愛染菩薩図(「雨ニモ負ケズ」四韻)		淡彩・紙／4点組
常盤 大空	殷賦考	1962(昭和37)	岩絵具・キャンバス
黒沢 吉蔵	霽れる高地	1968(昭和43)	岩絵具・紙
谷 文晁	『松島図巻』	1787(天明7)	木版・紙／卷子

展示室3 イギリスのポップアート

1960年代にアメリカで全盛を迎えたポップアートですが、もともとは1950年代のイギリスで発展を遂げました。当時ロンドンの現代芸術研究所に集った、エデュアルド・パオロツィやリチャード・ハミルトンをはじめとする芸術家や批評家たちが「インディペンデント・グループ」を結成し、ポップアートの先駆けとなります。そしてこの動向は、ハミルトンの企画によって開催され

た展覧会で注目されます。彼らは、戦後の復興によるアメリカの大量生産・消費、大衆文化の繁栄にともなった社会生活の変化に着目し、それを浮き彫りにしました。

その後アメリカで一大ブームを巻き起こしたポップアートはさらに世界に伝播し、各国でさまざまなスタイルが生み出されていきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・エデュアルド・パオロツィ	『零エネルギー実験電池』Vol.1	1970	リトグラフ、シルクスクリーン・アクリル／ポートフォリオ(6点組)
サー・エデュアルド・パオロツィ	『ムーンストリップス・エンパイア・ニュース』Vol.1	1967	シルクスクリーン・紙(一部アセテート)／ポートフォリオ(100点組)
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B、シアン版	1976	リトグラフ・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B、クレヨン習作	1976	リトグラフ・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピース B	1976	リトグラフ・紙
パトリック・コールフィールド	『ジュエル・ラフォルグの詩(A版)』	1973	シルクスクリーン・紙／ポートフォリオ(6点組)
パトリック・コールフィールド	『ジュエル・ラフォルグの詩(A版)』	1973	シルクスクリーン・紙／本
デイヴィッド・ホックニー	『放蕩者のなりゆき』	1961-63	エッチング、アクアチント・紙(16点組)

展示室4 ① 明治の版画

明治時代は、日本で最も多種多様な「版」が賑わいをみせた時代でした。木版画では、浮世絵に代表される伝統的な板目木版やフランスから帰国した合田清(1862-1938)によって伝えられた木口木版。銅版画では、司馬江漢(1747-1818)の創製以来続く腐蝕銅版画(エッチング)と1875(明治8)年に御雇外国人として来日したエドアルド・キヨソネ(1833-1898)によってもたらされた直刻銅版

画(エングレーヴィング)。

また、明治に新しい印刷技術として登場したのが石版画です。木版画や銅版画とは異なり、石版画は石を彫ることなく、石に描画したものがそのまま版となり、刷ることができました。

ここでは、明治という豊穡の時代を彩ったさまざまな版画作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
松田 緑山	一銭印紙	1872-74(明治5-7)	銅版・紙
松田 緑山	「大日本政府 舊公債証書」金三百圓	1872(明治5)	銅版緑刷・紙
エドアルド・キヨソネ	日本銀行兌換銀券 壹圓	1888(明治21)	銅版・紙
エドアルド・キヨソネ	大日本帝國政府 地券	1875(明治8)	銅版・紙
松田 緑山	地球萬國全圖	1856(安政3)	銅版・紙
岡田 春燈齋	新鑄三都自慢競		銅版・紙
松田 龍山	江戸案内圖		銅版・紙
松田 緑山	帝都名所細見		銅版・紙
松田 龍山	大阪案内獨巡		銅版・紙
楊洲 周延	五十三次(『江戸錦』より)	1904(明治37)	木版・紙
亀井 至一	(美人弾琴図)	1890(明治23)	石版・紙 亀井よし子氏寄贈 丹尾安典コレクション寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質
矢島 智三郎	廓乃花	1892(明治25)	石版、手彩色・紙
有山 定次郎	美人の風俗	1896(明治29)	石版・紙
矢島 智三郎	浴後之図		石版、手彩色・紙
楊洲 周延	化粧(『江戸錦』より)	1904(明治37)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
山本 昇雲	すずしの顔(『いますすがた』より)	1906(明治39)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
岡村 政子	親愛ノ姉稚児喜ビノ図	1888(明治21)	石版、手彩色・紙
時事新報社	愛犬と少女	1898(明治31)	石版・紙
山内 愚仙	長閑	1909(明治42)	石版・紙 丹尾安典コレクション寄贈
北沢 楽天	やまとひめとブリタニヤ	1902(明治35)	石版・紙
山本 芳翠	磐梯山噴火真図	1888(明治21)	木口木版・紙
上田 文齋(著)	『内国旅行 日本名所図絵 巻之四 東山道之部』	1889(明治22)	銅版・紙/本 資料
藤島 武二	濃尾震災惨状真図 岐阜市街災後之惨状	1891(明治24)	木口木版・紙 丹尾安典コレクション寄贈
石田 有年	醤油製造之圖		銅版・紙
小林 清親	COLLYRIUM 東京銀座式町目 楽善堂岸田吟香		木版・紙 丹尾安典コレクション寄贈
岡村 政子	板垣伯之肖像	1891(明治24)	石版・紙
エドアルド・キヨソネ	岩倉具視公肖像	1889(明治22)	銅版・紙
床次 正精	西郷隆盛肖像	1887(明治20)	石版・紙
町田 信次郎	教育歴史画第老輯の参 西郷と月照相約して海中に投ず	1895(明治33)	石版・紙 丹尾安典コレクション寄贈
小林 清親	東京日比谷観兵式図	1882(明治15)	木版・紙 個人蔵
結城 正明	大日本帝国両陛下御尊影		銅版・紙
山本 芳翠	貴顕之肖像	1888(明治21)	木口木版・紙 丹尾安典コレクション寄贈
江島 工山	『開明新選道中袖鏡』 (玉蘭齋貞秀画、江島工山銅鑄、本多清微編輯)	1875(明治8)	銅版・紙/袖珍本
深瀬 亀次郎	帝國貴顕御肖像	1890(明治23)	石版、手彩色・紙
亀井 竹二郎	『川崎驛 六谷川眺望』(『懐古東海道五十三驛真景』より) (徳永柳舟・町田信次郎画作、大山印刷所発行)	1891-92(明治24-25)	石版・紙/ポर्टフォリオ
潮瀬 茂一	芝高輪汽車夜景		石版、手彩色・紙 丹尾安典コレクション寄贈

展示室4-② ドレッサーの仕事

スコットランドのグラスゴーに生まれたクリストファー・ドレッサーは、植物学を学んだあとデザイナーとなりました。金属器や陶磁器、家具やテキスタイルといった幅広いジャンルのデザインを多くのメーカーに提供しました。

1877(明治9)年末という早い時期に来日、大久保利通などの知己を得て、明治天皇に謁見、正倉院宝物を実

見した初めての西洋人となりました。明治政府の依頼で焼物の産地などを訪れ、輸出製品へのアドバイスをおこなったほか、ティファニーやリパティの依頼で日本の美術工芸品などを買い付け、その後友人と共同で貿易会社を興し、それを息子たちが引き継ぐなど、一家は長く日本との交流を持ちました。こうしたドレッサーの仕事を、代表的な作品で振り返ります。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(淡緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	瓶(茶色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・グラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ、黒檀把手(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-82頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	把手付き燭台		真鍮、木製把手
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台(一対)		真鍮
クリストファー・ドレッサー	孔雀象嵌模様円形皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩ロータス文大皿		陶器
クリストファー・ドレッサー	青緑釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	青釉水差	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差(一対)	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉アールヌーヴォー風装飾文皿	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	紅地線文把手付花瓶(一対)	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	刻文舟形容器	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	緑釉アカンサス型手付壺	1892-95頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様長皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様長皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様大皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵花模様隅切角皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	色絵草花文隅切角皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	ゴシック模様タイル		磁器
クリストファー・ドレッサー	金銀彩植物模様タイル		磁器
クリストファー・ドレッサー	彩色金彩花模様水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	ケトルとスタンド		銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー著	『植物学の基礎』	1859刊	本
クリストファー・ドレッサー著	『植物学の手引き』	1860刊	本
クリストファー・ドレッサー著	『アート・オブ・デコラティブ・デザイン』	1862刊	本
クリストファー・ドレッサー著	『装飾デザインの原理』	1874刊	本
クリストファー・ドレッサー著	『デザイン研究』	1874-76刊	本
クリストファー・ドレッサー著	『日本—その建築、美術、工芸』	1882刊	本
	『ステューディオ』第15号	1899刊	雑誌

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
清水 多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
三坂 耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第2期 常設展示室2



第2期 常設展示室3

展示室1 イギリスの油彩画

18世紀から19世紀にかけて、いち早く産業革命を成し遂げたイギリスでは、美術の分野においても黄金期を迎えます。18世紀後半になると、貴族社会を象徴するかのよう肖像画が盛んに描かれました。また、四季によってさまざまな表情を見せる風景は画家たちを大いに刺激し、風景画も独自の発展をみせました。さらに日本との

関わりも非常に深く、幕末に来日し、日本人に西洋画を教えたのはチャールズ・ワーグマンらイギリスの画家たちでした。

ここでは、伝統的な肖像画、風景画から来日した画家たちの作品まで、多彩なイギリスの油彩画をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807頃	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815頃	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ		油彩・キャンバス
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス
サー・アルフレッド・イースト	スウェル川のほとり		油彩・キャンバス 佐藤克也氏寄贈
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	1870年代	油彩・スケッチボード
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光の茶屋	1890	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京、麻布	1891	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	赤羽、芝公園の一隅	1891	油彩・板
バーナード・リーチ	きこり		油彩・紙
サー・フランク・ブランギン	エリザベス女王の乗船を待つゴールデン・ハインド号	1903-05頃	油彩・キャンバス 畑中俊彦氏寄贈

展示室2 画家とスケッチ

短く書き留めた文章や描写的な小曲、音楽入りの寸劇など、広く使われるスケッチということばですが、美術では「写生」の訳語として、眼前の風景やものなどを大まかに絵に描くことを意味しています。

持ち運べる画材を携えて戸外で描く風景スケッチは気持ちのよいものです。また室内で身近なひとをモデルに

したり、机の上に置いた静物を写生しながら、画家は作品の構想を練っているのかもしれませんが。ものを見る目や描く手を動かすトレーニングとしてのスケッチは、画家にとって楽しいルーティン・ワークといえるでしょう。

今回は、そんな描く喜びにあふれたスケッチの数々をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
浅井 忠	足尾村	1884(明治17)	インク・紙
浅井 忠	綾瀬川付近	1885(明治18)	墨・紙
浅井 忠	水汲み		鉛筆・紙
小山 正太郎	庚申山、山寺	1884(明治17)頃	鉛筆・紙
吉田 博	武州飯能町、入間川辺	1894-99(明治27-32)頃	水彩・紙
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙
鹿子木 孟郎	綾瀬(スケッチ)	1893(明治26)	鉛筆・紙
鹿子木 孟郎	綾瀬		水彩・紙
石井 柏亭	ピサ	1911(明治44)	水彩・紙
小寺 健吉	アンシイ湖畔	1922(大正11)	水彩・紙
小寺 健吉	飯坂温泉		水彩・紙
石川 欽一郎	サウス・ケンジントン		水彩・紙
石川 欽一郎	台南の裏町		水彩・紙
安井 曾太郎	バルコニーより		鉛筆・紙
安井 曾太郎	バルコニーより		水彩、鉛筆・紙
南 薫造	河と並木		水彩・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
南 薫造	教会堂		水彩・紙
原 撫松	桔梗		水彩、鉛筆・紙 原優子氏寄贈
原 撫松	木春菊		水彩、鉛筆・紙 原優子氏寄贈
原 撫松	みかん	1892(明治25)	水彩・紙
原 撫松	日本髪の若い女性像		水彩・紙
原 撫松	西洋紳士像		鉛筆・紙 原優子氏寄贈
原 撫松	ハンプトンコート	1906-7(明治39-40)	鉛筆・紙
原 撫松	牧野義雄	1904-7(明治37-40)	鉛筆・紙
原 撫松	牧野義雄像	1904-7(明治37-40)	水彩・紙
原 撫松	婦人像	1906-7(明治39-40)	水彩・紙
青木 繁	犬	1902(明治35)	鉛筆・紙 武田光司コレクション寄贈
中村 彝	少年	1914(大正3)頃	コンテ・紙 武田光司コレクション寄贈
野田 英夫	座る女	1935(昭和10)	ペン、インク・紙 武田光司コレクション寄贈
河野 通勢	裾花川風景	1914(大正3)	インク・紙
河野 通勢	樹木スケッチ	1915(大正4)	インク・紙
木村 荘八	空き地		インク・紙
木村 荘八	中島君の像	1916(大正5)	水彩・紙
亀池伝来資料のうち	水彩スケッチ他		亀井よし子氏寄贈
亀池伝来資料のうち	水彩スケッチ他		佐藤忠雄氏、英雄氏、文雄氏、芳雄氏、信雄氏寄贈

展示室3 何に見える？色んなかたち

この展示室では、日英の作家たちが表したさまざまな「かたち」に注目します。

20世紀以降、色や線、形や素材などの造形要素そのものに美を見いだす「抽象芸術」が発展してきました。作家たちは、自身の内面にある感情やイメージを表したり、ものごとの本質だけを引き出したり、あるいは純粹な創造活動それ自体を目指したりと、様々な手法と制作態度によって独自の表現を追求しています。

一見何が表現されているのか分からなくても、「(私には)何に見える？」とご自身に問いかけながら細部までじっくり観察してみてください。色と色の響き合いや線の強弱・緩急のリズム、造形が生み出す有機的な効果、空間を切り取る立体の佇まいを楽しめるようになると、あなたの作品鑑賞はより豊かなものになってゆくはずですよ。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』 V	1980	エッチング、アクアチント・紙/ポートフォリオ(7点組)
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』 VII	1980	エッチング、アクアチント・紙/ポートフォリオ(7点組)
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙、木製ボード
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メジナイト
デム・バーバラ・ヘップワース	石柱(パヴァース)	1953	油彩・パネル
難波田 龍起	建物の構成	1954(昭和29)	油彩・キャンバス
村井 正誠	いそぐ人	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
山口 長男	コラージュ I	1950-51(昭和25-6)	コラージュ・紙
山口 長男	コラージュ II	1950-51(昭和25-6)	コラージュ・紙
吉原 治良	円・赤	1969(昭和44)	シルクスクリーン・紙
吉原 治良	円・白	1969(昭和44)	シルクスクリーン・紙
野見山 暁治	夜が明ける	2009-20(平成21-令和2)	油彩・キャンバス 野見山暁治氏寄贈
野見山 暁治	しおどき	1993(平成5)	油彩・キャンバス 野見山暁治氏寄贈
菅井 汲	黒	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
堂本 尚郎	1962-18(二元的なアンサンブル)	1962(昭和37)	油彩・キャンバス
田淵 安一	ラ・セーヴ(樹の精)	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
佐藤 敬	石の対話	1958(昭和33)	油彩・キャンバス
今井 俊満	コンポジション 23	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
鎌田 正蔵	水土	1957(昭和32)	油彩、エナメル・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
佐藤 昭一	コンポジション	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
佐藤 昭一	作品61	1961(昭和36)	油彩、パテ・キャンバス 佐藤昭一氏寄贈
デム・バーバラ・ヘップワース	オルフェウス(マケット2)	1956	真鍮、糸
植木 茂	体		木彫
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント

展示室4-① ヴォーティシズムとその周辺

ヴォーティシズム(渦巻主義)は、1914年にロンドンでウィンダム・ルイスらによって結成された英国の前衛美術運動です。第一次世界大戦にともなう技術的進展を背景に、幾何学的かつダイナミックな表現形式をつうじて、機械(抽象、構造、明確な輪郭)と現代性(速度、進歩、エネルギー)を賛美しました。その美学的立場は、彼らが刊行した挑発的な宣言文を掲載した雑誌『プラスト(突風、爆破)』(全2巻)に明示されています。

戦争による社会的混乱や内部対立が影響し、翌年に一度の展覧会を開催したに過ぎず、その活動は短命に終わりました。しかし、彼らの芸術はその後の英国モダニズム美術の礎を築く重要な役割を果たしました。

近年、ヴォーティシズムの再評価が進んでおり、彼らの業績と後の英国美術への影響が研究の焦点となっています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』 アセチレン溶接工 部品組立 エンジン製作 空中で 4000フィートでの旋回飛行 ドイツ戦闘機一タウプへの急襲	1917	リトグラフ・紙
ポール・ナッシュ	夜間行軍	1918	リトグラフ・紙
ポール・ナッシュ	ドイツ製二重トーチカ、ゲルフェルト	1918	リトグラフ・紙
ポール・ナッシュ	見知らぬ海岸	1920	リトグラフ・紙
シリル・エドワード・パワー	地下鉄の階段	1929	リノカット・紙
シリル・エドワード・パワー	エレベーター	1930	リノカット・紙
デイヴィッド・ボンバーグ	『ロシア・バレエ』	1914-19	カラーリトグラフ・紙/本
ポール・ナッシュ	『場所』	1922	木口木版・紙
ポール・ナッシュ	『イワン・ヴァジリエヴィッチ 皇帝の歌』のためのプルーフ	1929	木版・紙
ポール・ナッシュ	『創世記』	1924	木版・紙/本
ポール・ナッシュ	『イワン・ヴァジリエヴィッチ皇帝と彼の若い 護衛隊と勇敢なカラシュニコフ商人の歌』	1929	木口木版・紙/本
ポール・ナッシュ	石工職人、テシガー・クロウン	1921	木版・紙
ポール・ナッシュ	冬	1921	木版・紙
ポール・ナッシュ	森への小道	1921	木版・紙
ポール・ナッシュ	冬の森	1922	木版・紙
ポール・ナッシュ	庭の池	1922	木版・紙
ポール・ナッシュ	乾いた地が現れる	1924	木版・紙
ポール・ナッシュ	闇から光が分かれる	1924	木版・紙
ポール・ナッシュ	花束		木版・紙
エドワード・ウォズワース	創造	1917	木版・紙
エドワード・ウォズワース	内部		木版・紙
ポール・ナッシュ	楽園	1927	木版・紙
ポール・ナッシュ	倦怠	1927	木版・紙
エドワード・ウォズワース	乾ドック内の迷彩船	1918	木版・紙
エドワード・ウォズワース	ストリート・シンガー	1914	木版・紙
ポール・ナッシュ	天空創造	1924	木版・紙

展示室4-② 佐藤潤四郎とガラス

佐藤潤四郎は1907(明治40)年、郡山市に生まれました。東京美術学校金工科鍛金部を卒業後、金工からガラス工芸に転向し、日本の近代ガラス工芸界を代表する作家となります。

日本初のクリスタル専門工場「各務クリスタル製作所」へ入社した潤四郎は、同社のデザイナーとして、また一人の作家として、ガラスと鍛金の試作を繰り返しました。

そして、鉄の棒にガラスを吹き込むという手法のほか、さまざまな表現を身につけていきます。また、使いやすさを追求した彼のデザインは、手になじむような柔らかかなかたちがぬくもりを感じさせます。

潤四郎のガラスへの深い探求と、職人たちの確かな手仕事が続りなすガラスの多様な表情をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤 潤四郎	ステンドグラス・窯		ガラス、鉄	小林東洋氏寄贈
佐藤 潤四郎	オブジェ・羊車(鍛鉄)		金工(鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤 潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤 潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤 潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人(2点組)		金工(鍛鉄)	大方竜子氏寄贈
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	花器・ちょっと考えて(樹)		ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・カット	
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	皿(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	花器・アダムとイヴ		ガラス/宙吹・サンドブラスト	
佐藤 潤四郎	龍文花器		ガラス/宙吹・グラヴェール	福永香氏寄贈
佐藤 潤四郎	クリスタル花器		ガラス/宙吹・プランツ	福永香氏寄贈
佐藤 潤四郎	雲母入り花器		ガラス/宙吹・雲母封入	
佐藤 潤四郎	花器・仏足跡ロータス		ガラス/宙吹、サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	舍利器(カレット入り)		ガラス/宙吹・カレット融着	
佐藤 潤四郎	舍利器		ガラス/宙吹・気泡封入、プランツ	
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利小容器(試作)		ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤 潤四郎	クリスタル花器		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・サンドブラスト	藤ノリタケクリスタル寄贈
佐藤 潤四郎	三角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	四角一輪挿し(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス/型押し	
佐藤 潤四郎	複製「硯屏・ガラスの神様」		サンドキャスト	木村四郎氏寄贈
佐藤 潤四郎	硯屏・いのしし	1966(昭和41)頃	ガラス/サンドキャスト	木村四郎氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
清水 多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ
舟越 保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
佐藤 忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
三坂 耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

展示室1 イギリス美術とモード

今回は、時代の流行という幅広い意味で「モードmode」をテーマに、18世紀から20世紀初頭のイギリス美術をご紹介します。

イギリスでは、18世紀半ばから19世紀にかけて美術の分野でも黄金時代を迎え、ゲインズボロ、レイノルズらの出現によって肖像画が確立されました。肖像画に描かれた衣装は、流行やモデルの個性を表わす重要なモチーフでした。また、ホガースが描いた風刺画にも、18世紀中頃の世相が色濃く反映されています。

一方、イギリスの画家たちが新たな視点で自然をとらえることにより、イギリス国内で風景画が発展していきます。18世紀後半には「ピクチャレスク」の美学が広がり、風景に対する人々の意識を変えることになりました。

19世紀後半になると、ギリシャ・ローマなどの古典芸術や、東洋世界などに憧憬と関心を高め、創作の源泉とした画家たちが登場します。彼らは豊かな想像力を発揮する一方で、装飾性や審美性に特化した表現を追求しました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ホガース	卵を割るコロブス	1752	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	『当世風結婚』第2場	1745	エッチング、エングレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路	1750-51	エッチング、エングレイヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路	1750-51	エッチング、エングレイヴィング・紙
トマス・ローランドソン	ヘント付近、ローエン駅に着く馬車	1790年代	水彩・紙
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景		水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンタージェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ライン・エングレイヴィング・紙
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
トマス・マイルズ・リチャードソン・ジュニア	コンウェイ城の日没	1855	水彩・紙
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914頃	油彩・キャンバス
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ラルエット坊や	1859	エッチング・紙

展示室2.3 “雰囲気”を展示する

私たちの生活は、さまざまな雰囲気に包まれています。場の「空気」を読み、色の「ムード」を感じ、ときに眼に見えないものの「けはい」に怯えることもあるでしょう。このように、人と人、人との間、場に漂う不可視の「雰囲気」は、とても身近なものです。眼に見える「作品」がある美術においても、おのずから、眼に見えない雰囲気を表そうと試みられてきたのではないのでしょうか。

この章では、作品の中に表された雰囲気と、作品とそれを見る人との間で生まれる雰囲気、そして作品が置かれる場が人を包み込む雰囲気の展示を試んでいます。雰囲気という切り口を意識したとき、作品や美術館がどのような新しい相貌を見せることになるのか、神戸雰囲気学研究所(KOIAS)とのコラボレーションを通じて探っていきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
湯田 玉水	夏山驟雨・晩秋暮鴉		墨、岩絵具・絹／二曲一雙屏風
梶田 半古	蝶	1907-12頃(明治40年代)	岩絵具・絹／二曲一雙屏風
斎藤 清	ノートルダム、パリ	1974(昭和49)	木版・紙
佐藤 静司	二月堂お水取り		木版・紙 佐藤静司氏寄贈
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング・紙
サー・エドワード・コリー・パーソンズ・ジョーンズ	『フラワー・ブック』 春の鍵 ばらまかれたハコベ	1905	リトグラフ・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・コンスタブル原画、 デイヴィッド・ルーカス版刻	『イングランドの風景』春	1830-32	メゾチント・紙／ポートフォリオ
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
吉田 博	積み藁のある風景		水彩・紙
中川 八郎	おぼろ月夜		水彩・紙
山本 昇雲	『いますぐた』花かげ	1906(明治39)	木版・紙 亀井よし子氏寄贈
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画 アンブレラ(黄)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、 地図、エナメル塗料・紙
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画 アンブレラ(青)	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、 地図、エナメル塗料・紙
ヴィクター・パスモア	ワインレッド(version 1)	1964	レリーフペインティング、パネル・紙
岸田 劉生	『天地創造』怒れるアダム	1914(大正3)	エッチング・紙
ウィリアム・ブレイク	眠るダンカン王に近づくマクベス夫人		水彩、インク・紙
ウィリアム・ブレイク	ダンテの『神曲』のための連作 好色な人々の園谷：パオロとフランチェスカ	1826-27	ラインエングレーヴィング・紙
リュシアン・ピサロ	C.ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版・紙／本
ジャック・カロ	『戦争の惨禍』	1633	エッチング・紙／本
ジョン・フラクスマン原画、 トンマーゾ・ピロリ版刻	アイスキュロス『悲劇』より(1831年版) 犠牲者を追いかける復讐の女神エリニースたち (『慈しみの女神たち』より) 嘆くトロイアの女たちの列(『供養する女たち』より)	1831	ラインエングレーヴィング・紙 ／ポートフォリオ
西野 康造	ホルン	1987(昭和62)	ステンレス
デイム・バーバラ・ヘップワース	オルフェウス(マケット2)	1956	真鍮、糸
ジョン・ラスキン原画、トーマス・ショッター・ ボーイズ、トーマス・ラプトン版刻	『ヴェネツィアの建築』アラブ風の窓 サンタ・マリア・マーテル・ドミニエー広場	1887	エッチング、メゾチント・紙
栗原 忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
スタンリー・ウィリアム・ヘイター	花火	1958	エッチング・紙
吉村 正郎	ローリングクロスシリーズーベゼル	1993(平成5)	布 吉村正郎氏寄贈
西野 康造	翼の森	2019(令和元)	ステンレス、鉄
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
ジョン・コンスタブル原画、 デイヴィッド・ルーカス版刻	『イングランドの風景』ウェイマス湾	1830	メゾチント・紙／ポートフォリオ
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825頃	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	サン・ゴタール峠の下り道	1848	水彩・紙



第4期 常設展示室2



第4期 常設展示室2

展示室 4-① ブランギンの版画

フランク・ブランギン(1867-1956)は、油彩・水彩・版画のみならず、装飾デザインまで手掛け、国際的に活躍したイギリス人画家です。幼少期はベルギーで育ち、その思い出を基に、『プリュージュの詩画集』など叙情的な風景を版画に表しました。また、港湾労働者の活気あふれる姿に魅せられ、海や船、そして造船所などを題材とする絵画を多数制作しました。1916年、川崎造船所の

初代社長でコレクターである松方幸次郎と出会うと意気投合し、日本に西洋美術を紹介したいという松方の夢を共有、「松方コレクション」の形成に大いに貢献しました。

ここでは、ブランギンが原画を描き、木版画家の漆原木虫が彫りと摺りを担当した詩画集や、ブランギン自らが監修した版画集を展示し、ブランギンの幅広い芸術の一端をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・フランク・ブランギン	詩画集『プリュージュ』	1919	木版・紙／ポートフォリオ
サー・フランク・ブランギン	版画集『ブランギン・ポートフォリオ』	1927	リトグラフ、エッチング、写真製版、手彩色・紙／ポートフォリオ 株式会社リーチアート寄贈
サー・フランク・ブランギン	版画集『20の素描・版画集』	1921	エッチング、写真製版・紙／ポートフォリオ 株式会社リーチアート寄贈
サー・フランク・ブランギン	版画集『WORK By FRANK BRANGWYN』	1914	ファクシミリ版・紙／ポートフォリオ 株式会社リーチアート寄贈

展示室 4-② 工芸にみる造形美

グラス、カトラリー、花器などは、その造形美をとおり、芸術家の精神性や時代文化を反映します。たとえば、郡山生まれの佐藤潤四郎(1907-1988)の作品には、自然への深い敬意と慈しみが込められており、温もりに満ちた造形を特徴にしています。

一方、工業都市グラスゴーの生まれでモダンデザイ

ンの先駆者であるクリストファー・ドレッサー(1834-1904)は、機能性と日本の植物文様などに触発された装飾性を融合した造形美を生みだしています。

工芸品はその美しさをおして、人々の生活に潤いと精神的な喜びをもたらします。この展示が日常生活における工芸の意義を見直すきっかけとなれば幸いです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	龍文花器		ガラス／宙吹・グラヴェール 福永香氏寄贈
佐藤 潤四郎	花器・アダムとイヴ		ガラス／宙吹・サンドブラスト
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器(グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	タンブラー		ガラス／型吹ほか 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	灰皿		ガラス／型押し
佐藤 潤四郎	花器(カレット入り)		ガラス／宙吹・カレット封入
佐藤 潤四郎	花器(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス／型吹・エッチング、カット
各務 鑑三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	ガラス／宙吹・気泡封入、グラヴェール 田淵十一氏寄贈
クリストファー・ドレッサー	色絵金彩竹梅文水差		磁器
クリストファー・ドレッサー	橋型二重注口人面壺	1879-82頃	陶器
クリストファー・ドレッサー	蓋つきスープ入れ		金属、電気メッキ、黒檀把手
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック(青海波)	1879-82頃	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トースト・ラック	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀
クリストファー・ドレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	三角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
佐藤 潤四郎	鳥文大皿		陶器 田淵十一氏寄贈
バーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器

作者名	作品名	制作年	技法・材質
バーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器
浜田 庄司	黒釉錆流描角皿		陶器
仁阿弥 道八	刷毛目鉢	19世紀(江戸時代)	陶器
田村 耕一	野草図楕円鉢	1963(昭和38)頃	陶器
佐藤 潤四郎	スタンドグラス・窯		ガラス、鉄

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置 季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
北村 四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石
細川 宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
柳原 義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
堀内 正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
三坂 耿一郎	女童(めわらべ)	1974(昭和49)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第4期 常設展示室1



第4期 常設展示室3



第4期 常設展示室4



第4期 常設展示室4

2) 企画展

大川美術館コレクションによる 20世紀アート120

会 期:令和5年4月15日(土)～6月11日(日)
 主 催:郡山市立美術館
 協 力:公益財団法人大川美術館
 企画協力:株式会社キュレーターズ
 観 覧 料:一般800(640)円
 高校・大学生・65歳以上500(400)円
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生
 以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

大川美術館は、群馬県桐生市出身の実業家、大川栄二氏が約40年にわたって収集した国内外の作家の作品をコレクションの核として、平成元年、桐生市に開館。本展では、同館が所蔵する20世紀アートに焦点を当て、約120点を一挙公開した。

20世紀、美術の世界では個性の表現への関心が高まる。第一次世界大戦後のパリには世界各地から画家たちが集まり、美術が一斉に花開いた。第1部では、この時代の代表的な画家であるルオー、マリー・ローランサン、ユトリロ、ブラック、ピカソ、シャガールなどの作品をとりあげた。

第二次世界大戦の終結後は、戦後復興と経済的な繁栄を背景に、美術の舞台がパリからニューヨークへと移っていく。第2部では、ベン・シャーンやアメリカに学んだ日本人画家たち、マルチアーティストとして活躍したウォーホル、草間彌生らの登場にいたるまで、多彩な作品の数々を展示した。

関連行事

- 講演会「大川美術館と20世紀アートコレクション」
 日時:4月29日(土・祝)午後2時から
 講師:田中淳氏(大川美術館館長)
 場所:多目的スタジオ
- 特別ギャラリートーク
 日時:5月20日(土)午後2時から
 講師:大谷明子氏(大川美術館学芸員)
 場所:企画展示室
- 美術講座「20世紀アートの魅力」
 日時:5月27日(土)午後2時から
 講師:塚本敬介(当館学芸員)
 場所:多目的スタジオ
- ギャラリートーク
 日時:5月13日(土)午後2時から
 講師:新田量子(当館学芸員)
 場所:企画展示室
- ミュージアム・シアター
 「ミステリアス・ピカソ 天才の秘密」(1956年、フランス)
 日時:5月6日(土)午後2時から
 場所:多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『大川美術館コレクション・カタログ 20世紀アートセレクションーピカソ、ベン・シャーンからポップアートまで』

23.0×18.0cm 76ページ 発行日：令和5年

編集：公益財団法人 大川美術館 大谷明子、小此木美代子

翻訳：小川紀久子

発行：公益財団法人 大川美術館

内容：ごあいさつ／序ー大川美術館の20世紀アート・コレクションについて(田中淳)／第1章 エコール・ド・パリとアヴァンギャルド
／第2章 アメリカン・シーンの画家たち／作家・作品解説／作品リスト／資料

関連記事

「20世紀アート展開幕」『福島民友』令和5年4月19日付

出品リスト

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質
第1部 エコール・ド・パリとアヴァンギャルド				
1-1 エコール・ド・パリ				
1	アメデオ・モディリアーニ	裸婦	1916年頃	鉛筆・紙
2	アンリ・マティス	ひざまずいた裸婦	1927年	鉛筆・紙
3	ピエール・ボナール	若い女	1910年頃	鉛筆・紙
4	ジョルジョ・デ・キリコ	婦人像(ドンナ・セドゥータ)	制作年不詳	鉛筆、インク・紙
5	マルク・シャガール	曲芸師とヴァイオリン	1924年	エッチング、ドライポイント・紙
6	マルク・シャガール	大きな花束	1963年	リトグラフ・紙
7	アンドレ・ドラク	窓の静物	1945-50年	グワッシュ・紙
8	ジョルジュ・ルオー	ジム、アルチュール、ポブ	1932年	グワッシュ、インク・紙
	ジョルジュ・ルオー	『ミセレーレ』より		
9		No. 15 若かりし唇に苦き味	1922年	アクアチント・紙
10		No. 28 われを信ずる者は、死すとも生きん	1923年	アクアチント・紙
	オディロン・ルドン	版画集『悪の華』より		
11		No. 1 表紙一扉絵	1890年	エッチング・紙
12		No. 4 重苦しくも陰鬱なる夜善良なるキリスト 教徒の慈悲によりとある古い廃墟の陰 に高慢なりし汝が身体埋められれば	1890年	エッチング・紙
13		No. 7 絶えずわが傍らに悪魔はうごめき	1890年	エッチング・紙
14		No. 9 草末の挿絵	1890年	エッチング・紙
15	藤田嗣治	うつ伏せの裸婦	1927年	水彩、鉛筆・紙
16	藤田嗣治	猫	1941年	水彩、インク・紙
17	モーリス・ユトリロ	花	1940年	油彩・ボード
18	アンドレ・デュワエ・ド・スゴザック	風景の中の人物と犬	1920年	油彩・カンヴァス
19	マリー・ローランサン	女性の半身像	1930年代	油彩・カンヴァス
1-2 アヴァンギャルド				
20	ジョルジュ・ブラック	水差しとサクラソノ	1945年	油彩・カンヴァス
21	ジョルジュ・ブラック	ティーポット	1946-47年	リトグラフ・紙
22	ジョルジュ・ブラック	静物	1923年	エッチング・紙
23	パブロ・ピカソ	藁床の鳩	1949年	陶器
24	パブロ・ピカソ	海老と水差し	1948年	油彩・カンヴァス
25	パブロ・ピカソ	ジャクリーナの肖像	1956年	リトグラフ・紙
26	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅰ	1937年	エッチング、シュガー・アクアチント・紙
27	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘Ⅱ	1937年	エッチング、シュガー・アクアチント・紙
28	パブロ・ピカソ	「347 シリーズ」 224 朝日の中の決闘	1968年	エッチング・紙
29		グレース&メッツァンジェ著『キュビズムについて』より		
29-1	パブロ・ピカソ	帽子をかぶった男	1914-15/1947年	エッチング・紙
29-2	アンドレ・ドラク	イタリア人女性の肖像	1948年	アクアチント、エンブレイヴィング・紙
29-3	ジョルジュ・ブラック	作品	1947年	アクアチント、エンブレイヴィング・紙
29-4	ジャン・メッツァンジェ	作品	1947年	ドライポイント・紙
29-5	マリー・ローランサン	乙女の顔	1947年	エッチング・紙
29-6	アルベール・グレース	小学生	1946年	ドライポイント・紙

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質
29-7	フェルナン・レジェ	椅子	1947年	アクアチント、エンブレヴィング・紙
29-8	ホアン・ブリス	パブロ・ピカソへのオマージュ (パブロ・ピカソの肖像)	1947年	エッチング、ドライポイント・紙
29-9	フランシス・ピカビア	静物	1947年	ドライポイント・紙
29-10	ジャック・ヴィヨン	馬	1921/1947年	エッチング・紙
29-11	マルセル・デュシャン	コーヒーミル	1921/1947年	エッチング・紙
30	パブロ・ピカソ	水差し	1949年	陶器
31	パブロ・ピカソ	黒い顔の皿	1948年	陶器
32	マックス・エルンスト	森 (月光の中のモミの木)	1927年	油彩・カンヴァス
33	マックス・エルンスト	サン・モリッツで冬を過ごしたいと願う愛すべき宇宙飛行士	1968年	油彩、コラージュ (紙)・金属
34	ジョージ・グロス	ゴールデン・シティ	1946年	油彩・ボード
35	ニコラ・ド・スタール	無題	1945年	木炭・紙
36	ニコラ・ド・スタール	航跡	1951年	水彩、コラージュ・紙
37	ハンス・ベルメール	女	制作年不詳	リトグラフ・紙
38	アルベルト・ジャコメッティ	ディエゴ 1	制作年不詳	鉛筆・紙
39	アルベルト・ジャコメッティ	ディエゴ 2	制作年不詳	鉛筆・紙
40	ベン・ニコルソン	無題	1937年	油彩、鉛筆・カンヴァスボード
41	ジャン・フォートリエ	アナベルの雲	1957年	グワッシュ、パステル・厚紙
42	ジョアン・ミロ	版画集『4つの色』より作品 2	1975年	エッチング、アクアチント・紙
43	ジョアン・ミロ	版画集『4つの色』より作品 4	1975年	エッチング、アクアチント・紙
44	アントニ・クラベ	王様とパイプ	1956年	油彩・紙
45	アントニ・クラベ	箱の中の手袋	1986年	ブロンズ
46	ベルナルド・ビュッフェ	肖像	1956年	油彩・カンヴァス
47	マルセル・デュシャン	『マルセル・デュシャン語録』より ウィルソン・リンカーン・システムによるローズ・セラヴィ	1967年	アクリル製ダブルイメージ・ プラスチックプレート
48	ジョセフ・アルパース	構造上の星座	1961年	彫板・耐熱プラスチック
49	サルヴァドール・ダリ	母―大地	制作年不詳	ブロンズ (着色)

第2部 アメリカン・シーンの画家たち

2-1 アメリカン・シーンとベン・シャーン

50	ベン・シャーン	民衆の声、デザイン No. 5 (ミズーリ州セント・ルイスの郵便局壁画のための習作)	1939年	テンペラ・紙
51	ベン・シャーン	信仰の自由、デザイン No. 1 (ミズーリ州セント・ルイスの郵便局壁画のための習作)	1939年	テンペラ・紙
52	ベン・シャーン	ニュージャージー州ジャージー・ホームステッド のコミュニティー・センター壁画のための習作	1938年	水彩・紙
53	ベン・シャーン	バスケットボールをする人 (ワシントンD.C.の連邦社会保障ビル壁画のための習作)	1940-42年	テンペラ、鉛筆・ボード
54	ベン・シャーン	農夫 (ワシントンD.C.の連邦社会保障ビル壁画のための習作)	1941年	グワッシュ・厚紙
55	ベン・シャーン	なぜ? (ラッキー・ドラゴン・シリーズ)	1961年	グワッシュ・紙
56	ベン・シャーン	ゴエスカス	1956年	グワッシュ・紙
57	ベン・シャーン	無干渉主義	1947年	水彩・紙
58	ベン・シャーン	芸術トリオ	1954年	インク・紙
59	ベン・シャーン	三人の道化師	1950年代	水彩、インク・紙
60	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…		
60-1	ベン・シャーン	扉 1	1968年	リトグラフ・紙
60-2	ベン・シャーン	扉 2	1968年	リトグラフ・紙
60-3	ベン・シャーン	多くの都市を	1968年	リトグラフ・紙
60-4	ベン・シャーン	多くの人々を	1968年	リトグラフ・紙
60-5	ベン・シャーン	多くの物事を	1968年	リトグラフ・紙
60-6	ベン・シャーン	禽獣を知らねばならぬ	1968年	リトグラフ・紙
60-7	ベン・シャーン	飛ぶ鳥のすがた	1968年	リトグラフ・紙
60-8	ベン・シャーン	小さな草花のたたずまい	1968年	リトグラフ・紙
60-9	ベン・シャーン	まだ知らぬ国々の道を	1968年	リトグラフ・紙
60-10	ベン・シャーン	思いがけぬ邂逅	1968年	リトグラフ・紙
60-11	ベン・シャーン	遠くから近づいてくるのが見える別離	1968年	リトグラフ・紙
60-12	ベン・シャーン	少年の日の想い出を	1968年	リトグラフ・紙

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質
60-13	ベン・シャーン	心を悲しませてしまった両親に	1968年	リトグラフ・紙
60-14	ベン・シャーン	少年時代の病気を	1968年	リトグラフ・紙
60-15	ベン・シャーン	静かなしんとした部屋で	1968年	リトグラフ・紙
60-16	ベン・シャーン	海辺の朝 ※都合により不出品	1968年	リトグラフ・紙
60-17	ベン・シャーン	海そのものの姿	1968年	リトグラフ・紙
60-18	ベン・シャーン	星くずとともに消え去った旅寝の夜々	1968年	リトグラフ・紙
60-19	ベン・シャーン	愛にみちた多くの夜の回想	1968年	リトグラフ・紙
60-20	ベン・シャーン	産婦の叫び	1968年	リトグラフ・紙
60-21	ベン・シャーン	白衣の中に眠りにおちて恢復をまつ産後の女	1968年	リトグラフ・紙
60-22	ベン・シャーン	死んでゆく人の枕もと	1968年	リトグラフ・紙
60-23	ベン・シャーン	死者の傍で	1968年	リトグラフ・紙
60-24	ベン・シャーン	一篇の詩の最初の言葉	1968年	リトグラフ・紙

2-2 アメリカに学んだ日本人画家

61	清水登之	裸婦立像E	1917年	木炭・紙
62	清水登之	肉屋店頭 (ウッドストックにて)	1923年頃	木炭・紙
63	清水登之	祭之図	1918年	油彩・カンヴァス
64	清水登之	地下鉄にて	1920-24年	木炭・紙
65	野田英夫	家族	1932年頃	グワッシュ・紙
66	野田英夫	ポキプシー	1934年頃	油彩・カンヴァス
67	野田英夫	ブルックリン郊外	1932年頃	グワッシュ、インク・紙
68	野田英夫	ルース像	1932年頃	水彩・紙
69	野田英夫	花と花束	1936年	グワッシュ・紙
70	野田英夫	アトリエ	1937年頃	水彩、インク・紙
71	国吉康雄	彫刻の流し型の上にあるぶどう	1933年	リトグラフ・紙
72	国吉康雄	パーレスクの女王	1933年	リトグラフ・紙
73	国吉康雄	パーウィック近くの墓地	1941年	カゼイン・紙
74	国吉康雄	カーニバル	1949年	リトグラフ・紙
75	国吉康雄	牛	1922年	クレヨン・紙

2-3 20世紀初めのアメリカ美術

76	ジョン・スローン	岩場の遊び	1916年	油彩・カンヴァス
77	ジョン・スローン	母	1906年	エッチング・紙
78	ジョン・スローン	ショーケース	1905年	エッチング・紙
79	ジョン・スローン	地下鉄の階段	1926年	エッチング・紙
80	ジョン・スローン	ムービー一座	1920年	エッチング・紙
81	ジョン・スローン	版画鑑定家	1905年	エッチング・紙
82	ジョン・スローン	夜の窓辺	1910年	エッチング・紙
83	ジョン・スローン	屋根上の母子	1914年	エッチング・紙
84	レジナルド・マーシュ	二人の女	1954年	油彩・板
85	レジナルド・マーシュ	メリーゴーラウンド	1940年頃	水彩、鉛筆・紙
86	レジナルド・マーシュ	“ロコ・エリー”の給水	1929年	エッチング・紙
87	アーサー・B・ディヴィス	山並みと空	制作年不詳	油彩・カンヴァス
88	ジョージ・ラクス	老女像	制作年不詳	油彩・カンヴァス
89	ロバート・ヘンライ	フローレンスの肖像	制作年不詳	油彩・カンヴァス
90	ロバート・ヘンライ	ペンシルヴァニアの丘	1902年	油彩・板
91	マックス・ウェーバー	マンドリン・プレーヤー	1951年	油彩・カンヴァス
92	マックス・ウェーバー	青い服の人物	1949年	グワッシュ、パステル・紙
93	ミルトン・エイヴァリー	腰掛ける婦人	制作年不詳	油彩・カンヴァスボード
94	エヴェレット・シン	老バイオリニスト	1904年	パステル・紙

2-4 ポップ・アート

95	サム・フランシス	『マルジナリアー志水楠男讃』より 作品	1981年	リトグラフ・紙
96	サム・フランシス	無題 1	1958年	水彩・紙
97	サム・フランシス	無題 2	1967年	水彩・紙
98	アンディ・ウォーホル	Blacklama (ジュディー・ガーランド)	1985年	シルクスクリーン・紙
99	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー	1967年	シルクスクリーン・紙

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質
100	アンディ・ウォーホル	ハンマーアンドシグル	1977年	シルクスクリーン・紙
101	ジャスパー・ジョーンズ	『マルセル・デュシャン語録』より 夏の批評家	1966年	エンボス、アセテート・紙
102	クレス・オルデンバーグ	『マルジナリアー志水楠男讃』より 鋳	1981年	アクアチント、エッチング・紙
103	クレス・オルデンバーグ	オール・アメリカ	1967年	鉛筆、色鉛筆、ボールペン・紙
104	クリスト	『マルジナリアー志水楠男讃』より ピンク色の店の玄関	1980年	コラーージュ、リトグラフ・紙
105	ジェームズ・ローゼンクvist	マリリン	1974年	リトグラフ・紙
106	ジャン・ティンゲリー	『マルジナリアー志水楠男讃』より 作品	1981年	リトグラフ・紙
107	ロバート・ラウシェンバーグ	都市	1962年	リトグラフ・紙
108	フランク・ステラ	YORK FACTORY II	1974年	シルクスクリーン・紙
109	ジム・ダイン	Wall Chart II	1974年	リトグラフ・紙
110	トム・ウェッセルマン	ベッドルームフェイス	1987年	シルクスクリーン・紙
111	トム・ウェッセルマン	『アメリカ人のポートレート』より Smoker	1976年	シルクスクリーン・紙
112	ジャスパー・ジョーンズ	エビアン	1972年	リトグラフ・紙
113	アルヌーフ・ライナー	作品	1961年	クレヨン・布
114	草間彌生	Infinity Nets	1963年	リトグラフ・紙
115	草間彌生	蓄積	1976年	ミクストメディア
116	荒川修作	命令の連鎖	1977年	リトグラフ・紙
117	荒川修作	作品2	1961年	油彩、インク・紙
118	荒川修作	作品1	1961年	油彩、インク・紙
119	荒川修作	作品	1960年	水彩、インク・紙
120		メイヤー・シャピロのために『ポートフォリオ』	1973年刊	
120-1	ロイ・リキテンスタイン	(作品)	1973年刊	リトグラフ・紙
120-2	フランク・ステラ	(作品)	1973年刊	リトグラフ・紙
120-3	ジャスパー・ジョーンズ	(作品)	1973年刊	リトグラフ・紙
120-4	アレクサンダー・リーパーマン	(作品)	1973年刊	リトグラフ・紙
120-5	ロバート・マザウエル	(作品)	1973年刊	エッチング、アクアチント・紙
120-6	ソウル・スタインバーグ	(作品)	1973年刊	リトグラフ・紙
120-7	スタンリー・ウィリアム・ヘイター	(作品)	1973年刊	シルクスクリーン・紙
120-8	エルズワース・ケリー	(作品)	1973年刊	シルクスクリーン・紙



講演会



特別ギャラリートーク

ひつじのショーン展 —テレビシリーズ放送開始15周年記念—

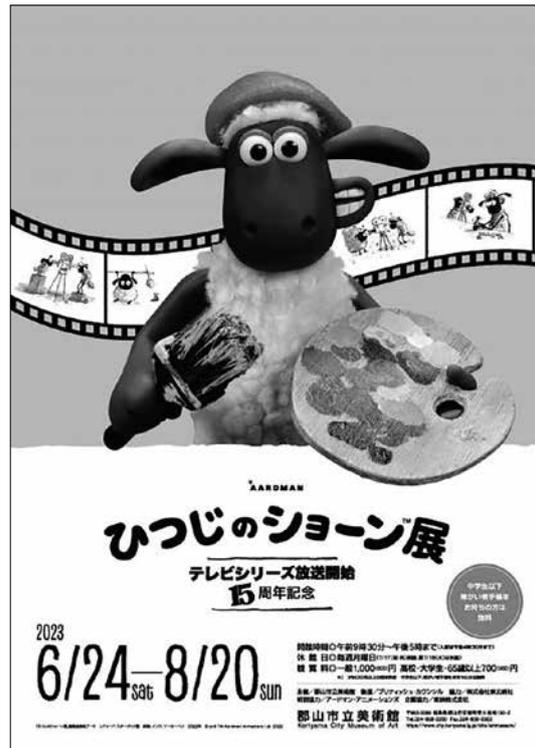
会 期：令和5年6月24日(土)～8月20日(日)
 主 催：郡山市立美術館
 後 援：ブリティッシュ・カウンシル
 協 力：株式会社東北新社
 特別協力：アードマン・アニメーションズ
 企画協力：東映株式会社
 観 覧 料：一般1,000円(800)円
 高校・大学生・65歳以上700(560)円
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生
 以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

アニメ「ひつじのショーン」は、アードマン・アニメーションズによるテレビシリーズとして、2007年より放送がスタートした。以来、ショーンと仲間たちが牧場で大騒動を巻き起こすストーリーは、世界中で人気を博している。もともと主人公のショーンは、アードマン・アニメーションズの痛快コメディ・アニメーションの第3作目『ウォレスとグルミット危機一髪!』(1995年/イギリス)で初登場し、やがて独立したキャラクターとして新たな物語を紡ぐことになった。本展は「ひつじのショーン」テレビシリーズ放送開始15周年を記念し、「ひつじのショーン」ができるまでの制作過程を精密なジオラマ、原画、映像によって多角的に紹介した。また、ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也の作品も併せて展示した。

発行物

『テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展
 The Shaun the Sheep Exhibition』
 28.0×21.0 cm 151ページ
 発行日：2022年7月30日
 発行：東映
 内容：目次/アードマンアニメーションの歴史/はじめに/メッセージ/「ひつじのショーン」の誕生/「ひつじのショーン」ができるまで/映画「ひつじのショーン」/テレビシリーズ「ひつじのショーン」/テレビシリーズ「ひつじのショーン」全放送あらすじ/「ひつじのショーン展」展覧会限定アート



ポスター



図録

出品リスト

No	作品名	制作年	材質・技法
アードマン・アニメーションズの歴史			
1	映像 アードマンの歴史		映像
2	映像 モーフの紹介		映像
導入部			
3	ショーン 3D アート		
4	リチャード・スターザック画「ひつじのショーン展」展覧会限定アート	2022年	鉛筆、インク、マーカーペン
5	リチャード・スターザック画「ひつじのショーン展」展覧会限定アート	2022年	鉛筆、インク、マーカーペン
6	リチャード・スターザック画「ひつじのショーン展」展覧会限定アート	2022年	鉛筆、インク、マーカーペン
7	リチャード・スターザック画「ひつじのショーン展」展覧会限定アート	2022年	鉛筆、インク、マーカーペン
「ひつじのショーン」の仲間たち			
8	映像 「ひつじのショーン」の仲間たち		映像
9	ショーン		ダイカット
10	ピッツァー		ダイカット
11	ティミー		ダイカット
12	牧場主		ダイカット
13	シャーリー		ダイカット
「ウォレスとグルミット 危機一髪！」			
14	映像 「ウォレスとグルミット 危機一髪！」		映像
15	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』セーターを着たショーン	1995年	フィギュア
16	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』 「セーターを着たショーン」キャラクタースケッチ (ニック・パーク画)	1995年	転写プリント
「ウォレスとグルミット 危機一髪！」 アートワーク			
17	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード ショーンの登場シーン (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
18	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード ウォレスとひつじの群れ (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
19	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』キャラクタースケッチ ひつじたち (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
「ウォレスとグルミット 危機一髪！」 ストーリーボード			
20	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
21	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
22	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
23	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
24	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
25	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
26	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
27	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
28	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
29	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
30	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
31	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
32	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
33	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
34	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
35	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
36	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
37	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
38	『ウォレスとグルミット 危機一髪！』ストーリーボード (ニック・パーク画)	1995年	鉛筆
テレビシリーズ「ひつじのショーン」			
39	テレビシリーズ「ひつじのショーン」の歴史		映像
40	アニメーションセット 納屋のインテリア		オリジナルの小道具、バベット
41	アニメーションセット 野菜畑のショーンと牧場主		オリジナルの小道具、バベット
42	テレビシリーズ1 第3話「シャーリーのダイエット」ストーリーボード シーソーのシーン (未公開) (ジェイソン・コムリー画)	2006年	鉛筆、インク

No	作品名	制作年	材質・技法
43	テレビシリーズ1 第3話「シャリーアのダイエット」ストーリーボード（未公開シーン） シーソンのシーン（未公開シーン）（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
44	テレビシリーズ1 第5話「りんごを手に入れろ！」ストーリーボード 牧場主とピッツァーのシーン／ショーンとティミーのシーン（未公開シーン） （ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
45	テレビシリーズ1 第5話「りんごを手に入れろ！」ストーリーボード 牧場主とピッツァーのシーン（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
46	テレビシリーズ1 第5話「りんごを手に入れろ！」ストーリーボード ジップラインのシーン（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
47	テレビシリーズ1 第5話「りんごを手に入れろ！」ストーリーボード ジップラインのシーン（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
48	テレビシリーズ1 第5話「りんごを手に入れろ！」ストーリーボード ジップラインのシーン（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
49	TVシリーズ1 第13話「ママはショーン？」ストーリーボード 走るショーン（未公開シーン）（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
50	テレビシリーズ1 第13話「ママはショーン？」ストーリーボード ひよこたちがピヨピヨ鳴くシーン（ジェイソン・コムリー画）	2006年	鉛筆、インク
51	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード ダンスのシーン（JP・バイン画）	2006年	鉛筆
52	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード ダンスのシーン（JP・バイン画）	2006年	鉛筆
53	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード ダンスのシーン（JP・バイン画）	2006年	鉛筆
54	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード モグラを釣るシーン（JP・バイン画）	2006年	鉛筆
55	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード モグラを釣るシーン（JP・バイン画）	2006年	鉛筆
56	テレビシリーズ1 第31話「みんなで大そうじ？」ストーリーボード 車輪付きゴミ箱のチェイスシーン（ロブ・リチャーズ画）	2007年	鉛筆
57	テレビシリーズ1 第31話「みんなで大そうじ？」ストーリーボード 車輪付きゴミ箱のチェイスシーン（ロブ・リチャーズ画）	2007年	鉛筆
58	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ひつじたちのためのグラストンベリー（シルビア・ベニオン画）	2006年	鉛筆
59	テレビシリーズ キャラクタースケッチ プールで汚れを落とすひつじたち（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
60	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ティミー（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
61	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ティミーとティミーママ（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
62	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ジャケット姿のショーン（シルビア・ベニオン画）	2006年	鉛筆
63	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンとティミー（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
64	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンとピッツァー（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
65	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンとピッツァー（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
66	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンと群れの仲間たち（シルビア・ベニオン画）	2006年	鉛筆
67	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ピッツァー（リチャード・スターザック画）	2006年	鉛筆
68	テレビシリーズ キャラクタースケッチ 牧場主とピッツァーとブタ（シルビア・ベニオン画）	2006年	鉛筆

No	作品名	制作年	材質・技法
69	テレビシリーズ キャラクタースケッチ モーターサイクルに乗るショーン (シルビア・ベニオン画)	2006年	鉛筆
70	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ピッツァー (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
71	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ピッツァーのボード/ショーンといたずらブタ (シルビア・ベニオン画)	2006年	鉛筆
72	テレビシリーズ キャラクタースケッチ 群れの仲間たち (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
73	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
74	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
75	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ピッツァー (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
76	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンと群れの仲間たち (シルビア・ベニオン画)	2006年	鉛筆
77	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンと鳳/ピッツァーと水浴びするひつじたち (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
78	テレビシリーズ キャラクタースケッチ 牧場主 (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
79	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ピッツァー (リチャード・スターザック画)	2006年	鉛筆
80	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンとピッツァー (リチャード・スターザック画)	2006年	インク
81	テレビシリーズ キャラクタースケッチ 牧場主の家 (シルビア・ベニオン画)	2006年	鉛筆
82	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ニワトリが道を渡るのを助けるショーン (ニック・パーク画)	2004年	インク
83	テレビシリーズ キャラクタースケッチ 牧草を食べるショーン (ニック・パーク画)	2004年	インク
84	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーンとカエル (ニック・パーク画)	2004年	インク
85	テレビシリーズ ストーリーボード ショーンとニワトリ (ニック・パーク画)	2004年	インク
86	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (シルビア・ベニオン画)	2004年	鉛筆とクレヨン
87	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン、ニワトリ、カエル (シルビア・ベニオン画)	2004年	鉛筆
88	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ひつじのグロリア (シルビア・ベニオン画)	2003年	インク
89	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (シルビア・ベニオン画)	2003年	インク
90	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ひつじのブルース (シルビア・ベニオン画)	2003年	インク
91	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ニワトリ (ニック・パーク画)	2004年	インク
92	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (ニック・パーク)	2004年	インク
93	テレビシリーズ キャラクタースケッチ ショーン (ニック・パーク画)	2004年	インク
映画「ひつじのショーン」			
94	映像 『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』		映像
95	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 アニメーションセット アビーロード		オリジナルの小道具、パペット
96	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 アニメーションセット バス停		オリジナルの小道具、パペット
97	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 アニメーションセット 手術室		オリジナルの小道具、パペット
98	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 アニメーションセット レストラン		オリジナルの小道具、パペット
99	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 アニメーションセット ガルバ・コーヒー		オリジナルの小道具、パペット
100	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ ショーン、ティミーとティミーママ (リチャード・スターザック画)	2015年	インク

No	作品名	制作年	材質・技法
101	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ “PLEEEASE!!!” (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
102	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 “I need some Rizzle in my life” キャラクタースケッチ (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
103	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ “I need some Rizzle in my life!” (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
104	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ “Pleeese, Rizzles!” (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
105	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 警察官 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
106	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 若き牧場主とベビーショーン&ベビーピッツァー (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
107	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 弁当を食べるショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
108	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 犬 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
109	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 観光中のショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
110	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 映画案内をするショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
111	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 映画監督のようにフレミングするショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
112	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 変装するショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
113	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 美容師 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
114	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ マトン・ジェフ (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
115	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ ジェフ (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
116	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ デイマント医師 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
117	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ ショーン (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
118	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 遺失物窓口の女性 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
119	『映画 ひつじのショーン～バック・トゥ・ザ・ホーム～』 キャラクタースケッチ 記憶を失った牧場主 (リチャード・スターザック画)	2015年	インク
120	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』映像		映像
121	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』 アニメーションセット ファーマゲドン	2019年	オリジナルの小道具、パベット
122	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』 アニメーションセット UFO	2019年	オリジナルの小道具、パベット
123	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』 アニメーションセット UFO コックピット	2019年	オリジナルの小道具、パベット
124	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』ア ニメーションセット スーパーマーケット ルーラとショーン	2019年	オリジナルの小道具、パベット
125	『映画 ひつじのショーン UFO フィーバー!』 アニメーションセットスーパーマーケット 買い物かごの中のルーラ	2019年	オリジナルの小道具、パベット
126	映像 『映画 ひつじのショーン クリスマスがやってきた』		映像
127	『映画 ひつじのショーン クリスマスがやってきた』 アニメーションセット クリスマス・マーケット		オリジナルの小道具、パベット
『ひつじのショーン』ができるまで			
128	映像 ひつじのショーンができるまで		映像
129	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード モグラを釣るシーン (JP・バイン画)	2006年	鉛筆
130	テレビシリーズ1 第18話「ショーンのモグラたたき」ストーリーボード モグラを釣るシーン (JP・バイン画)	2006年	鉛筆

No	作品名	制作年	材質・技法
131	ティミーのパベット		
132	まばたき用の型		
133	胴体の型		
134	頭部の型		
135	口の形		
136	ティミーの胴体		
137	予備の生地		
138	手足部分のスペア		
139	スペアの頭部		
140	小道具の型		
141	アニメーションセット 壁なし納谷		
142	映像 ひつじのショーニングができるまで視覚効果		映像
143	映像 ひつじのショーニングができるまでグレーディング		映像
144	映像 ひつじのショーニングができるまでアニメーション		映像
田中達也コーナー			
145	おすしのショーニング		
146	しょくじのショーニング		
147	ひつじのコーン		
148	むすびがドーン!		
149	しょくごのショーニング		
145	おすしのショーニング		



企画展示室入口バナー



フोटスポット



展示風景



鑑賞のようす

土橋醇展 パリ、湖南 — 幻想を追って

会 期:令和5年9月2日(土)~10月22日(日)
主 催:郡山市立美術館
助 成:令和5年度芸術文化振興基金
観 覧 料:一般800円(640)円
 高校・大学生・65歳以上500(400)円
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生
 以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

1950年代と1960年代にパリを中心に活躍した土橋醇。

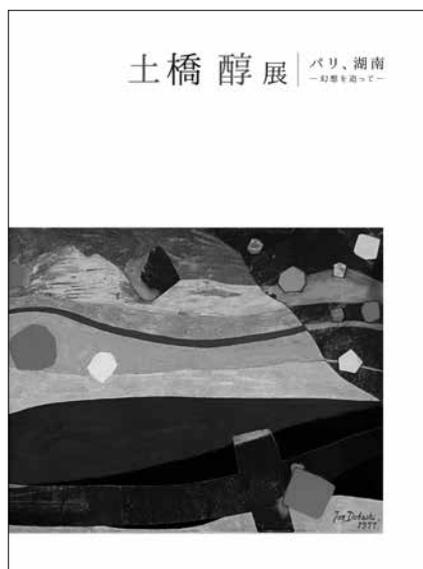
土橋醇は1909(明治42)年8月17日、日本画家土橋三郎の長男として東京小石川に生まれた。本名醇一。父三郎は華城と号し東京美術学校日本画科を1911(明治44)年に首席で卒業した。しかし華城はその翌年に28歳の若さで没してしまい、土橋は父の生まれ故郷である安積郡赤津村(現在の郡山市湖南町赤津)へ転居した。そこで少年時代を過ごし、東京美術学校油画科卒業後はパリへ赴くも、第二次世界大戦勃発によりあえなく帰国。戦後再度仏し、1950年代に藤田嗣治(レオナルド・フジタ)らと交流しながら、アンフォルメル運動などの影響を受けた。以降、実景をもとにした抒情的抽象ともいべき画風で、土橋はパリを拠点に、ドイツなどで個展を開催して高い評価を得た。1973(昭和48)年に帰国し、郡山市湖南町赤津に自らの設計でアトリエ「愚魚庵」を建てるも、翌年10月30日に同地で没した。享年70。この展覧会では、土橋醇の作品約100点を展示することによって、戦後の前衛美術を牽引した彼の画業を初めて明らかにした。そして名前しか知られていなかった夭折の日本画家であり、土橋の父である土橋華城の作品も初公開した。

関連行事

- 講演会「父、土橋醇」
講師:土橋亨氏(映画監督)
日時:令和5年9月2日(土)午後2時~
会場:多目的スタジオ
- 映画会『燃える勇者』
日時:令和5年9月9日(土)午後2時~
会場:多目的スタジオ
- 映画会『極道の妻たち2』
日時:令和5年9月16日(土)午後2時~
会場:多目的スタジオ
- 美術講座「土橋醇の芸術」
講師:菅野洋人(当館館長)
日時:令和5年9月23日(土・祝)午後2時~
会場:講義室
- 対談「土橋最後のアトリエ『愚魚庵』と壁画」
講師:土橋千鶴子氏、菅野洋人(当館館長)
日時:令和5年10月21日(土)午後2時~
会場:多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師:菅野洋人、富岡進一、川上恵理(当館学芸員)
日時:令和5年9月18日(月・祝)/10月7日(土)/10月9日(月・祝)
いずれも午後2時~
会場:企画展示室



ポスター



図録

発行物

『土橋醇展 パリ、湖南 ― 幻想を追って』図録
260x192mm 128頁

編集：菅野洋人(郡山市立美術館館長)

川上恵理(郡山市立美術館学芸員)

富岡進一(郡山市立美術館主任学芸員)

表紙デザイン：古林徹(有限会社アイデア図鑑)

印刷：株式会社坂本印刷所

内容：早川博明「断想―土橋醇」／土橋享「遊びをせんとや生まれけむ 土橋醇とのこと」／菅野洋人「土橋醇の芸術―『アンフォルメル』と『叙情的抽象』との狭間で」／カタログ：「土橋醇」[「美校から1950年代」]「第2回滞仏期」[「帰国後」]「故郷と体育館壁画」[「石版画」]「土橋華城」[「藤田嗣治」]「土橋千鶴子」[「土橋との10年」]「土橋醇の言葉」[「文献目録」]「参考図版」[「年譜」]「出品リスト」

関連記事

「土橋醇の画業に迫る」『福島民報』令和5年9月1日付

「土橋醇 企画展が開幕」『福島民報』令和5年9月4日付

「土橋醇の前衛美術100点」『福島民友』令和5年9月6日付

「今日、16日映画上映 土橋亨監督の2作品」『福島民報』令和5年9月9日付

「あぶくま抄 没後初となる個展」『朝日新聞』令和5年9月22日付

河治和香「土橋醇展 池袋 パリ 逸話を残して」『新潟日報』令和5年9月26日付

菅野洋人「時代と変わる特徴的な黒」『河北新報』令和5年10月5日付

「土橋醇 風景起点に抽象画」『福島民友』令和5年10月17日付

出品リスト

土橋醇 油彩画、水彩画、素描

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
d1	土橋 醇	裏磐梯	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d2	土橋 醇	海岸・助川	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d3	土橋 醇	ポルト・オルレアン付近	1938(昭和13)年	鉛筆、パステル・紙	個人蔵
d4	土橋 醇	仏蘭西の避暑地	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d5	土橋 醇	ヨーロッパ風景	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d6	土橋 醇	ベトイユ風景(フランス)	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d7	土橋 醇	渡辺直左衛門氏像	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d8	土橋 醇	アンコールワット	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d9	土橋 醇	布引高原の早春	1943(昭和18)年	油彩・キャンバス	郡山市立湖南小中学校蔵
d10	土橋 醇	村松司像	1945(昭和20)年9月	油彩・キャンバス	個人蔵
d11	土橋 醇	雪原	1946(昭和21)年2月	油彩・キャンバス	郡山市蔵
d12	土橋 醇	残雪	1947(昭和22)年	油彩・キャンバス	郡山市蔵
d13	土橋 醇	青松浜	1949(昭和24)年4月	油彩・キャンバス	郡山市立湖南小中学校蔵
d14	土橋 醇	菜の花と海	1951(昭和26)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d15	土橋 醇	椅子のある静物	1951(昭和26)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d16	土橋 醇	裏磐梯	1952(昭和27)年	油彩・キャンバス	福島県蔵
d17	土橋 醇	はかりのある室内(石膏のある室内)	1952(昭和27)年	油彩・キャンバス	豊島区蔵
d18	土橋 醇	無題	1954(昭和29)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d19	土橋 醇	小さな村	1955(昭和30)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d20	土橋 醇	無題	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d21	土橋 醇	無題		油彩・キャンバス	個人蔵
d22	土橋 醇	無題		油彩・キャンバス	個人蔵
d23	土橋 醇	無題	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d24	土橋 醇	無題	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d25	土橋 醇	イル・ド・フランス	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d26	土橋 醇	火の誕生	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	神奈川県立近代美術館蔵
d27	土橋 醇	無題	1956(昭和31)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d28	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
d29	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d30	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d31	土橋 醇	無題	1957(昭和32)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d32	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d33	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d34	土橋 醇	村のコンポジション	1957(昭和32)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d35	土橋 醇	コンポジション	1957(昭和32)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d36	土橋 醇	タルヌ渓谷のコンポジション	1957(昭和32)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d37	土橋 醇	和光	1958(昭和33)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d38	土橋 醇	玄想の空間	1958(昭和33)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d39	土橋 醇	火の誕生	1959(昭和34)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d40	土橋 醇	無題	1960(昭和35)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d41	土橋 醇	作品	1960(昭和35)年	グワッシュ、パステル・紙	郡山市立美術館蔵 (佐藤克也氏寄贈)
d42	土橋 醇	星空	1961(昭和36)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d43	土橋 醇	無題	1962(昭和37)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d44	土橋 醇	無題	1962(昭和37)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d45	土橋 醇	無題	1962(昭和37)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d46	土橋 醇	無題	1963(昭和38)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d47	土橋 醇	幻想の宇宙	1963(昭和38)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d48	土橋 醇	星雲	1963(昭和38)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵
d49	土橋 醇	青い星	1964(昭和39)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d50	土橋 醇	青い星	1965(昭和40)年	油彩、鉄板・板	郡山市立美術館蔵 (丹代美奈子氏寄贈)
d51	土橋 醇	無題		グワッシュ・紙	個人蔵
d52	土橋 醇	無題	1965(昭和40)年	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d53	土橋 醇	流れる星〈白〉	1965(昭和40)年	油彩、鉄・キャンバス	東京国立近代美術館蔵
d54	土橋 醇	流れる星〈黒〉	1965(昭和40)年	油彩、鉄・キャンバス	独立行政法人 日本芸術文化振興会(国立劇場)蔵
d55	土橋 醇	流れる星〈黒〉	1966(昭和41)年	油彩、鉄・キャンバス	東京国立近代美術館
d56	土橋 醇	無題		グワッシュ・紙	個人蔵
d57	土橋 醇	メキシコ風景		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d58	土橋 醇	流れゆく雲	1965(昭和40)年頃	グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d59	土橋 醇	メキシコ幻想		グワッシュ、パステル、布・紙	個人蔵
d60	土橋 醇	野口英世の像	1968(昭和43)年頃	油彩・キャンバス	郡山市蔵
d61	土橋 醇	夢幻	1969(昭和44)年	油彩、布・キャンバス	福島県立美術館蔵
d62	土橋 醇	誕生	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d63	土橋 醇	流	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d64	土橋 醇	花(誕生)	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	福島県立美術館蔵
d65	土橋 醇	無題	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d66	土橋 醇	誕生	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)
d67	土橋 醇	無題		油彩・キャンバス	個人蔵
d68	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d69	土橋 醇	無題		グワッシュ、パステル・紙	個人蔵
d70	土橋 醇	生きている夜	1973(昭和48)年	油彩・キャンバス	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)
d71	土橋 醇	スペインの幻想	1973(昭和48)年	油彩、鉄板・板	福島県立美術館蔵
d72	土橋 醇	白影	1973(昭和48)年	油彩、鉄板・板	個人蔵
d73	土橋 醇	白い太陽	1974(昭和49)年	油彩、鉄板・板	個人蔵
d74	土橋 醇	星の幻想 A	1975(昭和50)年	油彩、鉄板、板	個人蔵
d75	土橋 醇	星の幻想 B	1975(昭和50)年	油彩、鉄板、板	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
d76	土橋 醇	幻想の山湖	1975(昭和50)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d77	土橋 醇	村と太陽(スペイン、カタロニヤ地方)	1976(昭和51)年	油彩・キャンバス	個人蔵
d78	土橋 醇	希望の星スケッチ		グワッシュ・紙/スケッチブック	個人蔵
d79	土橋 醇	希望の星(幻想の星)	1977(昭和52)年	グワッシュ、油彩・紙	郡山市立美術館蔵
d80	土橋 醇	希望の星(体育館壁画下図)	1977(昭和52)年	油彩、鉄板・板	個人蔵
d81	土橋 醇	希望の星	1977(昭和52)年	油彩、鉄板・板	郡山市蔵
d82	土橋 醇	白虹	1978(昭和53)年	油彩、鉄板、板	個人蔵
d83	土橋 醇	黎明	1978(昭和53)年	油彩、鉄板、板	個人蔵
d84	土橋 醇	猪苗代残照	1978(昭和53)年	油彩、鉄板、板	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)
d85-89	土橋 醇	無題	陶板	個人蔵	

土橋醇 石版画

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
h1	土橋 醇	無題		石版、水彩・紙	郡山市立美術館蔵 (大川原有重氏寄贈)
h2	土橋 醇	村のコンポジション	1957(昭和32)年	石版・紙	東京国立近代美術館蔵
h3	土橋 醇	青のリズム	1960(昭和35)年	石版・紙	郡山市立美術館蔵 (株兜屋画廊寄贈)
h4	土橋 醇	個展ポスター	1960(昭和35)年	石版・紙	個人蔵
h5	土橋 醇	星雲	1960(昭和35)年	石版・紙	東京国立近代美術館蔵
h6	土橋 醇	無題(多色)	1960(昭和35)年	石版・紙	郡山市立美術館蔵
h7	土橋 醇	無題(多色)	1960(昭和35)年	石版・紙	郡山市立美術館蔵
h8	土橋 醇	無題	1960(昭和35)年	石版・紙	個人蔵
h9	土橋 醇	個展ポスター	1960(昭和35)年	石版・紙	個人蔵
h10	土橋 醇	無題	1960(昭和35)年	石版・紙(二つ折りカード)	個人蔵
h11	土橋 醇	無題(赤、墨)	1962(昭和37)年	石版・紙	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)
h12	土橋 醇	無題(多色)	1962(昭和37)年	石版・紙	郡山市立美術館蔵 (原田宏氏寄贈)
h13	土橋 醇	無題		石版・紙	個人蔵
h14	土橋 醇	無題	1963(昭和38)年頃	石版・紙	個人蔵
h15	土橋 醇	無題(墨)		石版・紙	郡山市立美術館蔵 (土橋千鶴子氏寄贈)
h16	土橋 醇	個展ポスター	1970(昭和45)年	石版・紙	個人蔵

土橋華城

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
k1	土橋華城	唐人像		紙本着色・軸	個人蔵
k2	土橋華城	花鳥図	1903(明治36)年	紙本着色・軸	福島県立博物館蔵
k3	土橋華城	陶淵明		絹本着色・軸	個人蔵
k4	土橋華城	文人弾琴図		絹本着色・軸	個人蔵
k5	土橋華城	蝦蟇仙人		絹本着色・三幅対	鈴善漆器店蔵
k6	土橋華城	蝦蟇仙人		絹本着色・軸	福島県立博物館蔵
k7	土橋華城	林和靖放鶴図		紙本着色	個人蔵
k8	土橋華城	醉中没弦琴図		絹本着色・軸	個人蔵
k9	土橋華城	牧童図		絹本着色・軸	個人蔵
k10	土橋華城	清涼		紙本着色・軸	福島県立美術館寄託
k11	土橋華城	紫式部像		絹本着色・軸	個人蔵
k12	土橋華城	扇面		紙本着色・軸	個人蔵
k13	土橋華城	お神籤を木の枝に結ぶ娘	1907(明治40)年1月19日	紙本着色(絵葉書)	福島県立美術館寄託
k14	土橋華城	鶯		紙本着色(絵葉書)	福島県立美術館寄託
k15	土橋華城	戊	1910(明治43)年1月1日	紙本着色(絵葉書)	福島県立美術館寄託

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
k16	土橋華城	梅		絹本着色(絵葉書)	福島県立美術館寄託
k17	土橋華城	横臥図		絹本着色(絵葉書)	福島県立美術館寄託
k18	土橋華城	年賀状 梅・雀・山水		紙本着色・軸	個人蔵
k19	土橋華城	葉書	1910(明治43)年10月13日	葉書	福島県立美術館寄託
k20	土橋華城	絵葉書	1912(明治45)年1月1日	絵葉書	福島県立美術館寄託

藤田嗣治

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
f1	藤田嗣治	風景	1954(昭和29)年	木版・紙	個人蔵
f2	藤田嗣治	灰皿	1954(昭和29)年	陶器	個人蔵
f3	藤田嗣治	魚	1954(昭和29)年	木版・紙	個人蔵
f4	藤田嗣治	夢	1958(昭和33)年	石版・紙	個人蔵
f5	藤田嗣治	聖母子		木版・紙	個人蔵

資料

	作者	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
s1	土橋 醇	郡山市立赤津小学校校章	1935(昭和10)年	グワッシュ・紙	郡山市立湖南小中学校蔵
s2	土橋 醇(装幀)	桜井常久著『安南黎明記』 日本雄弁講談社	1942(昭和17)年8月15日刊	本	郡山市立美術館蔵
s3	土橋醇一 著	『南へ還る 奥仏印 絵と文の旅』 鬼澤書店	1942(昭和17)年10月15日刊	本	郡山市立美術館蔵
s4	川路柳虹・ 土橋醇一 著	『南方古代文化と藝術 アンコールとポロブドゥル』 大八洲出版発行	1944(昭和19)年12月20日刊	本	郡山市立美術館蔵
s5	土橋 醇(表紙)	《春蝶》 〔週刊読売〕5月3日号、第11巻 第63号、読売新聞社)	1953(昭和28)年5月3日刊	本	個人蔵
s6	土橋 醇(表紙)	《無題》 〔『本の手帖』7月号、第7巻第5号、 通巻65号、昭森社)	1967(昭和42)年7月1日刊	本	個人蔵
s7	土橋 醇 著	『土橋醇作品集』 三彩社	1967(昭和42)年7月12日刊	本	郡山市立美術館蔵
s8	土橋 醇(装幀)	小門勝二著『濃東の女たち』 私家版	1969(昭和44)年7月15日刊	本	個人蔵
s9		郡山市立赤津小学校 創立百周年記念品の灰皿	1976(昭和51)年12月7日		個人蔵
s10	土橋 醇(表紙)	《赤津小明治19年新築の校舎》 赤津小学校創立百周年記念誌部会編 『赤津小学校創立百周年記念誌 赤津小のあゆみ』 赤津小学校創立百周年祭実行委員会	1976(昭和51)年12月7日刊	本	個人蔵
s11	土橋 醇	(未完成作品)		油彩、鉄板・板	個人蔵
		土橋醇のスクラップ・ブック	1938(昭和13)年頃～1952(昭和27)年		個人蔵
		18歳頃の土橋醇と生母初枝	1927(昭和2)年頃	写真	個人蔵



講演会



対談

酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ

会 期:令和5年11月3日(金・祝)~12月24日(日)
主 催:郡山市立美術館
観 覧 料:一般1,000円(800円)
 高校・大学生・65歳以上700円(560円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生
 以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

酒は古来より人の営みの中で重要な役割を担っている。祭祀において神にささげるものとして、あるいは非日常的な世界に入り込み、神と交信する手立てとして、人とともに長い歴史を歩んできた。

本展では、酒にまつわる道具といわれる出土品から、酒処福島に伝来する品々、酒販に欠かせないポスターや包装紙などのグラフィック作品を通じて、人が酒とともに築いてきた歴史の一端を振り返った。また、日本では陶磁器やガラス器が舶来して以降、それらに憧れて多様な美しい酒器が生まれてきた。酒が醸す美意識の結晶ともいえる、古今東西のさまざまな酒器を展示し、酒が育んだ味わい深く豊かな美を紹介した。

関連行事

- 講演会「和ガラスの見方ーびいどろとギヤマンの材質、美意識の違い」
講師:岡泰正氏(神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)
日時:11月11日(土)午後2時から
場所:多目的スタジオ
- 講演会「日本酒、その粋な世界」
講師:小泉武夫氏(東京農業大学名誉教授)
日時:11月19日(日)午後2時から
場所:多目的スタジオ
- 美術講座「酒器の愉しみ」
講師:永山多貴子(当館学芸員)
日時:11月23日(木・祝)午後2時から
場所:講義室
- 美術講座「酒器の素材と歴史」
講師:田中有沙子(当館学芸員)
日時:12月23日(土)午後2時から
場所:講義室
- ギャラリートーク
講師:永山多貴子
日時:11月18日(土)午後2時から
場所:企画展示室
- ギャラリートーク
講師:田中有沙子
日時:12月10日(日)午後2時から
場所:企画展示室
- ワークショップ「オリジナルのボトルラベル&カードづくり」
講師:増子哲平氏(書家)
日時:12月3日(日)
 午前10時30分~12時、午後1時30分~午後3時
場所:中央階段ホール
- ワークショップ「はじめての陶芸~酒器などのうつわり」
講師:志賀喜宏氏(陶芸家 あさか野焼窯元)
日時:12月17日(日)午後1時30分~午後4時
場所:創作スタジオ



ポスター



図録

○ミュージアムコンサート ～美酒と醸すジャズのタベ～

出演：仁井田真樹氏(ピアノ)、上野まこと氏(テナーサクソ)、吉田太陽氏(ベース)、増子雄児氏(ドラムス)
 日時：12月9日(土)午後6時～午後8時
 場所：中央階段ホール

○バスツアー「酒と醸す美術ツアー」

案内：永山多貴子、田中有沙子(当館学芸員)
 日時：12月16日(土)午前10時30分～午後2時30分
 場所：企画展示室、笹の川酒造

発行物

「酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ」図録

26×19.2cm 164ページ

発行日：令和5年11月3日

編集：田中有沙子、永山多貴子(当館学芸員)

発行：郡山市立美術館

内容：あいさつ／謝辞／目次／田中有沙子「酒の美への陶醉」／凡例／第1章「古代から中世の酒器」／第2章「酒文化の伝統と福島」、コラム1「福良焼」高橋博志(大安場史跡公園 特任専門員)／第3章「お酒を飾るデザイン」、コラム2「時代を写す絵はがき」山田俊幸(元帝塚山学院大学教授)／第4章「お酒をたたえる器の世界」—第1献「各地で生まれた酒と酒器」第2献「ガラスの舶来と和製ガラスの開花」第3献「趣味人の心を満たす酒器たち」無礼講「酒宴に咲く器」、コラム3「佐藤潤四郎とタンブラー」永山多貴子(当館学芸員)、コラム4「澁さの極みを語る丹波のうつわ」仁尾一人(兵庫陶芸美術館 学芸課長)、コラム5「ようこそ、てのひらの宇宙へ ～市之倉の盃～」今川祐子(市之倉さかづき美術館 支配人)、コラム6「イギリス人デザイナー クリストファー・ドレッサーの市之倉視察」田中有沙子(当館学芸員)／大槻倫子(愛知県陶磁美術館 学芸課長)「日本のやきもの酒器」／岡泰正(神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長)「びいどろ・ギヤマンの酒器—高級な趣味品から日常品へ—」／箱書一覧／酒をテーマにした良斎詩 書幅三幅 安積国造神社所蔵／主要参考文献／出品目録

関連記事

田中有沙子「酒器の美に酔いしれて」『福島民友』令和5年12月5日付

出品リスト

- ・原則として、出品番号、作者名、作品名、製作地(出版元)、制作年(出版年)、技法・材質、寸法・比重値、所蔵の順に記載した。
- ・作品の寸法はセンチメートルを単位として、測定項目とともに記載した。

第1章 古代から中世の酒器

- 1 注口土器
出土地：西田町町B遺跡
縄文時代後期 縄文土器
高 10.5 長径 15.0
郡山市教育委員会
- 2 注口土器
出土地：西田町町B遺跡
縄文時代後期 縄文土器
高 7.5 長径 13.8
郡山市教育委員会
- 3 壺型土器(長頸壺)
弥生時代 弥生土器
高 32.0 長径 17.0
福島県立安積黎明高等学校
- 4 小型把手付土器壺
出土地：田村町南山田遺跡
5世紀 須恵器
高 6.5 長径 9.0
郡山市教育委員会
- 5 臚(はそう)土器
出土地：田村町北山田遺跡
5世紀 須恵器
高 14.5 長径 13.0
郡山市教育委員会
- 6 臚(はそう)土器
出土地：田村町北山田遺跡
5世紀 須恵器
高 14.5 長径 13.0
郡山市教育委員会
- 7 かわらけ、土師器(10点)
土師器(7世紀)
かわらけ(13世紀)
土器 高 1.2～4.8 径 9.6～7.7
郡山市教育委員会

- 8 注口土器
4～6世紀 高9.5 長径 12.4
安積国造神社
- 9 高杯
4～6世紀 高 8.4 長径 10.2
安積国造神社
- 10 かわらけ
4～6世紀 土器 高 0.4 径 9.0
安積国造神社
- 11 青白磁(梅瓶) 3片
磁器 高 0.6 長 1.2～3.8
郡山市教育委員会
- 12 朱漆塗瓶子
根来 室町時代(15世紀)
漆器 高 32.5 胴径 24.0
サントリー美術館
- 13 朱漆塗湯桶
根来 室町時代(15世紀)
漆器 高 36.0 径 35.0
サントリー美術館

第2章 酒文化の伝統と福島

- 14 安積良斎
(無題)
江戸時代末～明治 紙本墨書
縦 134.7 横 29.8
安積国造神社
- 15 安積良斎
「李白酔帰図」
江戸時代末～明治 紙本墨書
縦 138.8 横 49.8
安積国造神社

- 16 安積良斎
「秋思」
江戸時代末～明治 紙本墨書
縦 138.8 横 53.7
安積国造神社
- 17 安積良斎
「春夕」
1847(弘化4)年 紙本墨書
縦 26.6 横 35.1
安積国造神社
- 18 安積疏水神社遷宮記念盃
1935(昭和10)年 磁器
高 2.2 径 4.2
郡山市教育委員会
- 19 中條家新居落成記念酒盃
1897(明治30)年 磁器
高 3.0 径 13.5
郡山市教育委員会
- 20 坂内青嵐
花見遊楽図
大正～昭和初期 絹本着色
縦 117.0 横 63.0
福島県立博物館
- 21 藤時絵提重
江戸時代後期 黒漆塗・研出蒔絵
高 25.8 幅 26.3 奥行 15.0
福島県立博物館
- 22 菊漆絵提重
江戸時代後期
漆塗・漆絵・消粉蒔絵・金箔貼
高 30.0 幅 23.0 奥行 17.5
福島県立博物館
- 23 田村家定紋入蒔絵三方
江戸時代 漆器
高 13.5 幅 26.0 奥行 21.5
福聚寺

- 24 桜流水紋蒔絵膳
江戸時代 漆器
高 13.5 幅 26.0 奥行 21.5
福聚寺
- 25 鶴松蒔絵祝膳掛 (屠蘇器/三ツ組盃/盃台/屠蘇台/重箱/銘々皿/善置)
昭和初期 漆器
高 35.0 幅 49.8 奥行 16.2
福聚寺
- 26 枝梅蒔絵螺鈿屠蘇器
(屠蘇器/三ツ組盃/盃台/屠蘇台)
昭和初期 漆器
高 32.4 幅 33.2 奥行 14.5
福聚寺
- 27 二本松藩伝来直達紋盃
江戸時代 漆器
高 4.0 径 11.8
佐藤酒造店
- 28 鶴紋蒔絵三重盃のうち2点
江戸時代 漆器
(大)高 1.5 径 8.5
(中)高 1.2 径 5.8
佐藤酒造店
- 29 鶴紋蒔絵盃
江戸時代 漆器
高 3.4 径 9.0
佐藤酒造店
- 30 漆丸盆
明治時代 木製漆塗
郡山市教育委員会
- 31 指樽
江戸時代 木製漆器
高 33.0 幅 45.3 奥行 14.2
- 32 袖樽
江戸時代 木製漆器
高 35.4 幅48.9 奥行 16.0
- 33 長柄銚子・提子
江戸時代 金銅製
(長柄銚子)高 10.5 幅 43.7 奥行 13.8
(提子)高 20.6 幅 26.8 奥行 21.8
- 34 銚子(一対)
昭和初期 錫 高 18.0 胴径 13.8
- 35 瓶子(一対)
昭和初期 錫 高 24.6 胴径 10.3
郡山市教育委員会
- 36 家紋入角樽(一対)
昭和初期 木製漆塗
高 60.4/60.6 胴径 43.2/43.8
郡山市教育委員会
- 37 家紋入角樽(一対)
昭和初期 木製漆塗
高 48.2 胴径 35.0
- 38 角樽
昭和初期 木製 高 49.4 胴 49.5
郡山市教育委員会
- 39 角樽
昭和初期 木製 高 19.4 胴 41.2
郡山市教育委員会
- 40 角樽
昭和初期 木製 高 19.7 胴 41.5
郡山市教育委員会
- 41 栗皮釉甕(赤土部灰釉甕) 諸白真酒印
丹波 江戸時代後期 18世期末-19世紀 陶器
高 47.1 口径 42.5
胴径 47.3 底径 20.4
兵庫陶芸美術館
- 42 灰釉漏斗
丹波 江戸時代後期 19世紀 陶器
高 13.3 口径 18.0 底径 2.2
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 43 徳利
丹波 室町時代後期 16世紀 陶器
高 42.5 口径 11.5
胴径 32.8 底径 24.0
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 44 徳利
丹波 室町時代後期 16世紀 陶器
高 31.3 口径 6.9
胴径 27.4 底径 20.0
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 45 赤土部船徳利
丹波 江戸時代前期 17世紀 陶器
高 20.9 口径 9.5
胴径 27.1底径 19.3
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 46 福良焼
大皿・八角皿・小鉢・小皿・
汲出し・蕎麦猪口・ぐい呑み
福良 明治時代 磁器
郡山市教育委員会
- 47 福良焼 蛸唐草文徳利
福良 明治時代 磁器
高 23.9 口径 4.8
胴径 16.8 底径 14.8
郡山市教育委員会
- 48 福良焼 鐘旭文徳利
福良 明治時代 磁器
高 33.1 口径 5.4
胴径 22.7 底径 19.8
郡山市教育委員会
- 49 福良焼 唐草文徳利
福良 明治時代 磁器
高 26.5 口径 4.6
胴径 17.3 底径 15.1
郡山市教育委員会
- 50 福良焼 草花文瓢箪形徳利
福良 明治時代 磁器
高 23.3 口径 4.1
胴径 16.7 底径 14.7
郡山市教育委員会
- 51 福良焼 山水文徳利
福良 明治時代 磁器
高 19.2 口径 4.4
胴径 14.8 底径 11.9
郡山市教育委員会
- 52 通徳利
昭和時代 陶器
高 25.4-33.7 口径 4.1-5.6
胴径 11.8-16.2 底径9.2-14.1
郡山市教育委員会
- 53 片岡敏郎・井上木它(画)
赤玉ポートワインポスター
「グラスを持つ半裸の女性」
市田オフセット印刷株式会社
1922(大正11)年
平版、写真製版(HBプロセス製版)・紙
縦 87.0 横 58.0
株式会社サカツコーポレーション
- 54 赤玉ポートワイン ポスター
昭和初期 写真製版・紙
縦 62.1 横30.1
- 55 赤玉ポートワイン ボトル
ガラス 神戸市立博物館
- 56 赤玉ポートワイン 広告
(東京日日新聞付録「創作と講談」裏表紙)
1924(大正13)年 写真製版・紙
縦 37.7 横26.5
- 57 北野恒富(画)
サクラビールポスター
「菫蒲を背にした和服の女性」
日本精版印刷合資会社
1913(大正2)年
描画平版(網伏せ)・紙
縦 110.0 横 78.5
株式会社サカツコーポレーション
- 58 サクラビールポスター
「[桜ビール]文字入りの和服を着て
給仕する女性」
日本精版印刷合資会社
1912-16(大正元-5)年
縦 79.5 横 54.5
株式会社サカツコーポレーション
- 59 満谷国四郎(画)
エビスビールポスター
「湖畔でビールを飲む男性」
凸版印刷株式会社
1922(大正11)年
縦 91.5 横 63.0
株式会社サカツコーポレーション
- 60 石川寅治(画)
エビスビールポスター
「藤椅子に座る和服の女性」
凸版印刷株式会社
1927(昭和2)年
縦 91.0 横 62.5
株式会社サカツコーポレーション
- 61 和田三造(画)
新カスケードビールポスター
「三人の踊り子とビール」
1929(昭和4)年
縦 90.0 横 61.0
株式会社サカツコーポレーション
- 62 サクラビールポスター
「象とビール」
市田オフセット印刷株式会社
1924(大正13)年
平版、写真製版・紙
縦 93.0 横 60.5
株式会社サカツコーポレーション
- 63 多田北鳥(画)
キリンビールポスター
「テーブルの上のビールと女性」
精版印刷株式会社
1927(昭和2)年
縦 90.5 横 62.5
株式会社サカツコーポレーション
- 64 高木葆翠(画)
ユニオンビールポスター
「白い帽子の女性」
合資会社藤井改進堂
1932(昭和7)年
平版(平凹版)、写真製版・紙
縦 90.5 横 62.5
株式会社サカツコーポレーション
- 65 蜂印香露葡萄酒ポスター
「蜂の髪飾りを付けた女性」
精版印刷株式会社
1924(大正13)年
縦 92.0 横 62.0
株式会社サカツコーポレーション
- 66 ラベル 広告、酒券
- 67 ビール瓶用包装紙
昭和 木版・紙
縦 47.1 横 29.2
- 68 大日本麦酒株式会社 ビール瓶
昭和初期 ガラス
胴径 7.3 高 29.2
- 69 キリンビール ビール瓶
昭和初期 ガラス
胴径 6.6 高 22.2

第3章 お酒を飾るデザイン

- 70 ビール瓶用包装紙(アサヒビール)
昭和時代 木版・紙
縦 45.7 横 25.5
- 71 ビール瓶用包装紙(札幌ビール)
昭和時代 木版・紙
縦 45.7 横 25.4
- 72 絵はがき
- 73 山桜ポスター
大正時代 平版・写真製版
縦 104.0 横 70.5
- 74 山口酒店引札
1897(明治30)年頃
石版・紙 縦 23.7 横 33.6
笹の川酒造株式会社
- 75 笹の川酒造 清酒ボトル
昭和40年代 ガラス
高 30.5 胴径 22.5
笹の川酒造株式会社
- 76 チェリーウイスキー「クリスタル」
昭和50年代 ガラス
高 22.5 幅 20.5
笹の川酒造株式会社
- 77 YAMAZAKURA RARE OLD
WHISKY ボトル 限定ボトル
2015(平成27)年 ガラス
胴径 12.4 高 27.0
笹の川酒造株式会社
- 78 ピーター・アイビー×
ぐらんくりゅ 限定ボトル
2022(令和4)年 ガラス
胴径 14.8 高 33.4
仁井田本家

第4章 お酒をたたえる器の世界

第1献 各地で生まれた酒と酒器

- 79 色絵葡萄鳥文瓢形酒注
有田 江戸時代
1670年代-1690年代
磁器・染付・色絵
幅 13.0 奥行 18.5 高 15.8
サントリー美術館
- 80 鉄菊水文四方爛鍋
江戸時代 18-19世紀 鉄製
幅 21.5 奥行 28.0 高 21.0
サントリー美術館
- 81 鉄桜柴垣文銚子
江戸時代 18-19世紀 鉄製
幅 14.1 奥行 18.9 高 18.4
サントリー美術館
- 82 七宝飾花形鉄製銚子
江戸時代 19世紀 鉄製
幅 13.0 奥行 20.2 高 15.5
サントリー美術館
- 83 アンボリーナ
16世紀末 ガラス
胴径 8.7 高 16.0
町田市立博物館
- 84 葡萄鳥文栓付瓶
ネーデルラント
1685年頃 ガラス、金属
口径 3.3 胴径 15.7 総高 24.0
サントリー美術館
- 85 青色翼付きツイストステム脚付き
ガラス杯(フリューゲルグラス)
北ヨーロッパ製
17世紀前期 ガラス
口径 9.6 高 30.1
- 86 レーマー杯
ドイツ 17世紀 ガラス
口径 7.0 底径 5.6 高 10.0
サントリー美術館

- 87 レーマー杯
ドイツ 17世紀 ガラス
高 19.8
サントリー美術館
- 88 レーマー杯
オランダ 17世紀 ガラス
口径 18.2 胴径 8.3 高 22.5
サントリー美術館
- 89 レーマー杯
ドイツ ガラス 高 14.3
サントリー美術館
- 90 ダイヤモンドポイント彫りレーマー杯
ドイツ 17世紀 ガラス
口径 7.8 底径 6.9 高 17.0
サントリー美術館
- 91 グラヴェール紋章文レーマー杯
ドイツ 1727年 ガラス
胴径 19.1 高 26.1
サントリー美術館
- 92 佐藤潤四郎
ルーマー杯・大好きな形
ガラス 径 7.5 高 20.5
郡山市立美術館
- 93 佐藤潤四郎
ルーマー杯・なみなみのワインを
ガラス 径 7.7 高 21.8
郡山市立美術館
- 94 佐藤潤四郎
ルーマー杯(グリーン)
ガラス 径 8.0 高 15.0
郡山市立美術館
- 95 佐藤潤四郎
手吹きウイスキーボトル
《スーパーニッカ》初号モデル
各務クリスタル製作
1962(昭和37)年頃 ガラス
胴径 14.0 高 25.0
郡山市立美術館
- 96 佐藤潤四郎
手吹きウイスキーボトル
《スーパーニッカ》東京五輪
1964モデル 青・黄・黒・緑・赤
各務クリスタル製作
1964(昭和39)年頃 ガラス
(各)胴径 13.0 高 20.0
郡山市立美術館
- 97 佐藤潤四郎
タンブラー
ガラス 径 9.3 高 11.2
郡山市立美術館
- 98 佐藤潤四郎
タンブラー
ガラス 径 8.6 高 9.0
郡山市立美術館
- 99 レースグラス・ポロン
スペイン 18世紀 ガラス
胴径 14.0 高 24.8
町田市立博物館
- 100 レース文カンティール
スペイン 18世紀 ガラス
胴径 14.2 高 31.5
町田市立博物館
- 101 牡鹿文銀製蓋付マグ
ドイツ 1685年 ガラス、金属
口径 6.6 胴径 10.1 高 18.5
サントリー美術館
- 102 エナメル彩エーデルワイス文
蓋付マグ
オーストリア 19世紀
ガラス 高 18.0 底径 12.5
サントリー美術館

- 103 プレスガラス蓋付マグ
ドイツ 19世紀 ガラス
高 20.5 底径 11.3
サントリー美術館
- 104 カットガラス木製蓋付マグ
スイス 19世紀 ガラス
高 17.5 底径 12.0
サントリー美術館
- 105 タンブラー
チェコ(ボヘミア)
19世紀 ガラス
口径 8.5 高 11.2
町田市立博物館
- 106 ゴブレット
チェコ(ボヘミア)
19世紀 ガラス
口径 9.8 高 17.8
町田市立博物館

第2献 ガラスの舶来と和製ガラスの開花

- 107 吹きガラス仙蓋瓶(伝来品)
ネーデルラント
16世紀後期 ガラス、木製漆塗
胴径 13.2 高 21.8
神戸市立博物館
- 108 ダイヤモンドポイント彫り
ライオン紋章ビーカー(伝来品)
ネーデルラント
17世紀後期 ガラス
径 8.7 高 16.4 比重 2.69
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 109 グラヴェール阿蘭陀船文脚付き
ガラス杯(伝来品)
脚付き杯はイギリス
(加飾は日本 1772-1844)
19世紀前期
口径 7.6 高 13.0 比重 3.01(糊)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 110 グラヴェール花綱文脚付き
カットガラス杯(伝来品)
イギリス 19世紀前期
口径 7.4 高 20.4 比重 3.22
まほろば瑠璃ノイエ
- 111 阿蘭陀人酒宴図(後期のみ)
長崎 文錦堂
江戸時代後期 19世紀
紙本木版色摺
縦 22.0 横 30.5
サントリー美術館
- 112 一川芳貞
外国人酒宴之図(前期のみ)
万延元(1860)年
紙本木版色摺
縦 35.0 横 25.0
サントリー美術館
- 113 オペークツイスト脚付き
ガラス杯(伝来品)
イギリス 1850年頃
安政5(1858)年箱書
口径 7.1 高 16.4 比重 3.19
おのだ義山コレクション
- 114 グラヴェール花綱文オペークツイスト
脚付きガラス杯(伝来品)
北部ドイツあるいはオランダ
1850年頃
安政5(1858)年箱書
口径 5.4 高 14.0 比重 2.43
おのだ義山コレクション

- 115 ねじり脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸時代(1772~1816年)
文化13(1816)年箱書
口径 5.5 高 14.8 比重 3.89
まほろば瑠璃ノイエ
- 116 脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸時代(1772-1822年)
文政5(1822)年箱書
口径 5.7 高 11.8 比重 3.77
まほろば瑠璃ノイエ
- 117 グラヴュール花綱文脚付きガラス杯
日本・長崎製か
江戸時代(1772-1844年)
口径 4.7 高 10.7 比重 3.64
まほろば瑠璃ノイエ
- 118 カットロルフ 一対
ドイツあるいはオランダ
19世紀前期~中期 ガラス
胴径 9.3 高 27.1 比重 2.41(枠)
関西大学博物館
- 119 栓付きガラス瓶(伝来品)
ベルギー製か
1860年頃
元治元(1864)年箱書
胴径 8.3 高 22.0 比重 2.53(身)
おのだ義山コレクション
- 120 彩絵花文ガラス瓶(伝来品)
瓶はオランダ(加飾は日本)
19世紀前期
嘉永4(1851)年箱書
胴径 8.4/8.3 高 28.8/29.3
おのだ義山コレクション
- 121 彩絵花文丸形緑色ガラス瓶(伝来品)
瓶はオランダあるいはドイツ
(加飾は日本)
18世紀後期
底径 14.0 高 17.5
おのだ義山コレクション
- 122 籐巻きガラス徳利
日本・制作地未詳
江戸時代(1772-1844年)
ガラス、籐
底径 7.5 高 22.6
比重 3.54(籐巻きを含む)
関西大学博物館
- 123 ガラス徳利
日本・制作地未詳
明治前期(1868-1882年)
底径 7.9 高 19.0 比重 2.80
関西大学博物館
- 124 藍色ガラス徳利
江戸製か
弘化3(1846)年頃
底径 7.7 高 24.5 比重 3.67
まほろば瑠璃ノイエ
- 125 藍色ガラス脚付き杯
江戸製か
天保年間頃
口径 5.6 高 5.9 比重 3.92
まほろば瑠璃ノイエ
- 126 爛徳利
日本・制作地未詳
明治中期~後期(1883-1912年)
ガラス、紙
底径 11.8 高 14.2 比重 2.53
関西大学博物館
- 127 美人図ガラス絵徳利
日本・江戸製か
江戸後期~明治前期(1844-87年)
胴径 7.3 高 18.6
まほろば瑠璃ノイエ
- 128 須賀川ガラス(小鉢、杯、水差し、風鈴)
須賀川 江戸時代後期
(小鉢)径 10.4 高 5.1
(杯)径 4.8 高 3.1
(水差し)径 11.0 高 15.0
(風鈴)径 6.6 高 6.0
須賀川市立博物館
- 129 須賀川ガラス 盃
須賀川 江戸時代後期
径 5.5 高 4.0
- 130 須賀川ガラス 盃
須賀川 江戸時代後期
径 4.2 高 4.5
- 131 金彩カットガラス栓付き瓶(伝来品)
ボヘミア製か 1800年頃
天保2(1831)年箱書
胴径 9.2 高 24.3 比重 2.42
おのだ義山コレクション
- 132 金彩花綱文ガラス瓶(伝来品)
ベルギーあるいはオランダ製
1780年頃
底径 10.7 高 28.5 比重 2.42(身)
おのだ義山コレクション
- 133 金彩色ガラス熔着脚付き
ガラス杯(伝来品)
チェコ(ボヘミア)製
19世紀前期
左から
口径 3.5/3.1/2.9/2.7
高 9.1/9.8/10.4/9.7
比重 2.40(赤)/2.42(黄)
まほろば瑠璃ノイエ
- 134 金彩花綱文筒形ガラス碗(伝来品)
中部ヨーロッパ製
19世紀前期 ガラス
口径 9.7 高 11.8 比重 2.42
おのだ義山コレクション
- 135 金彩花綱文脚付きガラス大杯(伝来品)
中部ヨーロッパ製
19世紀前期
口径 9.4 高 14.6 比重 2.42
おのだ義山コレクション
- 136 金彩花卉文脚付きガラス杯(伝来品)
中部ヨーロッパ製
1820年頃
文政12(1829)年箱書
口径 5.0 高 9.8 比重 2.42
おのだ義山コレクション
- 137 金彩植物文手付きガラス碗
10点の内5点
日本・制作地未詳
明治前期(1868-82)
口径 3.1 高 4.7 比重 3.09
おのだ義山コレクション
- 138 プレス焼き付け緑色葡萄文
脚付きガラス杯(伝来品)
ヨーロッパあるいはアメリカ
19世紀中期~後期
口径 8.2 高 12.3 比重 2.80
神戸市立博物館
- 139 カットガラス金赤脚付き杯(伝来品)
フランス 1850年頃
口径 8.5 高 16.2 比重 3.42
(ステムのエアーを含む)
神戸市立博物館(池長孟コレクション)
- 140 金赤被せグラヴュール
蘭・菊文ガラス徳利
日本・「品川硝子」製か
明治前期(1868-1882)
胴径 6.1/6.0 高 16/16.3
比重 3.47(糊)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 141 カットガラス栓付き瓶(伝来品)
チェコ(ボヘミア)あるいはベルギー
1800年頃
胴径 9.2 高 22.3 比重 2.41(身)
おのだ義山コレクション
- 142 切子格子文脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸後期-明治前期(1844-87)
口径 8.4 高 17.9 比重 3.63
神戸市立博物館
- 143 大槻磐水述・有馬文仲記
『蘭説弁惑』2巻の内上巻
1799(寛政11)年 紙・本
縦 18.6 横 13.0
神戸市立博物館(池長孟コレクション)
- 144 切子霞文脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸後期-明治前期(1844-87)
口径 8.4 高 16.7 比重 3.27
まほろば瑠璃ノイエ
- 145 切子脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸後期-明治前期(1844-87)
口径 6.0 高 12.2 比重 3.57
まほろば瑠璃ノイエ
- 146 切子波状文脚付きガラス杯
日本・制作地未詳
江戸後期-明治前期(1844-87年)
口径 5.0 高 10.6 比重 3.26
まほろば瑠璃ノイエ
- 147 薩摩切子藍色被せ栓付きガラス瓶
薩摩 江戸後期-明治前期(1844-87)
胴径 6.3 高 17.5/17.1
比重 3.54(白霜瓶・身)
神戸市立博物館
- 148 薩摩切子紫色被せ斜格子文
脚付きガラス杯
薩摩 江戸後期-明治前期(1844-87)
口径 6.0 高 12.5 比重 3.52(糊)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 149 薩摩切子紫色被せせちろり
薩摩 江戸後期-明治前期(1844-87)
ガラス、金属 長径16.2 高16.4
サントリー美術館

第3献 趣味人の心を満たす酒器たち

- 150 絵志野銚子水注
美濃 桃山時代(17世紀初期)
陶器、金属
高 8.7 口径 12.1 幅 21.0
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 151 藁灰袖手付水注
小代か
江戸時代(18-19世紀)
陶器 高 20.4 口径 8.5
最大径 22.3 底径 11.0
(蓋)高 3.1 径 8.9
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 152 灰釉鉄絵盃(皮鯨)
唐津
桃山時代-江戸時代
(16世紀末-17世紀初期) 陶器
高 4.1 口径 10.7 底径 3.9
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 153 唐津皮鯨盃 銘「蘇鉄」
唐津 桃山時代(17世紀初期)陶器
高 5.3 口径 7.4 底径 3.5
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 154 緋襷徳利
備前か 江戸時代(18-19世紀)陶器
高 11.0 口径 2.3
胴径 7.8 底径 5.0
愛知県美術館(木村定三コレクション)

- 155 色絵花亀甲文角瓶
有田 桃山時代(17世紀後期)磁器
高 19.2 口径 2.6
胴径 10.7 底径 10.2
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 156 五彩花卉文角杯
景徳鎮
明時代末(17世紀)磁器
高 3.7 口径 4.6 底径 2.1
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 157 李朝白磁盃
朝鮮 李朝(19世紀)磁器
口径 8.4 底径 4.2 高さ 3.2
愛知県美術館(木村定三コレクション)
- 158 鉄絵兎文盃
唐津 口径 5.7 高 3.7
豊橋市美術館(司コレクション)
- 159 色絵草花文小口徳利
薩摩 胴径 10.0 高 12.2
豊橋市美術館(司コレクション)
- 160 永楽保全
染付梅花文盃/染付梅花吹墨盃台
銘「永楽」
京都 江戸時代(19世紀前期)
(盃)径 8.1 高 3.5
(盃台)径 12.1 高 4.5
豊橋市美術館(司コレクション)
- 161 永楽保全
金欄手鳥魚文盃/金欄手鳥魚文盃台
京都 (盃)口径 6.1 高 3.8
(盃台)径 10.5 高 2.4
豊橋市美術館(司コレクション)
- 162 永楽保全
青磁双魚文盃
京都 口径 6.0 高 3.0
豊橋市美術館(司コレクション)
- 163 尾形周平(2代)
色絵花鳥文盃台
江戸時代(19世紀前期)
径 5.5 高 4.2
豊橋市美術館(司コレクション)
- 164 大喜豊助(4代)・豊楽
陶胎時絵盃台 銘「豊楽」
江戸時代(19世紀前期)
径 9.4 高 6.0
豊橋市美術館(司コレクション)
- 165 色絵三唐子文盃台 銘「亀亭」
江戸時代(19世紀前期)
径 10.4 高 2.3
豊橋市美術館(司コレクション)
- 166 赤土部横筋文徳利
丹波 江戸時代前期(17世紀) 陶器
口径 6.5 胴径 20.7
底径 13.9 高 27.6
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 167 赤土部灰釉徳利
丹波 江戸時代前期
(18世紀後期-19世紀前期) 陶器
口径 4.2 胴径 17.5 高 27.3
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 168 栗皮釉巾着形徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 2.6 胴径 17.0
底径 10.0 高 18.3
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 169 栗皮釉傘徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 2.7 胴径 12.0
底径 10.5 高 26.5
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財

- 170 辰砂傘徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 2.2 胴径 10.5
底径 9.6 高 22.5
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 171 栗皮釉蠟燭徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 3.2 胴径 9.1
底径 8.7 高 22.8
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 172 栗皮釉四方徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 2.6 胴径 11.4
底径 10.7 高 15.6
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 173 色絵桜川文徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 2.7 胴径 16.5
底径 10.0 高 22.7
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 174 色絵草花文徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 4.0 胴径 7.5
底径 6.1 高 18.2
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 175 鶴図徳利 一对
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
(右)口径 4.7 胴径 10.5 底径 6.0 高 19.0
(左)口径 4.7 胴径 10.0 底径 5.8 高 19.0
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 176 栗皮釉鶴首徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 3.5 胴径 8.1
底径 7.5 高 26.7
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 177 白地鷹口徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 3.0 胴径 7.6
底径 6.4 高 19.4
兵庫陶芸美術館
- 178 筒描海老文徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 3.9 胴径 7.9
底径 6.8 高 23.1
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 179 白釉海老文徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 3.5 胴径 13.8
底径 8.5 高 23.4
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
- 180 筒描横筋文徳利
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 5.2 胴径 16.5
底径 8.4 高 28.8
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 181 柿地金彩梅花文盃洗 珉平
江戸時代後期-明治(19世紀) 陶器
口径 17.8 底径 9.7 高 15.6
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
- 182 白地鉄絵猪口(3点)
丹波 江戸時代後期(19世紀) 陶器
口径 6.4 底径 4.6 高 6.2
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財

- 183 バーナード・リーチ
立杭
コンテ・紙 縦 23.8 横 15.0
郡山市立美術館

無礼講 酒宴に咲く器

- 184 串珠形盃 寄せ書画帖付き
日本製か
江戸時代、文化元(1804)年以降
ガラス
長 14.1 口径 5.5
比重 2.49(珪酸ガラスか)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 185 弦朝顔ガラス盃
長崎製
江戸時代(1772-1844)
長 15.2 口径 5.6 比重 3.72(糊)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 186 黄色ガラスべく杯
日本・長崎製か
江戸時代(1711-1781)
長 10.3 口径 7.0 比重 3.72
関西大学博物館
- 187 染付朝顔盃
平戸 江戸-明治時代(19世紀前期)
磁器 口径 5.2 長 7.0
豊橋市美術館(司コレクション)
- 188 蒔絵寿字文紫色脚付ガラス杯
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 5.1 高 6.3 比重 3.63
関西大学博物館
- 189 藍縁ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 6.3 高 2.4 比重 4.14
関西大学博物館
- 190 藍縁朝顔形脚付ガラス杯
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 7.0 高 7.8 比重 4.01
関西大学博物館
- 191 藍色梅形ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 6.0 高 3.7 比重 3.68
関西大学博物館
- 192 乳青色梅形ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 5.7 高 3.5 比重 3.78
関西大学博物館
- 193 紫色梅形ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 5.9 高 3.4 比重 3.69
関西大学博物館
- 194 グラヴール梅形ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 5.9 高 3.6 比重 3.57
関西大学博物館
- 195 蒔絵菊文藍色ガラス盃
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
口径 5.4 高 3.8 比重 3.89
関西大学博物館

- 196 藍色手付ガラス盃
藍色ガラス盃台
日本・製作地未詳
江戸時代(1772-1844)
(盃)口径 4.0 高 5.0
(盃台)胴径 6.5 高 3.9
比重 3.85/3.92
関西大学博物館
- 197 型吹き麻の葉文青色ガラス盃
(三つ入れ子)
江戸製か
江戸時代(1844-1868年)
口径 5.6 高 4.2 比重 3.58(大)
関西大学博物館
- 198 型吹き雷文乳青色ガラス盃
(三つ入れ子)
日本・製作地未詳
江戸時代(1844-1868年)
口径 5.3 高 3.8 比重 3.69(大)
関西大学博物館
- 199 型吹き麻の葉文紫色ガラス盃
(三つ入れ子) 江戸製か
江戸時代(1844-1868年)
口径 5.6 高 4.0 比重 3.65(大)
関西大学博物館
- 200 型吹き麻の葉文ガラス盃
(三つ入れ子)
日本・製作地未詳
江戸時代(1844-1868年)
口径 5.5 高 4.1 比重 3.52(大)
関西大学博物館
- 201 切り菱に霞文ガラス盃
(三つ入れ子)
日本・製作地未詳
江戸時代-明治前期(1844-1887)
口径 5.9 高 3.3 比重 3.02(大)
関西大学博物館
- 202 手彫り切りガラス三ツ盃・盃台揃い
日本製 明治中期(1883-97)
盃台：口径 13.4 高 9.2
盃：(大)口径 11.2 高 4.7
(中)口径 10.0 高 4.5
(小)口径 9.0 高 4.4
神戸市立博物館
- 203 雪見灯籠形ガラス酒器揃 一式
日本製 明治後期(1898-1912)
比重 2.50(盃・最大)
神戸市立博物館
(びいどろ史料庫コレクション)
- 204 加藤重輔
染付渦巻文盃
美濃 市之倉 19世紀 磁器
直径 6.5 高 2.8
市之倉さかづき美術館
- 205 加藤重輔
唐獅子牡丹文花瓶形盃
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 6.8 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 206 加藤重輔
染付ねじり文盃
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 6.5 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 207 加藤重輔
朝顔形盃
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 6.8 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 208 加藤重輔
朝顔形色釉盃
美濃 市之倉
明治時代(19世紀) 磁器
直径 6.8 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 209 クリストファー・ドレッサー
クラレットジャグ、黒檀把手
(ぶどう酒用容器)
ガラス、金属、電気メッキ、黒檀
高 23.0
郡山市立美術館
- 210 クリストファー・ドレッサー
クラレットジャグ
(ぶどう酒用容器)
ガラス、金属、電気メッキ
高 23.0
郡山市立美術館
- 211 クリストファー・ドレッサー
『日本—その建築、美術、工芸』
1882年刊行 紙・本
郡山市立美術館
- 212 加藤五輔
染付蜻蛉漢詩文玉露碗
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 5.8 高 4.6
市之倉さかづき美術館
- 213 加藤安吾郎
染付祥瑞文盃
美濃 市之倉
明治時代(19世紀) 磁器
直径 6.1 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 214 三代 加藤幸兵衛
白磁菊縁盃
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 6.5 高 3.5
市之倉さかづき美術館
- 215 加藤才平
染付朝顔漢詩文玉露碗
美濃 市之倉 明治時代 磁器
直径 5.2 高 4.3
市之倉さかづき美術館
- 216 加藤四老兵衛
染付菊文碗 美濃 市之倉
明治時代 磁器
直径 7.8 高 4.5
市之倉さかづき美術館
- 217 加藤四老兵衛
染付螢手ホタル文盃
美濃 市之倉 大正時代 磁器
直径 5.5 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 218 桜文盃
美濃 市之倉
明治時代(19世紀) 磁器
直径 6.8 高 2.9
市之倉さかづき美術館
- 219 加藤五平
染付鶴亀盃台盃
美濃 市之倉 大正時代 磁器
(盃)直径 5.3 高 2.8
(盃台)幅 7.7 奥行 6.8 高 1.7
市之倉さかづき美術館
- 220 加藤円山
染付竹文酒器揃
美濃 市之倉 大正時代 磁器
(徳利)直径 6.5 高 12.5
(盃)直径 5.0 高 2.9
(盃台)直径 7.0 高 1.6
(盃洗)直径 10.7 高 7.7
市之倉さかづき美術館
- 221 東陽軒 加藤平八
染付正円子盃台盃 染付正円子徳利
京都 明治時代 磁器
(徳利)直径 7.0 高 15.0
(盃)直径 6.5 高 3.0
(盃台)直径 10.0 高 2.5
市之倉さかづき美術館
- 222 原平
染付瑞獸文盃台盃
京都 明治時代 磁器
(盃)直径 7.0 高 3.0
(盃台)直径 9.8 高 2.3
市之倉さかづき美術館
- 223 宮田亀寿
染付十草盃
京都 江戸末期 磁器
直径 6.5 高 3.0
市之倉さかづき美術館
- 224 川本半助
染付風景文盃
瀬戸 明治時代 磁器
直径 7.8 高 2.6
市之倉さかづき美術館
- 225 色絵金彩百人一首盃 九谷
明治時代 磁器
直径 6.4 高 3.6
市之倉さかづき美術館
- 226 九谷色絵吉祥文盃
九谷 明治時代 磁器
直径 5.9 高 2.5
市之倉さかづき美術館
- 227 九谷色絵安寿と厨子王給盃 九谷
明治時代 磁器
直径 5.6 高 2.8
市之倉さかづき美術館
- 228 赤絵海老文盃台盃
有田 大正時代 磁器
(盃)直径 5.1 高 2.4
(盃台)直径 7.2 高 1.4
市之倉さかづき美術館
- 229 青磁染付桜花文銚子
三田 江戸時代後期(19世紀)
幅 24.0 口径 4.5
胴径 14.7 底径 5.3 高 14.6
兵庫陶芸美術館
- 230 青磁桜花文銚子
三田 江戸時代後期(19世紀)
幅 25.1 口径 4.5
胴径 15.0 底径 6.0 高 14.5
兵庫陶芸美術館
- 231 青磁唐子車形盃台
王地山 江戸時代後期(19世紀)
高 7.7
兵庫陶芸美術館
- 232 吉向十三軒
鉄絵人物文盃
色絵金彩鯛盃台 銘「吉向」
大正-昭和時代(20世紀前期)
(盃)口径 7.3 高 2.6
(盃台)長 14.1 高 8.5
豊橋市美術館(司コレクション)
- 233 色絵鶯盃
美濃 市之倉
昭和初期 磁器
直径 5.6 高 3.6
市之倉さかづき美術館
- 234 色釉金彩鶯徳利
美濃 下石(オロシ)
昭和初期 磁器
直径 6.2 高 15.0
市之倉さかづき美術館
- 235 清水七兵衛
染付嵐山風景図布袋八分盃
京都 清水
江戸時代末期-明治(19世紀)
径 6.6 高 4.0
豊橋市美術館(司コレクション)
- 236 白磁芸妓透し盃
美濃 市之倉 昭和初期 磁器
直径 5.8 高 3.0
市之倉さかづき美術館

- | | | |
|---|--|--|
| <p>237 色絵狐人物文酒令盃
銘「京」／「楽」
京都 大正時代-昭和(20世紀前期)
径 6.1 高 3.0
豊橋市美術館(司コレクション)</p> <p>238 三彩茄子形徳利 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 胴径 10.5 高 16.0
滋賀県立陶芸の森 陶芸館</p> <p>239 三彩茄子手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 10.0 高 5.0 奥行 6.1
滋賀県立陶芸の森 陶芸館</p> <p>240 三彩蜜柑手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 11.0 高 3.8 奥行 5.9
滋賀県立陶芸の森 陶芸館
(伊賀三男コレクション)</p> | <p>241 三彩法螺貝手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 9.8 高 3.7 奥行 8.1
滋賀県立陶芸の森 陶芸館
(伊賀三男コレクション)</p> <p>242 三彩松茸手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 10.6 高 4.8 奥行 7.4
滋賀県立陶芸の森 陶芸館
(伊賀三男コレクション)</p> <p>243 三彩烏瓜手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 10.4 高 4.4 奥行 6.9
滋賀県立陶芸の森 陶芸館
(伊賀三男コレクション)</p> <p>244 三彩瓢箪手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 10.2 高 3.3 奥行 6.5
滋賀県立陶芸の森 陶芸館</p> | <p>245 三彩胡瓜手付盃 梅林焼
江戸時代(18世紀後期-19世紀前期)
陶器 幅 8.7 高 4.4 奥行 7.0
滋賀県立陶芸の森 陶芸館
(伊賀三男コレクション)</p> |
|---|--|--|



岡泰正氏講演会



小泉武夫氏講演会



展示風景



展示風景

日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ

会 期：令和6年1月30日(火)～3月24日(日)
主 催：郡山市立美術館
後 援：デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館
企画協力：株式会社ブレントラスト
観 覧 料：一般1,000(800)円
 高校・大学生・65歳以上700(560)円
 ※()内は団体料金。中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

趣 旨

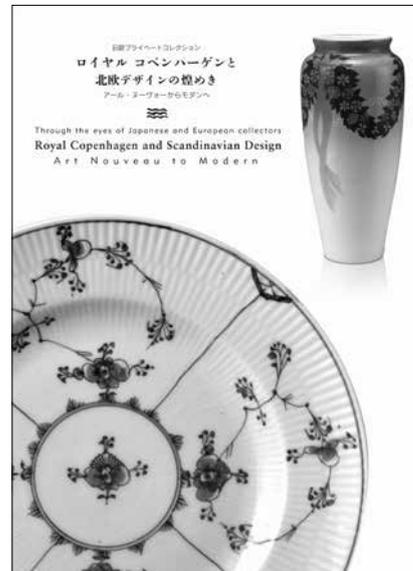
冬が長く、室内での暮らしを大切にしてきた北欧では、日常を彩るさまざまなデザインが発展してきた。本展では、デンマークの陶磁器メーカー「ロイヤル コペンハーゲン」を中心に、デンマークとスウェーデンに焦点を当て、個人コレクションから精選した陶磁器、銀器、ガラス器など約200点を紹介し、北欧デザインの魅力に迫った。

関連行事

- 講演会「ロイヤル コペンハーゲン ピング オー グレンダール」
講師：塩川博義氏(日本大学教授、コレクター)
日時：令和6年2月18日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク
講師：塚本敬介(当館学芸員)
日時：令和6年3月2日(土)午後2時から
場所：企画展示室
- ギャラリートーク
講師：新田量子(当館学芸員)
日時：令和6年3月9日(土)午後2時から
場所：企画展示室
- 映画会「陶王子」
(監督：柴田昌平、2021年、110分、日本・中国)
日時：令和6年3月16日(土)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 映画会「リリーのすべて」
(監督：トム・フーパー、2015年、120分、イギリス)
日時：令和6年3月17日(日)午後2時から
場所：多目的スタジオ
- 映画会「リトル・アラジン 空飛ぶ魔法のじゅうたん」
(監督：カーステン・キラーリッヒ、2018年、81分、デンマーク)
日時：令和6年3月20日(水・祝)午後2時から
場所：多目的スタジオ



ポスター



図録

発行物

『日欧プライベートコレクション』

ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ』

25.7×19.2cm 192ページ 発行日：令和5年9月16日

編集：株式会社ブレントラスト

編集協力：立花昭(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)

エッセイ執筆：塩川博義(日本大学教授、コレクター)／マイケル・ホワイトウェイ(文化・デザイン史、キュレーター)

執筆：沓沢耕介、富田康子(横須賀美術館学芸員)／佐藤秀彦(美術史家)／立花昭／塚本敬介、新田量子(当館学芸員)

デザイン：川添英昭

発行：『日欧プライベートコレクション』

ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ』カタログ実行委員会

内容：謝辞／ごあいさつ／塩川博義「魅惑の北欧アール・ヌーヴォー装飾磁器」／マイケル・ホワイトウェイ「オレフォスとスウェーデンのアートガラス」／凡例／カタログ／ロイヤル コペンハーゲン／ピング オー グレンダール／ジョージ ジェンセン／フィギュリン／ロールストランド／オレフォス／コスタ／バックスタンプ／デンマーク王国／スウェーデン王国／年表／作品リスト

関連記事

「北欧の陶磁器並ぶ」『福島民友』令和6年2月12日付

塚本敬介「北欧の煌めき 感じて」『福島民報』令和6年3月3日付

出品リスト

ROYAL COPENHAGEN

- | | | | | | |
|-----|--|-----|---|------|---|
| 1 | 皿(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：
マティアス・ハンセン・ウォルストロップ
1785年頃 磁器
H3.3×D24.6cm
塩川コレクション | 5-5 | バターパット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1913-22年 磁器
H0.8×D7.1cm
塩川コレクション | 13 | カップ&ソーサー(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
カップ：1903-22年
ソーサー：1913-17年
磁器
カップ：H4.7×W10.1×D8.5cm
ソーサー：H2×D13.2cm
塩川コレクション |
| 2 | 皿(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1864-82年 磁器
H2.1×D17.3cm
塩川コレクション | 6 | オーバル皿(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1894-97年 磁器
H4×W37×D20cm
塩川コレクション | 14 | カップ&ソーサー(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
ソーサー：1894-97年
カップ：1906-13年
磁器
ソーサー：H1.5×D11.2cm
カップ：H5.5×W8.1×D6.4cm
塩川コレクション |
| 3 | 皿(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1895-97年 磁器
H1.8×D14.3cm
塩川コレクション | 7 | トレイ(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1898-1922年 磁器
H1.2×W28.5×D21.4cm
塩川コレクション | 15 | 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：
クリスチャン・ラーセン・アレンボルグ
1800年頃 磁器
H3.2×D25cm
塩川コレクション |
| 4 | 皿(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：
フリードリッヒ・グレゴリウス・ショルツ
1795年頃 磁器
H5.3×D23.5cm
塩川コレクション | 8 | コンポート(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1898-1922年 磁器
H14.3×D21.1cm
塩川コレクション | 16-1 | 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1820-50年 磁器
H2.5×D20cm
塩川コレクション |
| 5-1 | バターパット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1891-93年 磁器
H0.8×D7.1cm
塩川コレクション | 9 | シュガーポット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1923-28年 磁器
H8.2×W11.2cm
塩川コレクション | 16-2 | 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1820-50年 磁器
H2.5×D20cm
塩川コレクション |
| 5-2 | バターパット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1891-93年 磁器
H0.8×D7.3cm
塩川コレクション | 10 | ミルクピッチャー(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1923-28年 磁器
H10.5×W9.2cm
塩川コレクション | 16-3 | 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1820-50年 磁器
H2.5×D20cm
塩川コレクション |
| 5-3 | バターパット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1894-98年 磁器
H0.8×D7.1cm
塩川コレクション | 11 | カスタードカップ(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：
フリードリッヒ・グレゴリウス・ショルツ
1795年頃 磁器
H9×W9.2cm
塩川コレクション | 17 | 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1901-22年 磁器
W13.6×D12cm
塩川コレクション |
| 5-4 | バターパット(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
1898-1922年 磁器
H0.8×D7.1cm
塩川コレクション | 12 | カップ&ソーサー(ブルーフルーテッド)
ロイヤル コペンハーゲン
ソーサー：1898-1922年
カップ：1912-21年
磁器
ソーサー：H1.9×D12.4cm
カップ：H5.7×W8.8×D7cm
塩川コレクション | | |

- 18 皿(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1820-50年 磁器
W18.7×D13.7cm
塩川コレクション
- 19 ポット(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：
クリスチャン・ラーセン・アレンボルグ
1800年頃 磁器
H24.5×W17.7×D11.2cm
塩川コレクション
- 20 カップ&ソーサー(ブルーフラワー)
ロイヤル コペンハーゲン
1820-50年 磁器
カップ：H7.3×W7.8cm
ソーサー：H2.8×D13.3cm
塩川コレクション
- 21 花文サーヴィス(マーガレット・サーヴィス)
ロイヤル コペンハーゲン
デザイン：アーノルド・クロウ
ペインター：J ハンシエル
1904-22年 磁器
トレイ：H5×W44.5×D26.6cm
ポット：H13×W16.9×D7.2cm
クリーマー：H4×W10.8×D4.2cm
シュガー：H6.1×W15.5×7.5cm
塩川コレクション
- 22 風景図皿
ロイヤル コペンハーゲン
アーノルド・クロウ
1890年
磁器
H6×D39.5cm
塩川コレクション
- 23 草原兎図皿
ロイヤル コペンハーゲン
カール・フレデリック・リースベア
1893年 磁器
H2.6×D25cm
塩川コレクション
- 24 人面付花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
スヴェン・ハマースホイ
原型：アーノルド・クロウ
1893年 磁器
H25.9×W13×D13.5cm
塩川コレクション
- 25 かたつむり文花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
カール・モーテンセン
1894年 磁器
H41.5×D16.4cm
塩川コレクション
- 26 水草魚図花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
ベアタ・ナタニールセン
1894年 磁器
H20.7×D14.5cm
塩川コレクション
- 27 しじゅうから図皿
ロイヤル コペンハーゲン
ヴィルヘルム・テオドア・フィッシャー
1895年 磁器
H2.5×D25.2cm
塩川コレクション
- 28 げんごろう文花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
スティーファン・ウスイング
1895年 磁器
H29.4×W18.5×D18.5cm
塩川コレクション
- 29 蛇図花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
ヴィルヘルム・テオドア・フィッシャー
1897年 磁器
H28.3×W19×D19cm
塩川コレクション
- 30 花飾文花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
ヤニー・ソフィー・メイヤー
1910年 磁器
H42×W20cm
塩川コレクション
- 31 小舟風景図皿
ロイヤル コペンハーゲン
スティーファン・ウスイング
1925年 磁器
H3×D31cm
塩川コレクション
- 32 蓮華図皿
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：モニク H
1953-70年代後半 磁器
H6×D36cm
塩川コレクション
- 33 蛙付蜻蛉図花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クリスチャン・トムセン
ペインター：E ウェルディング
1904-08年 磁器
H23.5×W9.2×D9.6cm
塩川コレクション
- 34 蛾付花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クリスチャン・トムセン
ペインター：L ボル
1898-1922年 磁器
H8.7×W13×D13cm
塩川コレクション
- 35 かたつむり花瓶
ロイヤル コペンハーゲン
原型：ヤコブ・オール・ホイヒ
1903-08年 磁器
H11.5×W6.8×D6.8cm
塩川コレクション
- 36 上絵花文テーブルウェア
ロイヤル コペンハーゲン
1895-98年 磁器
ポット：H14×W15×D7.5cm
シュガー：H9.2×W11.3×D6.5cm
カップ：H7.5×W7.7×D5.7cm
ソーサー：H1.2×W12.8×D11cm
塩川コレクション
- 37 金彩ペンダント
ロイヤル コペンハーゲン
デザイン：ニルス・トーソン
20世紀中頃 磁器
L7.7×W5.5cm
塩川コレクション
- 38 染付金彩鷲文皿
ビング オー グレンダール
デザイン：ピエトロ・クロウン
ペインター：ファニー・ガーデ
もしくはエフィー・ヒーガマン＝
リンデンクローネ
1886-88年 磁器
H3.5×D23.5cm
塩川コレクション
- 39 金彩鷲アイスバケット
ビング オー グレンダール
デザイン：ピエトロ・クロウン
1898-1914年 磁器
H25.6×W22.9×D23cm
塩川コレクション
- 40 金彩鷲ソースボート
ビング オー グレンダール
デザイン：ピエトロ・クロウン
1898-1914年頃 磁器
H14.4×W19.9×D7.1cm
塩川コレクション
- 41 鷲水差し
ビング オー グレンダール
デザイン：ピエトロ・クロウン
1914年 磁器
H23×W17×D13cm
塩川コレクション
- 42 パンジー文鉢
ビング オー グレンダール
ファニー・ガーデ
1902年頃 磁器
H11.5×D13cm
塩川コレクション
- 43 トマト文花瓶
ビング オー グレンダール
ファニー・ガーデ
1918年 磁器
H24.5×D23cm
塩川コレクション
- 44 花文コンポート
ビング オー グレンダール
ファニー・ガーデ
1920年 磁器
H10×W16.6×D16.6cm
塩川コレクション
- 45 檸檬文ポプリポット
ビング オー グレンダール
ファニー・ガーデ
1919年 磁器
H26.5×W20cm
塩川コレクション
- 46 ひとよたけ文蓋付壺
ビング オー グレンダール
エフィー・ヒーガマン＝リンデンクローネ
蓋の制作：陶器師・高木典利
1894-97年 磁器
H15.8×W17×D16.9cm(壺のみ)
塩川コレクション
- 47 花文花器
ビング オー グレンダール
エフィー・ヒーガマン＝リンデンクローネ
1920年 磁器
H19.2×W13.3×D13.3cm
塩川コレクション
- 48 金彩浮彫透おもだか文蓋付壺
ビング オー グレンダール
ヨハヌス・ハーン・ロッハー
1917年頃 磁器
H27.1×W15.5×D15.5cm
塩川コレクション
- 49 さるのこしかけ文蓋付壺
ビング オー グレンダール
ヨハヌス・ハーン・ロッハー
金彩：WM
1918年 磁器
H36.8×W23.9×D23.9cm
塩川コレクション
- 50 西洋ななかまど図花瓶
ビング オー グレンダール
ペインター：クララ・ニールセン
1902-14年 磁器
H43×W23cm
塩川コレクション
- 51 水鳥図花瓶
ビング オー グレンダール
ペインター：mtyldahl
1915-48年 磁器
H46×W23cm
塩川コレクション
- 52 兎花瓶
ビング オー グレンダール
デザイン：ハンス・ペーター・コフォード
ペインター：LLG
1902-14年 磁器
H12×W14.5×D8cm
塩川コレクション

53 鶏花瓶
ピング オー グレンダール
1902-14年 磁器
H16×W11×D7cm
塩川コレクション

GEORG JENSEN

54 チョコレート・セット no.2D
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1905年
制作：1945年以降 銀、木
チョコレートポット：H16×D16cm
ミルクポット：H8×D10cm
シュガーボウル：H12×D10cm
個人蔵

55 ソースポットとプレート no.177、
レードル no.141、ブロッサムパターン
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1916年頃
制作(ソースポットとプレート)：1929年頃
制作(レードル)：1931年頃 銀
ソースポット：H12.8×W21×D9.3cm
プレート：H1×W20.5×D12.6cm
レードル：L18×W5.5cm
個人蔵

56 プレート no.2B ブロッサムパターン
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1905年
制作：1915-30年 銀
H3×W13×D9.6cm
個人蔵

57 キャンディーボウル no.235
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1917年
制作：1922年頃 銀
H7.2×L9.5×D7.7cm
個人蔵

58 八角形の台付プレート
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
制作：1926年頃 銀
H6×D11.5cm
個人蔵

59 コーヒーサービス no.34
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
制作(ミルクジャグ)：1924年頃
制作(ティーポット)：1925年頃
制作(シュガーボウル)：1928年頃
制作(コーヒーポット)：1931年頃
銀、木
ミルクジャグ：H6.4×W11.5×D11cm
ティーポット：H12.5×W16×D11.3cm
シュガーボウル：H5×D7.7cm
コーヒーポット：H12.5×W16×D11cm
個人蔵

60 ピッチャー no.432
ジョージ ジェンセン
ヨハン・ロード
デザイン：1920年
制作：1933-47年 銀
H23×W14×D12cm
個人蔵

61 浅いボウル no.544
ジョージ ジェンセン
オスカー・グンドラフ・ペダーセン
デザイン：1928年頃
制作：1915-30年 銀
H5.5×W26.2×D19.6cm
個人蔵

62 ピッチャー no.385
ジョージ ジェンセン
ヨルゲン・ジェンセン
デザイン：1923年
制作：1929年頃 銀、木
H14×W12.5×D11cm
個人蔵

63 モカポット no.456
ジョージ ジェンセン
ハラルド・ニールセン
デザイン：1927年
制作：1933-44年 銀、木
H21×W15.5cm
個人蔵

64 スプーン no.41
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1916年
制作：1924年頃 銀
L19×W5.4cm
個人蔵

65 スプーン no.141 ブロッサムパターン
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1916年
制作：1931年頃 銀
L14×W3.7cm
個人蔵

66 カトラリー no.1 谷間の百合／ローズ
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1913年
制作(ナイフ)：1930年頃
銀、ステンレス(ナイフ)
スプーン：L19.5×W4.1cm
ナイフ小：L20.3×W2.2cm
ナイフ：L24.5×W2.4cm
個人蔵

67 カトラリー no.1 谷間の百合／ローズ
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1913年
制作(クリームレードルを除く)：1927-37年
銀
スプーン：L14.5×W3.7cm
グレープフルーツスプーン：L14.5×W3.7cm
クリームレードル：L13×W4cm
ピクルスフォーク：H16×W1.9cm
フォーク：H14×W2cm
茶葉スプーン：L11×W3.8cm
調味料スプーン：L9.6×W1.9cm
ティースプーン：L12.5×W2.5cm
個人蔵

68 アフタヌーンティーサービス
no.1 谷間の百合／ローズ
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン？
デザイン：1913年
制作：1928年頃 銀
茶葉スプーン：L12.1×W3.7cm
プリザーヴスプーン：L14.5×W3.9cm
クリームレードル：L14.7×W5cm
個人蔵

69 サラダサービス no.4
コンチネンタル
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1908年
制作：1915-30年 銀
フォーク：L20.3×W4.4cm
スプーン：L21.2×W5.2cm
個人蔵

70 カトラリー no.180 アカンス
ジョージ ジェンセン
ヨハン・ロード
デザイン：1917年
制作：1945年以降
銀、ステンレス(ナイフ)
フォーク：L16.7×W2.3cm
ナイフ：L20×W2.1cm
個人蔵

71 カトラリー no.30 カクタス
ジョージ ジェンセン
ガンドルフ・アルベルタス
デザイン：1930年
制作(ナイフ)：1933-44年
制作(フォーク)：1935年頃
銀、ステンレス(ナイフ)
フォーク：L18.5×W2.6cm
ナイフ：L25×W2.6cm
個人蔵

72 カトラリー no.9 ベルナドッテ
ジョージ ジェンセン
シグヴァルド・ベルナドッテ
デザイン：1939年
制作：1945年以降
銀、ステンレス(ナイフ)
フォーク：L17×W2.2cm
ナイフ：L19.7×W4.2cm
個人蔵

73 カトラリー no.100 オールドデニッシュ
ジョージ ジェンセン
ハラルド・ニールセン
デザイン：1947年
制作：1945年以降
銀、ステンレス(ナイフ)
フォーク：L17×W2.2cm
ナイフ：L20×W2.1cm
個人蔵

74 カトラリー ブルーシャーク
ジョージ ジェンセン
スヴェン・シュエネ
デザイン：1965年 ステンレス
フォーク小：L14.6×W2.5cm
フォーク：L17.1×W3cm
ナイフ：L18.9×W2.5cm
スプーン小：L14.5×W3.8cm
スプーン：L16.7×W4.5cm
個人蔵

75 ブローチ no.373
ジョージ ジェンセン
ヴィヴィアンナ・トールン・ビュロー=ヒューベ
デザイン：1958年頃
制作：1945年以降
銀、ムーンストーン
L7.5×W5.9cm
個人蔵

76 ネットレス no.160、ペンダント no.135
ジョージ ジェンセン
ヴィヴィアンナ・トールン・ビュロー=ヒューベ
デザイン：1968年頃
制作：1945年以降
銀、クォーツ、アメジスト
ペンダントトップ：L9.5×W7cm
ネットレス：W15×D14.5cm
個人蔵

77 アームリング no.203
ジョージ ジェンセン
ヴィヴィアンナ・トールン・ビュロー=ヒューベ
デザイン：1960年頃
制作：1945年以降
銀、ソーダ石
アーム：W5.8×D6cm
石：L4.5×W3cm
個人蔵

- 78 ブローチ no.336
ジョージ ジェンセン
ナナ・ディッツェル
デザイン：1963年頃
制作：1945年以降
銀、オニキス
L3.6×W4.3cm
個人蔵
- 79 ペンダント no.337
ジョージ ジェンセン
ナナ・ディッツェル
デザイン：1963年頃
制作：1945年以降 銀
ペンダントトップ：D6cm
個人蔵
- 80 ネックレス no.124
ジョージ ジェンセン
ナナ・ディッツェル
デザイン：1961年頃
制作：1945年以降 銀
41cm
個人蔵
- 81 ジュエリーセット、エコーンパターン
ジョージ ジェンセン
銀
ブレスレット：L19cm
ピン：W4.3×D2.3cm
ネックレス：D15.3cm
個人蔵
- 82 ブローチ no.306
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1947年頃
制作：1945年以降 銀、エナメル
L5.6×W6.3cm
個人蔵
- 83 ブローチ no.322
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1947年頃
制作：1965年頃 銀
L3.6×W4.8cm
個人蔵
- 84 ブローチ no.327
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1956年
制作：1965年頃 銀
L2.9×W5.7cm
個人蔵
- 85 ブローチ no.314
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1954年
制作：1945年以降 銀、エナメル
L3×W7cm
個人蔵
- 86 ブローチ no.307
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1947年
制作：1945年以降 銀、エナメル
L3.7×W6.3cm
個人蔵
- 87 ブローチ no.323
ジョージ ジェンセン
ヘニング・コッペル
デザイン：1956年
制作：1958年頃 銀、エナメル
L5.6×W6.3cm
個人蔵
- 88 ブローチ no.295
ジョージ ジェンセン
ジョージ・ジェンセン
デザイン：1920年代頃
制作：1915-27年頃 銀
L3.1×W5.4cm
個人蔵

- 89 ブローチ no.165
ジョージ ジェンセン
クリスチャン・モール＝ハンセン
デザイン：1907-09年頃
制作：1945年以降 銀
L6.1×W6.1cm
個人蔵
- 90 ブローチ no.283
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
デザイン：1942年頃
制作：1933-44年 銀
D5.3cm
個人蔵
- 91 ブローチ no.255
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1964年頃 銀
L3.9×W3.9cm
個人蔵
- 92 ブローチ no.309
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1945年以降 銀
L4×W4.3cm
個人蔵
- 93 ブローチ no.238
ジョージ ジェンセン
ガンドルフ・アルベルタス
制作：1945年以降 銀
L3.1cm×W4.3cm
個人蔵
- 94 ブローチ no.276
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1945年以降 銀
L3.7×W3.7cm
個人蔵
- 95 ブローチ no.318
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
デザイン：1934年頃
制作：1933-44年 銀
L3.8×W3.8cm
個人蔵
- 96 ブローチ no.256
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
デザイン：1942年頃
制作：1965年頃 銀
L3.5×W4.5cm
個人蔵
- 97 ブローチ no.298
ジョージ ジェンセン
ヒューゴ・リースベア
デザイン：1943年頃
制作：1963年頃 銀
D5.3cm
個人蔵
- 98 ブローチ no.257
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1945年以降 銀
L3.7×W4cm
個人蔵
- 99 ブローチ no.312
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1962年頃 銀
L4×W4.2cm
個人蔵
- 100 ペンダント no.94
ジョージ ジェンセン
アーノ・マリノフスキ
制作：1933-44年 銀
L3.1×W3.7
個人蔵

FIGURE

- 101 北極熊置物
ロイヤル コペンハーゲン
カール・フレデリック・リースベア
1900年 磁器
H31×W14×D15cm
塩川コレクション
- 102 モルモット置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：ヤコブ・オール・ホイヒ
1895年 磁器
H7.7×D13cm
塩川コレクション
- 103 白ふくろう置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：ヤコブ・オール・ホイヒ
インター：M ハンセン
1903-13年 磁器
H22×W17.8×D11cm
塩川コレクション
- 104 仲良し犬置物
ロイヤル コペンハーゲン
ペインター：Z ハンセン
1900-03年 磁器
H14×W15×D10cm
塩川コレクション
- 105 眠り猫置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：エリック・ニールセン
1923-28年 磁器
H8×W14×D12cm
塩川コレクション
- 106 眠り猫置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：エリック・ニールセン
ペインター：E ハサジェ
1902-22年 磁器
H8×W14×D12cm
塩川コレクション
- 107 眠り猫置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：エリック・ニールセン
ペインター：IVX
1958年 磁器
H8×W14×D12cm
塩川コレクション
- 108 子鹿置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クヌー・キューン
1925-28年 磁器
H11.5×W15×D9.5cm
塩川コレクション
- 109 パンサー置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クヌー・キューン
1938年 磁器
H13×W40×D13cm
塩川コレクション
- 110 シェットランド・シープドッグ置物
ピング オー グレンダール
原型：イェンス・ビーター・ダール＝イェンセン
1902-14年 磁器
H14.5×W28×D22cm
塩川コレクション
- 111 カッコウ置物
ピング オー グレンダール
原型：イェンス・ビーター・ダール＝イェンセン
1962-70年 磁器
H20×L23×D9cm
塩川コレクション
- 112 孔雀置物(雄)
ピング オー グレンダール
原型：イェンス・ビーター・ダール＝イェンセン
ペインター：TS (?)
1962-70年 磁器
H18×W40×D10cm
塩川コレクション

- 113 孔雀置物(雌)
ピング オー グレンダール
原型：クヌー・モラー
ペインター：ES
1962-70年 磁器
H9×W15.5×D12cm
塩川コレクション
- 114 牧羊神ととかげ置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クリスチャン・トムセン
ペインター：E リンク
1923-28年 磁器
H20.5×W8.1×D8.1cm
塩川コレクション
- 115 牧羊神とりす置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：クリスチャン・トムセン
ペインター：ivx
1952年 磁器
H21.5×W9×D9cm
塩川コレクション
- 116 波と岩置物
ロイヤル コペンハーゲン
原型：テオドア・ルンドベア
ペインター：øF
1985-89年 磁器
H45×W21×D30cm
塩川コレクション
- 117 読書するこどもたち
ピング オー グレンダール
原型：インゲボルグ・プロクロス・イルミンガー
1952-58年頃 磁器
H10.3×W10×D10cm
塩川コレクション
- 118 レゴンダンス置物
ピング オー グレンダール
原型：イェンス・ピーター・ダール=イェンセン
ペインター：iS, AE, HM
1928年以降 磁器
レゴン：H18.5cm
チョンゴン：H15.5cm
塩川コレクション
- 119 スリン吹き置物
ピング オー グレンダール
原型：イェンス・ピーター・ダール=イェンセン
ペインター：H
1928年以降 磁器
H22×W24×D18cm
塩川コレクション
- 120 祈るバリ女性置物
ロールストランド
原型：ホルルド(ハラルド)・ソロモン
1943-45年 磁器
H24×W8×D11.5cm
塩川コレクション
- 121 白鳥花瓶
ロールストランド
原型：ヴァルデマール・リンドストローム
装飾：カール・リンドストローム
1901-02年 磁器
H46.5×D25cm
塩川コレクション
- 122 海藻魚花瓶
ロールストランド
原型：ヴァルデマール・リンドストローム
装飾：カール・リンドストローム
1901-02年 磁器
H27×D16cm
塩川コレクション
- 123 シクラメン文花瓶
ロールストランド
アルゴート・エリクソン
1897年 磁器
H10×W16.6×D16.6cm
塩川コレクション
- 124 藤花文花瓶
ロールストランド
デヴィッド・ヤール
1898-99年 磁器
H30×D14cm
塩川コレクション
- 125 花文花瓶
ロールストランド
メーラ・アンデルベリ
1903-07年 磁器
H14×D10cm
塩川コレクション
- 126 貝花瓶
ロールストランド
ルベン・リーシング
1899-1900年 磁器
H7.5×D11cm
塩川コレクション
- 127 ひとつで付花瓶
ロールストランド
原型：ヒルマ・マリア・パーソン
装飾：カール・リンドストローム
1901-03年 磁器
H18.5×D11cm
塩川コレクション
- 128 水鳥図花瓶
ロールストランド
ニルス・エミール・リンドストローム
1901-02年 磁器
H31.5×D17cm
塩川コレクション
- 129 水鳥図花瓶
ロールストランド
ニルス・エミール・リンドストローム
1897-1915年 磁器
H30×D22cm
塩川コレクション
- 130 浮花付花瓶
ロールストランド
原型：ルベン・リーシング
装飾：アストリッド・エヴェルローフ
1900-10年 磁器
H19.5×D12cm
塩川コレクション
- 131 パンジー図花瓶
ロールストランド
装飾：アルゴート・エリクソン
1897-1910年 磁器
H18×D9cm
塩川コレクション
- 132 チューリップ図花瓶
ロールストランド
装飾：アルゴート・エリクソン
1897-1910年 磁器
H14.5×D6.5cm
塩川コレクション
- 133 獺蛙付筆皿
ロールストランド
1897-1910年 磁器
H12×L24×W12cm
塩川コレクション
- 134 カメレオン筆皿
ロールストランド
1897-1910年 磁器
H9.5×L16×W8.3cm
塩川コレクション
- 135 双耳鉢
オレフォス、サンドヴィック
シモン・ガーテ
1918年頃 ガラス
H11cm
個人蔵
- 136 デカンタ
オレフォス、サンドヴィック
シモン・ガーテ
1918年頃 ガラス
H26cm
個人蔵
- 137 デカンタとグラス
オレフォス、サンドヴィック
シモン・ガーテ
1919年 ガラス
デカンタ：H38×D10cm
グラス：H9.5×D7.5cm
個人蔵
- 138 八角鉢
オレフォス
シモン・ガーテ
1920年頃 ガラス
H12×W29cm
個人蔵
- 139 皿付鉢
ボダ
T. ミュラー
1928年 ガラス
W21.5cm
個人蔵
- 140 花瓶
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1918年頃 ガラス
H25cm
個人蔵
- 141 花瓶
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1919年 ガラス
H27cm
個人蔵
- 142 花瓶
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1928年 ガラス
H11.5cm
個人蔵
- 143 デカンタ
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
彫刻デザイン：ニルス・ランドベリ
1930年代 ガラス
H24cm
個人蔵
- 144 花器
オレフォス
エリック・ハルド
1919年 ガラス
H21cm
個人蔵
- 145 鉢
オレフォス
ヴィッケ・リンドストランド
ガラス
W13.5cm
個人蔵
- 146 「真珠採り」花瓶
オレフォス
ヴィッケ・リンドストランド
1937年 ガラス
H18.5cm
個人蔵
- 147 花瓶
オレフォス
ヴィッケ・リンドストランド
1930年代 ガラス
H23cm
個人蔵

RÖRSTRAND

ORREFORS / KOSTA

- 148 花瓶
オレフォス
ヴィック・リンドストランド
1937年 ガラス
H27×W10cm
個人蔵
- 149 「エウロパと牝牛」花瓶
オレフォス
エミール・ウェイドリッチ
1930年代 ガラス
個人蔵
- 150 花瓶
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1930年代 ガラス
H12cm
個人蔵
- 151 カクテルセット
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1930年代 ガラス
H29cm
個人蔵
- 152 花瓶
オレフォス
シモン・ガーテ
1940年 ガラス
H24.5×W15×D11cm
個人蔵
- 153 花器
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1940年代 ガラス
H19cm
個人蔵
- 154 花瓶
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1940年代 ガラス
H30×D14.5cm
個人蔵
- 155 鉢
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1940年代 ガラス
H10.5cm
個人蔵
- 156 花瓶
ストレムベリ
アスタ・ストロンベリ
彫刻：ルーン・ストランド、L. プーネション
ガラス
H36×W14cm
個人蔵
- 157 「水遊び」花瓶(アリエル)
オレフォス
エドヴィン・オーストロム
1937年 ガラス
H21.8cm
個人蔵
- 158 花瓶(アリエル)
オレフォス
エドヴィン・オーストロム
デザイン：1940年 ガラス
H20×D11cm
個人蔵
- 159 花瓶(アリエル)
オレフォス
エドヴィン・オーストロム
1966年 ガラス
H20cm
個人蔵
- 160 鉢(アリエル)
オレフォス
エドヴィン・オーストロム
1953年 ガラス
H6×W12cm
個人蔵
- 161 花瓶(アリエル)
オレフォス
エドヴィン・オーストロム
1957年 ガラス
H20cm
個人蔵
- 162 デカンタ
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1950年頃 ガラス
H24.5cm
個人蔵
- 163 鉢(スリップグラール)
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
1950年代 ガラス
D26cm
個人蔵
- 164 鉢(スリップグラール)
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
デザイン：1950年代? ガラス
H7×D14cm
個人蔵
- 165 鉢(グラール)
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
デザイン：1950年代? ガラス
H10×D24cm
個人蔵
- 166 鉢(グラール)
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
デザイン：1950年代 ガラス
H9×D19cm
個人蔵
- 167 鉢(グラール)
オレフォス
エドヴァルド・ハルド
デザイン：1950年代 ガラス
H10.5×D20.5cm
個人蔵
- 168 鉢(セレネ)
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1948年 ガラス
H10×D22cm
個人蔵
- 169 花瓶(クラーカ)
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1950年代 ガラス
H21cm
個人蔵
- 170 花瓶(クラーカ)
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1950年代 ガラス
H30cm
個人蔵
- 171 「狂想曲」デカンタ
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1959年 ガラス
H23×D11cm
個人蔵
- 172 「狂想曲」グラス
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
ガラス
ワイングラス小：H17cm
クラレットワイングラス：H15cm
シェリーグラス：H13cm
リキュールグラス：H10.7cm
個人蔵
- 173 花瓶
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1950年代 ガラス
H28.5cm
個人蔵
- 174 花瓶
オレフォス
スヴェン・パルムクヴィスト
1960年代 ガラス
H24×W7cm
個人蔵
- 175 花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1955年 ガラス
H18cm
個人蔵
- 176 花瓶(チューリップ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1957年 ガラス
H39×D11cm
個人蔵
- 177 「夕暮」花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1955年 ガラス
H37cm
個人蔵
- 178 「夕暮」花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1955年 ガラス
H36×W9×D7cm
個人蔵
- 179 「夕暮」花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1955年 ガラス
H28cm
個人蔵
- 180 「夕暮」花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1955年 ガラス
H18cm
個人蔵
- 181 「夕暮」花瓶(ソンメルソ)
オレフォス
ニルス・ランドベリ
1950年代 ガラス
H18cm
個人蔵
- 182 花瓶
オレフォス
インゲボルグ・ルンディン
1950年代 ガラス
H19cm
個人蔵
- 183 花瓶(アリエル)
オレフォス
インゲボルグ・ルンディン
1950年代 ガラス
H15cm
個人蔵
- 184 花瓶(アリエル)
オレフォス
インゲボルグ・ルンディン
1961年 ガラス
H16×D15cm
個人蔵
- 185 デカンタ
オレフォス
ヴィック・リンドストランド
1939年頃 ガラス
H30×W10cm
個人蔵

- | | | |
|---|---|---|
| <p>186 花瓶〈ソンメルソ〉
コスタ
アーネスト・ゴードン
1954年 ガラス
H26.5cm
個人蔵</p> | <p>193 花瓶〈コロラ〉
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H20cm
個人蔵</p> | <p>200 鉢
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H6.25×D20.5cm
個人蔵</p> |
| <p>187 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H20cm
個人蔵</p> | <p>194 鉢〈コロラ〉
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1954年 ガラス
W22cm
個人蔵</p> | <p>201 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1955年頃 ガラス
H33cm
個人蔵</p> |
| <p>188 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H23cm
個人蔵</p> | <p>195 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H17.5cm
個人蔵</p> | <p>202 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1955年頃 ガラス
H33cm
個人蔵</p> |
| <p>189 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H21cm
個人蔵</p> | <p>196 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H29.5cm
個人蔵</p> | <p>203 花瓶〈アウラ〉
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1960年代 ガラス
H20cm
個人蔵</p> |
| <p>190 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H18cm
個人蔵</p> | <p>197 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H16.5cm
個人蔵</p> | <p>204 「十月」花瓶
コスタボダ
シェル・エンゲマン
1986年 ガラス
H14.5cm
個人蔵</p> |
| <p>191 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H19cm
個人蔵</p> | <p>198 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H14.5cm
個人蔵</p> | <p>205 「ラムセス」花瓶
オレフォス
マルティ・リッコネン
2000年頃 ガラス
H23cm
個人蔵</p> |
| <p>192 花瓶〈コロラ〉
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H23cm
個人蔵</p> | <p>199 花瓶
コスタ
ヴィック・リンドストランド
1950年代 ガラス
H30×W8cm
個人蔵</p> | |



講演会



展示風景

Ⅲ 教育普及事業

1) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 425名

回	月 日	演 題	講 師	開催企画展	参加者数
1	4月29日(土・祝)	大川美術館と 20世紀アートコレクション	田中 淳 (大川美術館館長)	20世紀アート120	52
2	9月2日(土)	父、土橋醇	土橋 享 (映画監督)	土橋醇展	77
3	10月21日(土)	土橋醇展対談 土橋最後のアトリエ 「愚魚庵」と壁画	土橋千鶴子 菅野洋人(館長)	土橋醇展	79
4	11月11日(土)	和ガラスの見方ーびいどろと ギヤマンの材質、美意識の違い	岡 泰正 (神戸市立小磯記念美術館、 神戸ゆかりの美術館館長)	酒と醸す美術	32
5	11月19日(日)	日本酒、その粋な世界	小泉武夫 (東京農業大学名誉教授)	酒と醸す美術	93
6	2月18日(日)	ロイヤル コペンハーゲン ビング オー グレンダール	塩川博義 (日本大学教授・コレクター)	ロイヤル コペンハーゲン と北欧デザインの煌めき	92
合 計					425

2) 美術講座 会場：講義室、多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 113名

回	月 日	演 題	講 師	開催企画展	参加者数
1	5月27日(土)	20世紀アートの魅力	学芸員 塚本敬介	20世紀アート120	41
2	9月23日(土・祝)	土橋醇の芸術	館長 菅野洋人	土橋醇展	40
3	11月23日(木・祝)	酒器の愉しみ	学芸課長 永山多貴子	酒と醸す美術	13
4	12月23日(土)	酒器の素材と歴史	主査(学芸員)田中有沙子	酒と醸す美術	19
合 計					113

3) ギャラリートーク 会場：企画展示室 午後2時～ 参加者数 256名

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
1	5月13日(土)	主査(学芸員)新田量子	20世紀アート120	25
2	5月20日(土)	特別ギャラリートーク 大谷明子(大川美術館学芸員)	20世紀アート120	46
3	9月18日(月・祝)	館長 菅野洋人	土橋醇展	19
4	10月7日(土)	主任学芸員 富岡進一	土橋醇展	10
5	10月9日(月・祝)	主査(学芸員)川上恵理	土橋醇展	20
6	11月18日(土)	学芸課長 永山多貴子	酒と醸す美術	15
7	12月10日(日)	主査(学芸員)田中有沙子	酒と醸す美術	19

回	月 日	講 師	関連企画展	参加者数
8	3月2日(土)	学芸員 塚本敬介	ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき	35
9	3月9日(土)	主査(学芸員)新田量子	ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき	42
10	3月23日(土)	特別ギャラリートーク 久山雄甫 (神戸大学文学部准教授)	常設展4期「雰囲気」を展示する」	25
合 計				256

4) 文化講座

参加者数 218 名

回	月 日	講座名	出 演	参加者数
1	9月30日(土)	ライブ! 白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!	白崎映美&東北6県ろ〜るショー!! アポロチョコシアター	108
2	2月3日(土)	まつろわぬ民2024 更地のうた	白崎映美、佐藤正宏、堀井政宏、吉 田佳世、ファンテイル(ギター)	110
合 計				218

会場：1. 前庭／午後5時～ 2. 階段ホール／午後6時～

5) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 参加者数 201 名

回	月 日	上映作品	参加者数
1	5月6日(土)	ミステリアス・ピカソ 天才の秘密 (監督:アンリ=ジョルジュ・クルゾー、1956年/78分/フランス)	80
2	9月9日(土)	燃える勇者(監督:土橋亨、1981年/90分/日本)	21
3	9月16日(土)	極道の妻たちⅡ(監督:土橋亨、1987年/120分/日本)	25
4	3月16日(土)	陶王子 2万年の旅(監督:柴田昌平、2021年/110分/日本・中国)	20
5	3月17日(日)	リリーのすべて(監督:トム・フーパー、2015年/120分/イギリス)	20
6	3月20日(水・祝)	リトル・アラジン 空飛ぶ魔法のじゅうたん (監督:カーステン・キラールッヒ、2018年/81分/デンマーク)	35
合 計			201

6) ミュージアム・コンサート 会場：階段ホール 午後7時～ 参加者数 82 名

回	月 日	タイトル	出 演	参加者数
1	12月9日(土)	美酒と醸すジャズの夕べ	仁井田真樹(ピアノ)、上野まこと(テ ナーサックス)、吉田太陽(ベース)、 増子雄児(ドラムス)	82
合 計				82

7) ワークショップ

参加者数 140 名

「ショーン・マルシェ」

企画展「ひつじのショーン」関連事業として、来館者自由参加型のワークショップを行った。また、美術館友の会の協力を得て、キャノピー、石庭では野菜のディスプレイやスイカ割り、中央階段ホールではマスキングテープを用いたワークショップも行った。

日 時：8月1日(火)午前11時～午後3時

参加者数：80名

○「紙のヨコガオ・紙のスキマ2023」

テープ状に裁断した紙を円形の枠に嵌めこみ、ガラス壁に設置した。

講 師：当館学芸員

協 力：石田智子(美術家)

場 所：中央階段ホール

○「窓辺を彩るペーパーアート」

紋切りしたカラーペーパーをガラス壁に設置した円形の枠に配した。

講 師：当館学芸員

場 所：中央階段ホール



「初心者のための木口木版画」(4日間連続講座)

「木口木版」という技法について学び、常設展示室で作品を鑑賞したのち、木口木版画を制作した。

講 師：野口和洋(版画家)

日 時：10月1日(日)、7日(土)、8日(日)、15日(日)

各日 午前10時～午後4時

場 所：創作スタジオ

参加者数：10名



「オリジナルのボトルラベル&カードづくり」

企画展「酒と醸す美術」関連事業として、来館者自由参加型のワークショップを開催した。海老根和紙に墨で文字を書き、四合瓶やワインボトル用のラベルやシーズンカードを制作した。

講 師：増子哲平(書家)

日 時：12月3日(日)

午前10時30分～12時、午後1時30分～3時

場 所：中央階段ホール

参加者数：22名



「はじめての陶芸～酒器などのうつわり」

板づくりと紐づくりを主な技法として、盃や徳利を成形した。

講 師：志賀喜宏(陶芸家、あさか野焼窯元)

日 時：12月17日(日)

午後1時30分～4時

場 所：創作スタジオ

参加者数：15名



「テンペラ技法を楽しむ」(2日間連続講座)

卵を使ったメディウムづくりから体験し、テンペラと油彩を併用して作品を制作した。

講 師：齋藤ナオ(画家)

日 時：2月10日(土)、11日(日)

各日 午前10時～午後4時

場 所：創作スタジオ

参加者数：13名



8) 第21回風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子供たちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

会期：7月22日(土)～8月18日(金)

会場：美術館ロビー

観覧者数：17,856人

第1期(7月22日～7月28日)

芳山、橘、小原田、開成、芳賀、桃見台、赤木、薫、富田、富田東、富田西、大槻、白岩

第2期(7月29日～8月4日)

東芳、桜、桑野、大島、緑ヶ丘第一、小山田、大成、朝日が丘、宮城、海老根、御館、西田学園、湖南

第3期(8月5日～8月11日)

日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、安積第一、安積第二、安積第三、永盛、柴宮、郡山ザベリオ学園

第4期(8月12日～8月18日)

穂積、三和、多田野、河内、片平、喜久田、熱海、安子島、守山、御代田、高瀬、谷田川、金透

9) 第15回風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動において制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

会期：11月17日(金)～12月27日(水)

会場：美術館ロビー

参加校：日和田中学校、喜久田中学校、郡山第三中学校、郡山第四中学校、郡山第七中学校、緑ヶ丘中学校、

富田中学校、小原田中学校、西田学園(計9校)

作品点数：84点

観覧者数：4,976人

10) 美術館における鑑賞学習対応 (「郷土を学ぶ体験学習」および鑑賞授業などの対応)

区分	幼稚園	小学校	中学校	高校	専門学校	合計
団体数(校)	1	26	4	3	4	38
参加者数(人)	53	1,595	98	149	153	2,048

11) 博物館実習

期間：7月28日(金)～8月3日(休)

受入校及び実習生数3校6名

東北芸術工科大学 2名 学習院大学 1名 郡山女子大学短期大学部 3名

実習内容：作品の取扱(平面・立体)、各概論(収集・保存・展示・普及) 野外彫刻の洗浄、ギャラリートーク実習、

企画展立案実習 など

12) ジュニア・インターンシップ

期間：11月14日(火)～11月16日(休)

福島県立清陵情報高等学校 4名

内容：美術館の仕事・職業体験、「風土記の空」展示作業、資料整理など

13) 学校連携・対外協力・部局連携

回	月 日	内 容	参加者数
1	4月15日(土)	郡山市国際政策課、郡山女子大学連携事業「駅長おススメの小さな旅」	18
2	6月9日(金)	令和5年度福島県高等学校教育研究会美術工芸部会研究大会「実技講習会」	40
3	7月25日(火)	令和5年度郡山市小学校教育研究会夏の研究協議会(図画工作部)	60
4	7月25日(火)	令和5年度安達地区小学校教育研究会図画工作部研修会	42
5	7月28日(金)	令和5年度田村地区小学校教育研究会図画工作部研修会	42
6	8月3日(木)	福島県教育委員会 中堅教諭等資質向上研修	1
7	9月3日(日)	郡山市立湖南公民館主催「郷土出身の画家 土橋醇を訪ねる」	56
8	9月30日(土)	福島県教育センター主催「美術館でアートを楽しむ鑑賞講座」	5
9	9月30日(土)	大安場史跡公園主催「古墳まつり秋」ワークショップ「紋切りづくり」	18
10	12月16日(土)	「酒と醸す美術ツアー」(協力:郡山市観光課)	8
11	2月19日(月)	zoomを使ったリモート鑑賞授業(郡山市立河内小学校5、6年)	15
合 計			305

14) その他

回	月 日	内 容
1	9月13日(水)	こおりやま広域圏PR事業(庭園でのPR動画撮影)
2	10月30日(月)	観光再始動事業(庭園でのフードキャンプ実施)



ライブ!白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!



ライブ!白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!



まつろわぬ民2024 更地のうた



美酒と醸すジャズの夕べ

15) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4判カラー 8ページ

第62号(令和5年7月25日発行)

梶田半古《蝶》	表紙
永山多貴子「テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展」	p.2
菅野洋人「土橋醇展 パリ、湖南—幻想を追って」	p.3
野口和洋(版画家)「近代版画事始め ～明治に想いを馳せる時～」	p.4,5
鈴木えみこ「常設展示室より」	p.6
Report(ワークショップ等)	p.7
Information, TOPICS	p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4判カラー 8ページ

第63号(令和5年12月15日発行)

アルバート・ジョゼフ・ムーア《黄色いマーガレット》	表紙
塚本敬介「ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき」	p.2,3
土橋素子(現代美術家)「祖父、土橋醇との対話」	p.4,5
「新収蔵品紹介、常設展示のご案内」	p.6
Report(ワークショップ等)	p.7
Information, TOPICS	p.8

郡山市立美術館年報令和4年度 A4判(令和5年6月30日発行)

郡山市立美術館研究紀要第11号 A4判(令和6年3月28日発行)

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー

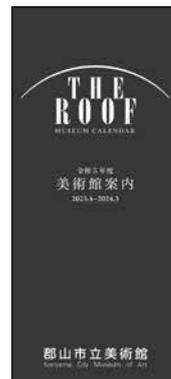
A4変形(210×375mm)、片面4色、片面2色



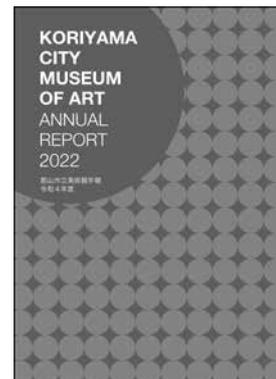
ザ・ルーフ 第62号



ザ・ルーフ 第63号



カレンダー2023



年報 令和4年度

常設展示目録

- 「常設展示 第1期 令和5年4月26日～7月9日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示 第2期 令和5年7月12日～10月1日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示 第3期 令和5年10月4日～12月27日」A3判二つ折り、両面1色
- 「常設展示 第4期 令和6年1月30日～4月21日」A3判二つ折り、両面1色

ポスター、チラシ、パンフレット

大川美術館コレクションによる 20世紀アート120

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

土橋醇展 パリ、湖南—幻想を追って

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ

ポスターB2判4色、チラシA4判

日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

ポスターB2判4色、チラシA4判4色

16) 館外での活動及び関連記事・報道

他機関からの委嘱

- ・菅野洋人：喜多方市美術館収集評価委員会委員(令和4年～)
一般社団法人全国美術館会議理事(令和3年～)
- ・杉原 聡：福島大学芸術による地域創造研究所客員研究員(平成21年度～)
- ・中山恵理：福島県立美術館収集評価委員会委員(令和元年12月～)
- ・富岡進一：郡山市上下水道局水道週間ポスター展審査委員

出前講座講師

- ・菅野洋人「美術に関する教養講座」郡山ビューホテル、令和5年10月29日(日)
- ・菅野洋人「郡山ゆかりの美術講座」あさかの学園大学、令和5年9月29日(日)
- ・永山多貴子「美術に関する教養講座」あさかの学園大学、令和5年5月10日(金)
- ・永山多貴子「郡山ゆかりの美術講座」久留米地域公民館、令和5年12月7日(木)
- ・中山恵理「美術に関する教養講座」永盛地域公民館、令和5年8月23日(水)

その他講師

- ・永山多貴子「郡山市小学校教育研究会 図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)令和5年7月25日(火)
- ・永山多貴子「安達地区小学校教育研究会 図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)令和5年7月25日(火)
- ・永山多貴子「田村地区小学校教育研究会 図画工作科研究部会研修会」(多目的スタジオ)令和5年7月28日(金)
- ・永山多貴子「博物館教育論講義～美術館における教育普及活動の実践と重要性～」(秋田公立美術大学)令和5年12月4日(月)
- ・富岡進一「講演会 イギリス風景画のきらめき」『イギリス風景画と国木田独歩』展関連イベント(高砂コミュニティセンター3階ホール1・2)令和5年7月23日(日)
- ・富岡進一「東北芸術工科大学大学院『絵画原論』(後期授業)」令和5年10月13日(金)、20日(金)

寄稿・執筆

- ・富岡進一「水彩の達人 専門家が選ぶ オールドマスターの名品」『美術の窓』令和5年6月号、生活の友社、令和5年5月19日、10-31、68-83頁。
- ・富岡進一「虹を追いかけて——18, 19世紀イギリス風景画における気象美学」『イギリス風景画と国木田独歩』展図録、茅ヶ崎市美術館、令和5年6月18日、4-9頁。
- ・富岡進一「J・M・W・ターナーのプネウマの形態、あるいは風」『風のイメージ世界』蜷川順子監修、「風のイメージ世界」刊行実行委員会編、三元社、令和5年9月30日、77-100頁。
- ・Shinichi Tomioka, "J.M.W. Turner's Pneumatic Form or Wind," In *The Imagery of Wind*, edited by Junko Ninagawa, The Editorial Board for the Extended Proceedings of the International Symposium "The Imagery of Wind," Tokyo: Sangensha, 2023. Accessed June 18, 2024. http://www.sangensha.co.jp/allbooks/index/578_imageryofwind.html.
- ・富岡進一「形の限界を超えた現象(すがた)の美術史：西洋の画家たちが探求した『形の定まらないもの』」『美術の窓』令和6年2月号、生活の友社、令和6年1月19日、8-25頁。
- ・川上恵理「史料翻訳 神聖ローマ皇帝ドルフ2世による図像に対する印刷特認権」、『美術史論集』24号、令和6年2月、117-133頁。

その他

- ・永山多貴子「事例発表：博物館・美術館におけるアクセシビリティ向上にむけての研修会」福島県博物館協議会(多目的スタジオ)令和6年2月1日(木)
- ・中山恵理「報告(オンライン)：三木宗作策アトリエ調査」屋外彫刻調査保存研究会(東京造形大学)令和5年7月29日(土)
- ・川上恵理「ヘンドリック・ホルツィウスの銀製原版《ケレスとバックカス、ウエヌス》のプラハ宮廷における受容と意義」エンブレム研究会第30回研究会(成城大学)令和5年6月4日(土)
- ・川上恵理「ヘンドリック・ホルツィウスの銀製原版《ケレスとバックカス、ウエヌス》研究 — 印刷特認権と王侯との関係から」第6回オランダ美術研究会(オンライン開催)令和6年3月9日(土)
- ・鈴木えみこ「深江芦舟の画風変遷と活動拠点に関する一試論」第76回美術史学会全国大会(九州大学)令和5年5月28日(日)

IV 作品収集・保存管理事業

1) 新収蔵作品・美術資料一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

令和5年度の収集状況は、購入3件、寄贈101件で、内訳は下表のとおりである。

	油彩画	水彩画、素描	日本画	版画	彫刻	工芸	写真	計	美術資料
平成13年度まで	233	353	30	1,219	25	168	0	2,028	103
平成14年度	16	27	0	29	6	16	0	94	0
平成15年度	2	0	2	0	0	0	0	4	0
平成16年度	9	1	1	0	0	0	0	11	0
平成19年度	0	0	17	0	8	5	0	30	0
平成20年度	13	16	0	1	1	0	0	31	0
平成24年度	4	0	0	2	0	0	0	6	2
平成25年度	2	0	0	0	0	1	0	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	0	27	7
平成29年度	5	0	0	7	4	0	0	16	0
平成30年度	2	6	0	4	2	9	0	23	4
令和元年度	1	0	5	4	3	20	0	33	0
令和2年度	12	2	3	1	0	5	0	23	0
令和3年度	9	3	0	48	0	3	0	63	0
令和4年度	7	24	1	35	2	0	3	72	1
令和5年度	8	2	3	84	0	4	0	101	3
合計	324	434	62	1,437	52	253	3	2,565	120

■令和5年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
1	麻生三郎	裸	1948(昭和23)年	油彩・キャンバス	91.0×72.7	購入
2	土橋 醇	無題	1963(昭和38)年頃	石版・紙	43.0×55.5	購入
3	サー・アルフレッド・イースト	クールマイヨール風景	1895-1905年頃	水彩・紙	24.7×36.5	購入
4	土橋 醇	菜の花と海	1951(昭和26)年	油彩・キャンバス	91.0×117.0	渡辺一雄氏寄贈
5	土橋 醇	無題	1954(昭和29)年	油彩・キャンバス	72.3×115.0	土橋 享氏寄贈
6	土橋 醇	無題		油彩・キャンバス	115.2×80.4	土橋 享氏寄贈
7	土橋 醇	無題	1956(昭和31)年	油彩・キャンバス	120.1×50.0	土橋 享氏寄贈
8	土橋 醇	白影	1973(昭和48)年	油彩・キャンバス	175.0×121.0	小澁久美子氏寄贈
9	土橋 醇	幻想の山湖	1975(昭和50)年	油彩・キャンバス	170.0×170.0	小澁久美子氏寄贈
10	土橋 醇	白い太陽	1974(昭和49)年	油彩、鉄板・板	80.5×100.0	辻 みさを氏寄贈
11	荒木寛畝	春・夏・秋・冬	1904(明治37)年	軸(四幅)	各124.0×30.6	中尾一明氏寄贈
12	佐藤潤四郎	玻璃花器	1980年代	ガラス/宙吹	25.4×23.2	佐藤昌保氏寄贈
13	佐藤潤四郎	花器	1986(昭和61)年頃	ガラス/宙吹	22.6×14.4	佐藤昌保氏寄贈
14	佐藤潤四郎	タンブラー(6点)	1980年代	ガラス/宙吹、プランツ	各68-71×67.3-74	佐藤昌保氏寄贈
15	佐藤潤四郎	陶板	1970年代後半	陶器、鉄	24.3×23.7	佐藤昌保氏寄贈

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
16	作者不詳	水辺の女	1879(明治12)年頃	絹本着色、軸	100.8×37.6	丹尾安典 コレクション寄贈
17	稲垣伸静	鳴く猫	1921(大正10)年頃	絹本着色	23.9×26.9	丹尾安典 コレクション寄贈
18	堀口大学訳 長谷川潔口絵	『訳詩集月下の一群』	1926(大正15)年	口絵：木口木版・ 紙／本	口絵：112×63 本：227×162×24.2	丹尾安典 コレクション寄贈
19	新版画集団	『新版画』第6号、 国立公園特輯号	1932(昭和7)年	木版・紙／本	29.4×22.2	丹尾安典 コレクション寄贈
20	藤牧義夫	やま・やま (『新版画』第6号)	1932(昭和7)年	木版・紙	7.5×17.8	丹尾安典 コレクション寄贈
21	中村善策	湖畔(『丹青』第2巻 第2号口絵)	1939(昭和14)年	木版・紙	14.3×18.1	丹尾安典 コレクション寄贈
22	佐藤 敬	無題		銅版・紙	12.8×17.9	丹尾安典 コレクション寄贈
23	土橋 醇	無題	1957(昭和32)年	グワッシュ、パステル・紙	35.0×37.9	丹尾安典 コレクション寄贈
24	土橋 醇	グリーティング・カード	1960(昭和35)年頃	石版・二つ折りのカード	12.7×17.6	丹尾安典 コレクション寄贈
25	楠山秀太郎石印	第一世拿破崙肖像	1883(明治16)年	石版・紙	36.0×25.9	丹尾安典 コレクション寄贈
26	渡辺幽香	『大日本帝国古今風俗 寸陰漫稿』第7図	1886(明治19)年	石版・紙	19.6×27.2	丹尾安典 コレクション寄贈
27	富田貞作画工兼出版	菅公筑紫二兒童ヲ教育スル図	1887(明治20)年	石版、手彩色・紙	27.0×37.9	丹尾安典 コレクション寄贈
28	藪崎芳次郎画工兼発行 小島幸作印刷	小児喜遊之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	35.2×26.6	丹尾安典 コレクション寄贈
29	井上茂兵衛印刷 兼発行	小児喜遊之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	35.3×26.5	丹尾安典 コレクション寄贈
30	山本画 藪崎芳次郎 画作印刷兼発行	小児事戯之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	26.6×36.4	丹尾安典 コレクション寄贈
31	作者不詳	(子供2人)		石版、手彩色・紙	26.3×36.4	丹尾安典 コレクション寄贈
32	香山秀吉作画兼発行 盛廣堂製造 矢島智三郎印刷	童児愛犬之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	27.5×37.4	丹尾安典 コレクション寄贈
33	内藤 田中良三 画作兼発行印刷	西郷南洲翁遊獵之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	39.0×28.6	丹尾安典 コレクション寄贈
34	熊澤喜太郎 画作印刷兼発行	米仏貴顕肖像	1888(明治21)年	石版・紙	29.0×36.5	丹尾安典 コレクション寄贈
35	藪崎芳次郎 画作印刷兼発行	児童猫遊之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	27.2×36.1	丹尾安典 コレクション寄贈
36	藪崎芳次郎 画作印刷兼発行	児童猫遊之図	1888(明治21)年	石版、手彩色・紙	26.8×36.1	丹尾安典 コレクション寄贈
37	小林鉄次郎 仁井田義房印刷兼発行	世界第一之美人	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	35.9×26.8	丹尾安典 コレクション寄贈
38	勝山繁太郎・矢嶋徳三郎 画作兼発行 島田清印刷	姉弟之愛情	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	35.7×26.6	丹尾安典 コレクション寄贈
39	勝山繁太郎・矢嶋徳三郎 画作兼発行 島田清印刷	姉弟之愛情	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	35.7×26.6	丹尾安典 コレクション寄贈
40	KK 荒川藤兵衛画工兼 発行 田中吉五郎印刷	児童喜怒哀哀之(四十一)	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	27.3×36.3	丹尾安典 コレクション寄贈
41	山本画 勝山繁太郎・ 矢嶋徳三郎画作兼発行	童子之遊戯	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	27.2×37.7	丹尾安典 コレクション寄贈
42	熊澤喜太郎 画作印刷兼発行	憲法発布都下賜	1889(明治22)年	石版・紙	27.3×36.7	丹尾安典 コレクション寄贈
43	清水市郎 画作兼印刷発行	美人吹笛之図	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	32.6×26.0	丹尾安典 コレクション寄贈
44	作者不詳	(子供3人)		石版・紙	27.0×36.5	丹尾安典 コレクション寄贈
45	桑田正三郎画作兼発行 清新社印刷出版 喜多山龍夫印刷	童子喜怒哀楽之図	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	27.4×37.5	丹尾安典 コレクション寄贈
46	荒川藤兵衛画工兼発行 田中吉五郎印刷	児童之喜怒哀哀(六十二)	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	26.8×38.8	丹尾安典 コレクション寄贈
47	清水市郎画作兼印刷発行	貴顕令嬢	1889(明治22)年	石版、手彩色・紙	33.8×26.5	丹尾安典 コレクション寄贈

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
48	熊澤喜太郎 画作印刷兼発行	最愛之児	1890(明治23)年	石版、手彩色・紙	36.6×27.2	丹尾安典 コレクション寄贈
49	山本画 有山定次郎 画作印刷発行	猫遊	1890(明治23)年	石版、手彩色・紙	27.7×38.0	丹尾安典 コレクション寄贈
50	村井巖之助	田植	1890(明治23)年	石版・紙	14.7×21.0	丹尾安典 コレクション寄贈
51	村井巖之助	煙草葉製造	1890(明治23)年	石版・紙	15.0×21.1	丹尾安典 コレクション寄贈
52	村井巖之助	小女糸繰	1890(明治23)年	石版・紙	14.8×21.1	丹尾安典 コレクション寄贈
53	吉原秀雄画工印刷兼発行 島美製造	美人愛児於慰	1890(明治23)年	石版、手彩色・紙	37.1×26.8	丹尾安典 コレクション寄贈
54	山本画 有山定次郎 画作印刷発行	愛嬌競	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	27.9×38.2	丹尾安典 コレクション寄贈
55	山本画 有山定次郎 画作印刷発行	愛嬌競	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	26.6×35.8	丹尾安典 コレクション寄贈
56	山本画 有山定次郎 画作発行	可愛児	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	37.8×27.4	丹尾安典 コレクション寄贈
57	渡邊忠久 画作兼印刷発行	童子力競の図	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	27.4×35.7	丹尾安典 コレクション寄贈
58	藪崎芳次郎画工兼発行	音楽	1891(明治24)年	石版・紙	20.7×14.9	丹尾安典 コレクション寄贈
59	潮瀬茂一印刷兼発行	東京吾妻橋真景	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	25.5×35.5	丹尾安典 コレクション寄贈
60	矢島智三郎発行兼印刷	童子遊戯	1891(明治24)年	石版、手彩色・紙	27.6×37.5	丹尾安典 コレクション寄贈
61	勝山繁太郎画作兼発行	七月 和らべ遊び	1891(明治24)年	石版・紙	15.2×21.3	丹尾安典 コレクション寄贈
62	太田節次画作印刷兼発行	角力遊	1892(明治25)年	石版、手彩色・紙	26.9×38.3	丹尾安典 コレクション寄贈
63	山本画 間野駒吉印刷 有山定次郎画作印刷発行	横綱	1892(明治25)年	石版、手彩色・紙	28.0×36.9	丹尾安典 コレクション寄贈
64	熊澤喜太郎画作印刷 兼発行	小児遊之図	1893(明治26)年	石版・紙	27.3×37.2	丹尾安典 コレクション寄贈
65	葛西虎次郎画作兼印刷発行 青雲堂発行 青雲堂石版部製版	日露両軍総司令官肖像		石版・紙	35.5×47.0	丹尾安典 コレクション寄贈
66	町田信次郎・太田節次 発行兼印刷	世界十帝王御尊影	1898(明治31)年	石版・紙	36.3×54.2	丹尾安典 コレクション寄贈
67	町田信次郎・渡邊忠久 画作兼印刷発行	両陛下両殿下御尊影	1900(明治33)年	石版・紙	39.4×54.6	丹尾安典 コレクション寄贈
68	町田信次郎 四方堂上條興茂太郎 発行画作兼印刷発行	故西郷隆盛翁遊獵之図	1900(明治33)年	石版・紙	42.5×33.2	丹尾安典 コレクション寄贈
69	町田信次郎 田中良三 画作兼発行印刷	演壇ニ於ケルグラットストーン	1903(明治36)年	石版・紙	38.2×29.1	丹尾安典 コレクション寄贈
70	田中良三画作兼発行印刷	全盛時代之第一世ナポレオン	1903(明治36)年	石版・紙	38.2×29.3	丹尾安典 コレクション寄贈
71	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	明治の金太郎	1906(明治39)年	石版・紙	47.0×35.0	丹尾安典 コレクション寄贈
72	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	子供之宴会	1906(明治39)年	石版・紙	34.9×47.1	丹尾安典 コレクション寄贈
73	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	滑稽子供の集会	1908(明治41)年	石版・紙	34.8×47.2	丹尾安典 コレクション寄贈
74	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	愛育	1908(明治41)年	石版・紙	47.0×34.6	丹尾安典 コレクション寄贈
75	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	天趣活潑	1908(明治41)年	石版・紙	46.9×34.8	丹尾安典 コレクション寄贈
76	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷者	当世風俗花と美人 情緒纏綿	1909(明治42)年	石版・紙	47.1×34.8	丹尾安典 コレクション寄贈
77	町田信次郎 田中良三 尚美堂画作兼発行印刷	当世風俗花と美人 情緒纏綿	1909(明治42)年	石版・紙	47.1×34.8	丹尾安典 コレクション寄贈
78	田中良三尚美堂画作 兼発行印刷	海岸の遊歩	1909(明治42)年	石版・紙	46.8×34.9	丹尾安典 コレクション寄贈
79	田中良三尚美堂 画作兼発行印刷	水遊び	1909(明治42)年	石版・紙	47.5×34.8	丹尾安典 コレクション寄贈

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	取得形態
80	黒木半之助画作印刷発行 博画館発行	ハイカラ ノ ボーヤ	1909(明治42)年	石版、手彩色・紙	33.3×46.2	丹尾安典 コレクション寄贈
81	田中良三発行兼印刷 尚美堂製版印刷	西郷南洲翁之遊獵	1917(大正6)年	石版・紙	31.3×41.0	丹尾安典 コレクション寄贈
82	四代歌川国政	皇統御歴代 第百廿二世 今上皇帝	1878(明治11)年	木版・紙	24.7×18.6	丹尾安典 コレクション寄贈
83	小林清親	上野公園内之景	1879(明治12)年	木版・紙	20.3×31.8	丹尾安典 コレクション寄贈
84	井上安治	東京真画名所図解 小梅枕橋	1884(明治17)～ 1889(明治22)年	木版・紙	9.5×15.5	丹尾安典 コレクション寄贈
85	小林清親	武蔵百景之内 深川ふゆき弁天	1884(明治17)年	木版・紙	32.2×11.3	丹尾安典 コレクション寄贈
86	月岡芳年	近世人物誌 西郷隆盛 (['やまと新聞』第414号附録)	1888(明治21)年	木版・紙	32.6×21.9	丹尾安典 コレクション寄贈
87	作者不詳	(明治天皇肖像)	1889(明治22)年	木版・紙	32.1×23.2	丹尾安典 コレクション寄贈
88	小林清親 松木平吉印刷兼発行	日本万歳 百撰百笑 ちゃんちゃんの胆潰し	1894(明治27)年	木版・紙	35.8×23.7	丹尾安典 コレクション寄贈
89	小林清親 松木平吉印刷兼発行	日本万歳 百撰百笑 日兵の一擧	1894(明治27)年	木版・紙	36.3×23.7	丹尾安典 コレクション寄贈
90	藤山種芳画作印刷兼発行	上野山王台故西郷隆盛翁銅像	1899(明治32)年	木版・紙	37.1×25.7	丹尾安典 コレクション寄贈
91	小林清親 松木平吉 画作印刷兼発行	日本万歳 百撰百笑 玉乗の死苦尻	1904(明治37)年	木版・紙	34.0×21.8	丹尾安典 コレクション寄贈
92	水野孤芳画 保民・ 雪光・汀角・兼松刻	(『絵入朝野新聞』第1835号附録)	1889(明治22)年	木口木版・紙	36.2×50.5	丹尾安典 コレクション寄贈
93	波々伯部繁	衆議院議員肖像(第壹号) (['改進黨新聞』第2230号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	54.2×36.1	丹尾安典 コレクション寄贈
94	波々伯部繁	衆議院議員肖像(第貳号) (['改進黨新聞』第2245号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	54.9×36.9	丹尾安典 コレクション寄贈
95	波々伯部繁	衆議院議員肖像(第参号) (['改進黨新聞』第2257号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	55.3×37.0	丹尾安典 コレクション寄贈
96	波々伯部繁	衆議院議員肖像(第四号) (['改進黨新聞』第2272号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	55.3×37.1	丹尾安典 コレクション寄贈
97	波々伯部繁	貴族院議員肖像(第壹号) (['改進黨新聞』第2296号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	56.8×38.5	丹尾安典 コレクション寄贈
98	波々伯部繁	貴族院議員肖像(第貳号) (['改進黨新聞』第2328号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	56.8×38.5	丹尾安典 コレクション寄贈
99	波々伯部繁	衆議院議員肖像(第五号) (['改進黨新聞』第2354号附録)	1890(明治23)年	石版・紙	55.7×36.8	丹尾安典 コレクション寄贈
100	香山秀吉	静岡民友新聞第一号附録	1891(明治24)年	石版・紙	42.7×31.4	丹尾安典 コレクション寄贈
101	畑正吉(原型)	(明治天皇)(『時事新報』 第10409号附録)	1912(大正元)年	空押、石版・紙	32.6×22.5	丹尾安典 コレクション寄贈
102	三木宗策	羊	1931(昭和6)年	ブロンズ	H18.0 W24.1 L12.1	渡辺 真氏寄贈
103	三木宗策	兎	1937(昭和12)年	木彫	H29.1 W12.2 L23.8	渡辺 真氏寄贈
104	三木宗策	萬歳楽	1943(昭和18)年	木彫、彩色	H26.0 W17.7 L15.5	渡辺 真氏寄贈



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11-1



11-2



11-3



11-4



12



13



14



15



16



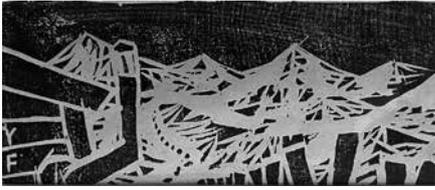
17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



36



37



38



39



40



41



42



43



44



45



46



47



48



49



50



51



52



53



54



55



56



57



58



59



60



61



62



63



64



65



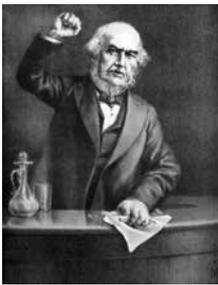
66



67



68



69



70



71



72



73



74



75



76



77



78



79



80



81



82



83



84

小童拉燕



85



86



87



88



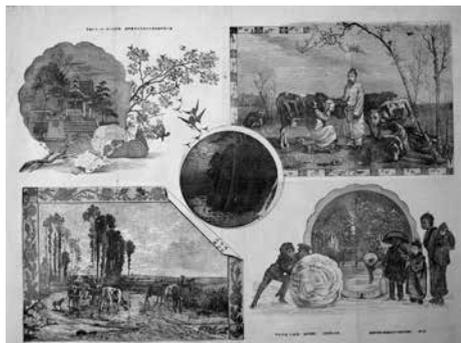
89



90



91



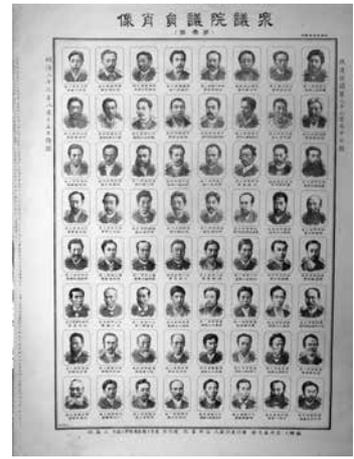
92



93



94



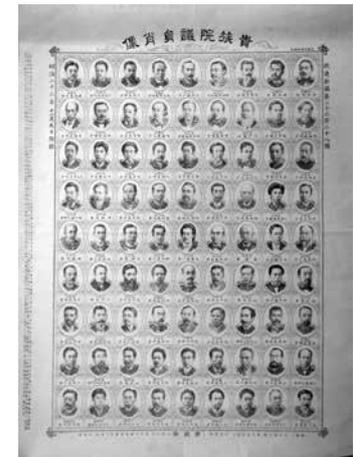
95



96



97



98



99



100



101



102



103



104

2) 収蔵作品貸出状況

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
野崎 華年	富士	「近代日本の視覚開化 明治 - 呼応し合う西洋と日本のイメージ」 愛知県美術館 令和5年4月14日(金)～5月31日(水)
野崎 華年	富士	
蔭山 文儼	尾張国名古屋城真景	
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	「イギリス風景画と国木田独歩」 茅ヶ崎市美術館 令和5年6月18日(日)～8月27日(日)
トマス・ゲインズボロ	牧夫と牛のいる森の風景	
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘	
ジョン・セル・コットマン	ルーアン、ラ・ピュセル広場のブルトルルド館	
ジョン・セル・コットマン	フェカンのロマネスク遺跡	
ジョン・ラスキン	オーヴェルニュの丘	
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋	
ピーター・デ・ウイント	ウィットビー	
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図	
トマス・ローランドソン	ヘント付近、ローエン駅に着く馬車	
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	
ジョン・マーティン	裁きを受けるアダムとイヴ	
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景	
サー・アルフレッド・イースト	荒れ模様	
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	雪の京都、祇園へゆく道	
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	
ポール・サンドビー	『ウェールズ12景』第1部	
ジョン・コンスタブル	荒野(ヒース)	
ジョン・コンスタブル	水浴びをする人たち、ハムステッド	
ジョン・コンスタブル	穀物畑の農家	
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	
デイヴィッド・コックス	『若い芸術家のための臨画手本』第1集、第6集	
ウィリアム・ギルピン	『風景六種』	
トマス・ガーティン	パリの全景	
トマス・ガーティン	テュイルリーの眺め	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	エディスタン灯台	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノアの大洪水	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カレー沖の釣船(ドーバー海峡)	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ボッカチオの庭(鳥かご)	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ネッカー川対岸から見たハイデルベルク	

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ソルウェイ・モス	「イギリス風景画と国木田独歩」 茅ヶ崎市美術館 令和5年6月18日(日)～8月27日(日)	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ワイ川		
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴		
エドワード・カルヴァート	小川		
エドワード・カルヴァート	貴夫人とミヤマガラス		
エドワード・カルヴァート	家路		
ジョン・リネル	修道院の廃墟		
ジョン・マーティン	墜落した天使たちを呼び覚ますサタン		
ジョン・マーティン	光の創造		
ジョン・マーティン	ノアの大洪水		
サミュエル・パーマー	ひばり		
サミュエル・パーマー	眠る羊飼いの早朝		
サミュエル・パーマー	昇る月(イングランドの田園詩)		
サミュエル・パーマー	生命の朝		
サミュエル・パーマー	孤高の塔		
サミュエル・パーマー	囲いを開く(早朝)		
ジョン・セル・コットマン	フェカン		
ジョン・セル・コットマン	エイカー城小修道院		
リチャード・パークス・ボニントン	ポローニュ		
リチャード・パークス・ボニントン	エヴルーの大時計塔		
ディエル兄弟 (刻)	W.ワーズワース『詩集』		
南 薫造	リー川		
南 薫造	日没		
南 薫造	橋のある河		
三宅 克己	セーヌ河畔サンジェルマンを望む		
大下 藤次郎	蓮池		
原 撫松	アルバートメモリアル		
丸山 晚霞	少女のいる風景、春		
原 撫松	霧の広場		
佐藤 潤四郎	花器(カットグラス)		「日本近現代ガラスの源流」 富山市ガラス美術館 令和5年7月8日(土)～10月9日(月・祝)
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器(グリーン)		
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか		
佐藤 潤四郎	花器・一寸考えて		
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器		
佐藤 潤四郎	オリンピックブルー硝子皿		
佐藤 潤四郎 カガミクリスタル製作	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 初号モデル		
佐藤 潤四郎	クリスタル六角鉢		

作家名	作品名	展覧会名、会場、会期
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 東京五輪1964モデル・青	「日本近現代ガラスの源流」 富山市ガラス美術館 令和5年7月8日(土)～10月9日(月・祝)
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 東京五輪1964モデル・黄	
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 東京五輪1964モデル・黒	
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 東京五輪1964モデル・緑	
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》 東京五輪1964モデル・赤	
安田 雷洲	山水	「激動の時代 幕末明治の絵師たち」 サントリー美術館 令和5年10月11日(水)～12月3日(日)
岡田 春燈斎	江戸両国橋大納涼	
松本 保居	市街戦争圖	
早瀬 龍江	營	「イン・ビトウィーン」 埼玉県立近代美術館 令和5年10月14日(土) ～令和6年1月28日(日)
早瀬 龍江	絶望の人間	
ウィリアム・ブレイク	『墓』(ロバート・ブレア作)	「芥川龍之介と美の世界 二人の先達 - 夏目漱石、菅虎雄」 久留米市美術館 令和5年10月28日(土) ～令和6年1月28日(日) 神奈川県立近代美術館葉山 令和6年2月10日(土)～4月7日(日)
オーブリー・ビアズリー	おまえの口に口づけしたよ、ヨカナーン (オスカー・ワイルド『サロメ』挿絵)	
オーブリー・ビアズリー	タンホイザー	
木村 荘八	道のある風景	
斎藤 豊作	風景	「印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵」 東京都美術館 令和6年1月27日(土)～4月7日(日) 郡山市立美術館 令和6年4月20日(土)～6月23日(日) 東京富士美術館 令和6年7月6日(土)～9月29日(日) あべのハルカス美術館 令和6年10月12日(土) ～令和7年1月5日(日)
太田 喜二郎	サン・ピエール寺院	

3) 収蔵作品等の掲載

- ・ ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー《コニストンの荒地》
荒川裕子著『もっと知りたいターナー』(株式会社 東京美術、令和5年7月)
- ・ 三木 宗策《威容抱慈(坂上田村麻呂像)》
日刊紙『朝日小学生新聞』「日本史を織りなす人物」(執筆・河合敦、令和5年4月25日)
- ・ 北沢楽天《やまとひめとブリタニヤ》
2023年度代々木ゼミナール公開模試「阪大入試プレ(世界史)」(令和5年7月)
- ・ ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー《サン・ゴタル峠の下り道》
日経トレンディ別冊「日経おとなのOFF 2023アートをめぐるおとな旅」(令和5年6月)
- ・ ウィリアム・ホガース《ビール街とジン小路 ジン小路》
『ジュニア版 まんがで読破 クリスマス・キャロル』(株式会社Gakken、令和5年12月)
- ・ トマス・ガーティン《エクセター大聖堂》
長谷部愛著『天気で読み解く名画』(株式会社中央公論新社、令和6年1月)
- ・ 小杉 未醒《虎尾山》(『日本風景版画 第七集 琉球之部』より)
YouTube チャンネル(takaren-so-tv)の動画「船越義珍顕彰碑」
- ・ ジョン・コンスタブル《デダムの谷》
太田治子著『幻想美術館』(株式会社かまくら春秋社、令和6年4月)

4) 収蔵作品修復状況

◆土橋醇《青い星》

技法・材質：油彩、鉄板・パネル

制作年：1965(昭和40)年

寸法：72.4×100.2cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 旧ワニスが黄化し、茶褐色の色調になっている。
- 絵具層は厚塗りで、青色を使用した部分に亀裂や浮き上がり、剥落などの損傷が多く生じている。
- 鉄板部分には擦傷が集中している。
- 8mm厚の平板に20mm厚の角材を取り付けたパネル状の支持体を使用している。
- 支持体裏面にも描画があり、全体に黴の付着が著しい。黴が一部、茶色のしみとなっている。
- 表面の鉄板を固定する釘が裏面に貫通している箇所があり、錆びている。
- 額縁の角部に地塗り層からの剥落が見られるほか、側面には擦傷や凹みなど細かな損傷がある。
- 左下角には固定釘が1本欠損しており、また釘頭のない釘が1箇所あり、作品との固定が不安定である。

[修復内容]

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 画面洗浄(精製水)。
- 旧ワニス除去(エタノール+ミネラルスピリット(3:1))。
- 画布裏面を清掃後、エタノール水で殺菌。
- 絵具の剥落部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰め、マチエールに合わせて整形。
- 画面にチアベンダゾールを主材とした防黴材入りのワニス塗布。
- 充填箇所や擦傷部に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ターレンス社製マットワニスを噴霧。
- 額縁の欠損部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めて整形し、充填部や擦れ、しみ部分をアクリル樹脂絵具にて補彩。
- 額縁の固定釘の欠損部に新調した釘を補い、吊り金具を新調。

◆土橋醇《誕生》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1970(昭和45)年

寸法：99.9×81.0cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 旧ワニスの一部黄化し、部分的に黄色い色調となっている。
- ほぼ全体に、白色や半透明の結晶状物質が付着しているように見える。
- 右部の青色に毛細状の亀裂が集中している。亀裂の形状に沿うように結晶状物質が確認できる。

- 中棧に位置する部分の絵具層がしみのように色調が濃くなっている。
- 右下に茶色の付着物が点在している。
- キャンバス釘に錆が見られる。特に下辺に発生が著しい。

[修復内容]

- エタノール水(70%)を画面に噴霧し殺菌。
- 支持体裏面を清掃後、エタノール水で殺菌。
- 錆びたキャンバス釘を外し、新たにステンレス釘で固定。釘穴が広がった部分の裏面に、不織布をBEVA371シートで貼り付け補強。
- 付着物を、水で湿らせた綿棒を当て加湿し、メスで除去。
- 絵具層の剥落部と除去しきれなかった付着物に修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 額縁を新調。
- 絵具層に見られる結晶状物質の解明のため、試料片を採取し顔料特定分析を行ったところ、チタン、亜鉛、鉛など白色顔料と同様の主成分であり、劣化生成物か意図的に塗布された白色絵具かが特定できていない。今後も経過観察が必要。

◆太田喜二郎《サン・ピエール寺院》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1910-11(明治43-44)年

寸法：74.2×50.0cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 旧ワニス層がやや黄化している。
- 旧処置で支持体裏面からワックスが含浸されているが、細かな浮き上がりが生じている。
- 画面下部に、広範囲に旧充填補彩が施され、オーバーリタッチが広範囲に見られる。
- 裏面から含浸したワックスが溜まりとなって固化し、画布が固くなっている。
- 支持体が波状に変形し、木枠当たりによる変形も見られる。
- 木枠の材が反っており、木枠によじれが生じている。
- 額縁の装飾が剥落した部分に、直接旧補彩が施されており、色調が合っていない。

[修復内容]

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 木枠を外し、画布をストレッチャー式仮枠に張り込み、裏面に吸い取り紙をあてがい、アイロンで加温加圧し、余分なワックスを吸い取り紙に吸着させながら除去。
- 画布裏面のゴミや埃を除去後、エタノール水で殺菌。
- 画布裏面を加湿し、ストレッチャー式木枠を徐々に広げながら支持体の変形を修正。変形の強い部分は、さらに加温加圧しながら平らな状態に修正。
- 画面を精製水で洗浄後、旧ワニスと染み出たワックスをキレシンで除去。
- 画布の張りしる裏面に新たに麻布をBEVA371シートで接着。
- 木枠の四隅に三角形に加工した10mm厚のベニヤ板を取り付け、木枠のよじれを修正。
- 絵具層の剥落部に充填剤(ワックス)を詰め、マチエールに合わせて整形。
- 画面にチアベンダゾールを主材とした防黴材入りのワニスを塗布。
- 充填整形部を修復用アクリル樹脂絵具で補彩。旧補彩のオーバーリタッチにより隠れていた描写を復元。
- 画面保護と光沢調整のため、ダンマル樹脂ワニスを噴霧。
- 額縁の剥落部に充填剤を詰め(ボローニャ石膏+膠水)整形。充填部や擦れ、旧補彩の変色部にアクリル絵具で補彩。
- 吊り金具、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆辻永《ブルーデュにて》

技法・材質：油彩・キャンバス

制作年：1920(大正9)年

寸法：73.0×100.3cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 旧ワニス層にやや黄化が見られ、埃などの汚れが付着している。
- 全体的に絵具の固着状態が良くなく、亀裂、剥落が多数あり、浮き上がりが生じている。
- ところどころ細い白色の毛が付着し、右上付近に虫糞(しみ)が見られる。
- 支持体には僅かにたわみや変形が生じ、裏面は貼り付けられた茶紙が汚れ、埃などで著しく汚れている。
- 木枠は縦方向に中棧が入った留め接ぎ構造。
- 額縁にはレリーフの欠損などの損傷が見られる。

○作品はT字金具で額縁に固定されている。

[修復内容]

- 浮き上がり接着(膠水、加温加圧)。
- 画面洗浄(精製水、希アンモニア水溶液)。
- 裏面の茶紙の除去と洗浄、木枠の清浄・殺菌(刷毛、ケミカルスポンジ、エタノール水)。
- BEVA371シートを接着して支持体の張りしろ補強。ステンレスステーブルで作品を張り込み。
- 絵具の欠損部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰め、マチエールに合わせて整形。
- 画面にチアベンダゾールを主材とした防黴材入りのワニスを塗布。
- 充填箇所や擦傷部などに修復用アクリル樹脂絵具で補彩。
- 画面保護と光沢調整のため、ターレンス社製マットワニスを噴霧。
- 額縁の欠損部に充填剤(硫酸カルシウム+膠水)を詰めて整形し、アクリル樹脂絵具にて補彩。
- 額縁裏にどろ足を付け足し、吊り金具を交換、裏蓋(レキサンポリカーボネート板)を新調。

◆サー・アルフレッド・イースト《村の茶店、箱根》

技法・材質：水彩・紙

制作年：1889年頃

寸法：26.1×37.3cm

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 細かな斜線状の凹凸がある洋紙を使用。経年による黄ばみ、全体にゆるやかな波打が生じている。
- 褐色のしみが右辺下や左辺付近に散見される。
- 裏面周縁部には旧処置による接着剤が帯状に付着しており、接着剤は褐色化している。接着剤によるしみが画面側にも見えている。
- 紫外線による褪色が見られる。
- 四隅や周縁部に小さな剥落箇所が散在する。
- 厚い木質ボードの裏蓋が使用されており、裏蓋下辺中央にラベルが1枚貼られている。

[修復内容]

- 刷毛を用いて表面を乾式洗浄。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、新調したベースマットに固定。
- 額縁周縁部の充填(ボローニャ石膏+膠水)・補彩(水性アクリル絵具)。
- 低反射アクリル(OMA)、窓マット、ベースマット、緩衝材(CXDプレミアムコルゲート)、裏蓋(レキサンツインカーボ)、吊り金具、吊り紐、黄袋新調。
- 旧額縁の裏板に接着されていたラベル類を加湿により取り外し、和紙と生麩糊で裏打ち後、新調した裏蓋に移設。

◆ジョン・マーティン

技法・材質：水彩・紙

制作年：不詳

寸法：8.7×13.9cm(画面寸法)

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 本紙の上辺左端、上辺中央、左下角の3箇所がウィンドウマットに接着されている。
- ウィンドウマットは経年により脆弱化しており、左下角に破損がある。
- 本紙は全体に経年による黄ばみが見られ、下辺右端部分に本紙の破れがある。
- 裏面中央に斜線状のしみと、右辺付近に線状の接着剤の付着がある。

[修復内容]

- 本紙と接着された部分のマットを崩しながら除去。本紙に残った厚い褐色の接着剤をメスで除去。
- 本紙下辺右端の破損箇所と左下角付近の表層の剥がれを、メチルセルロースを用いて接着。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、新調したBook型マットに固定。
- 額縁周縁部の充填(ボローニャ石膏+膠水)・補彩(水性アクリル絵具)。
- 低反射アクリル(OMA)、Book型マット、緩衝材(CXDプレミアムコルゲート)、裏蓋(レキサンツインカーボ)、ステンレス製トンボ、吊り金具、吊り紐新調。

◆ジョン・コンスタブル《虹、ソールズベリー大聖堂》

技法・材質：メゾチント・紙

制作年：1834～7年

寸法：55.1×67.7cm(画面寸法)

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 本紙は旧修復処置により洋紙で裏打ちされている。
- 上辺端は15mm程度の幅で裏側に折り込まれおり、下辺には折れあとがある。
- 全体にゆるやかな波打状の支持体変形が生じている。
- 周辺のマージン部分と画面上辺部に、広範囲に及ぶ褐色のマット焼けが生じている。
- 全体に斑状のしみが散在する。
- 裏面上辺の両端に旧ヒンジ紙が残っている。
- 小さな破れと旧処置による破損部接着箇所が、左右辺に散見される。

[修復内容]

- 粉末消しゴム、刷毛、練りゴムを使用し、表面を乾式洗浄。
- 裏面上辺の両端に残っていた旧ヒンジをピンセットで除去。
- 斑点上のしみ部分に、水素化ホウ素ナトリウム水溶液を筆で注し入れて部分的に漂白。
- 低圧サクシオンテーブル上で精製水、希アンモニア水を噴霧し水洗処置を行い、乾燥させて変形修正。
- 破損箇所をカルボキシメチルセルロースを用いて接着し、裏面より和紙を貼って補強。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、新調したBook型マットに固定。
- 額縁(C-44088 Canaletto型)、低反射アクリル(OMA)、中性紙差し箱、黄袋新調。

◆ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー《エディスタン灯台》

技法・材質：メゾチント・紙

制作年：1824年

寸法：21.0×31.3cm(画面寸法)

修復者：有限会社修復研究所21

[処置前の状態]

- 厚み0.3mm程度の洋紙の中央に和紙(雁皮紙)を貼って印刷している。
- マージン部分に褐色の斑状のしみが多数生じている。
- 2020(令和2年度)に同研究所で修復され、しみ抜きや水洗処置を行なっているが、旧修復処置前の状態より著しい褐色斑点に覆われている。
- 印刷部分が画面側にやや膨らんでおり、マージン部分にはゆるやかな波打変形が生じている。

[修復内容]

- 練りゴムを使用し、表面に付着した埃汚れなどを除去。
- 低圧サクシオンテーブル上で精製水、希アンモニア水を噴霧し水洗処置。
- 斑点上のしみ部分に、希アンモニア水を滴下した過酸化水素水を筆で注し入れて部分的に漂白。
- 低圧サクシオンテーブル上で2度目の水洗処置。
- 水酸化マグネシウム水溶液をバットに入れ、水洗後の本紙を浸けて脱酸処置。
- 脱酸処置後の作品を乾燥させ、変形修正。
- 雁皮紙の剥離箇所を、接着剤の注入可能な周縁部のみ、カルボキシメチルセルロースを用いて接着。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて新調したBook型マットに固定。

5) その他の保存管理事業

燻蒸

作業日時：令和6年1月12日(金)～1月17日(水)

燻蒸箇所：収蔵庫(容量4,616㎡)、器材庫(容量404㎡)

使用薬剤：エキヒュームS

施工業者：東化研株式会社

効果判定：殺虫、殺卵、殺カビすべて100%(公益財団法人文化財虫菌害研究所による判定)

V 利用者数

美術館総利用者数 101,880人

1) 展覧会 75,250人

展覧会観覧者数

(人)

展覧会名	会 期	日 数	観覧者数
大川美術館コレクションによる 20世紀アート120	令和5年4月15日～6月11日	50	7,376
テレビシリーズ放送開始15周年記念 ひつじのショーン展	令和5年6月24日～8月20日	50	24,787
土橋醇展 パリ、湖南ー幻想を追って	令和5年9月2日～10月22日	44	3,402
酒と醸す美術 美酒と美器への憧れ	令和5年11月3日～12月24日	45	3,702
ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの 煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	令和6年1月30日～3月24日	48	8,106
企画展小計		237	47,373
常設展	令和5年4月1日～令和6年3月31日		3,345
企画展観覧券で常設展も観覧した人数			24,532
合 計			75,250

(内訳)

(人)

		企画展計	大川美術館 コレクションによる 20世紀アート120	ひつじの ショーン展	土橋醇展	酒と醸す 美術	ロイヤルコペン ハーゲンと北欧 デザインの煌めき	常設展	企画展観覧券 で常設展も観 覧した人数	
有 料	個 人	一 般	22,108	3,391	12,790	862	1,414	3,651	1,446	11,516
		高・大	2,474	224	1,804	109	79	258	265	1,289
		65歳以上	6,041	1,456	1,137	681	682	2,085		3,392
		計	30,623	5,071	15,731	1,652	2,175	5,994	1,711	16,197
	団 体	一 般	185	37	78	7	50	13	34	150
		高・大	243	2	238	0	2	1	0	205
		65歳以上	203	136	0	58	3	6		201
		計	631	175	316	65	55	20	34	556
	友 の 会	一 般	337	73	64	46	60	94	13	183
		高・大	38	6	9	7	4	12	0	21
		65歳以上	511	116	89	95	83	128		203
		計	886	195	162	148	147	234	13	407
小 計		32,140	5,441	16,209	1,865	2,377	6,248	1,758	17,160	
無 料	高 齢 者							790		
	シルバー=友の会							21		
	一 般							271		
	高・大							21		
	中学生以下(個人)	5,678	257	5,069	64	83	205	280	1,840	
	中学生以下(団体)	1,550	64	716	392	227	151	86	1,472	
	減 免	410	258	68	44	40	0	13	410	
	ピラ下券	2,478	484	871	311	291	521	0	1,028	
	招 待 券	1,628	313	329	357	311	318	0	900	
	ネ ー ム	1,026	151	313	198	180	184	31	539	
	障 がい 者	930	188	321	82	103	236	38	549	
	療育/精神	878	113	550	47	45	123	16	324	
	同 伴 者	655	107	341	42	45	120	20	310	
小 計	15,233	1,935	8,578	1,537	1,325	1,858	1,587	7,372		
合 計		47,373	7,376	24,787	3,402	3,702	8,106	3,345	24,532	

2) 教育普及事業 26,630 人

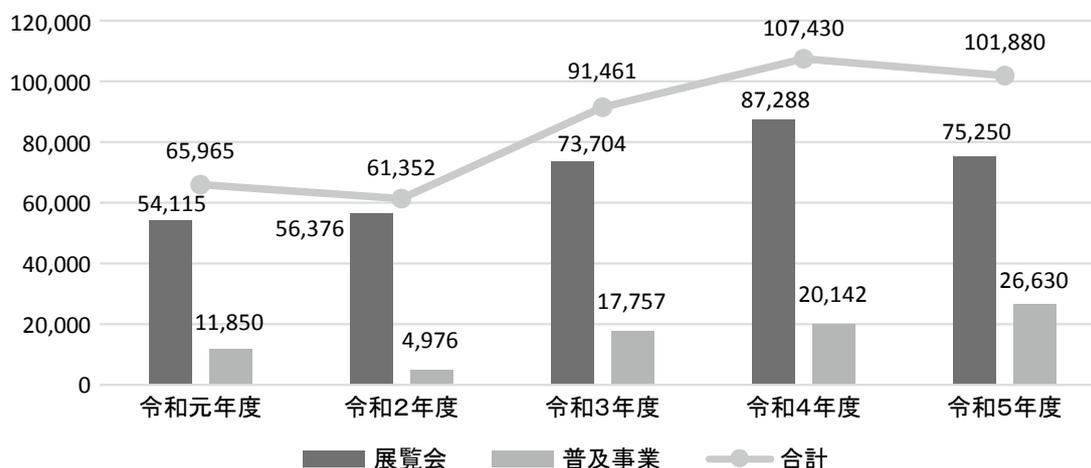
事業名	回数	参加者数	備考
講演会	6	425	
美術講座	4	113	
ギャラリートーク	10	256	
文化講座	2	218	
ミュージアム・シアター	6	201	
ミュージアム・コンサート	1	82	
ワークショップ	6	140	
風土記の丘の美術展	1	17,856	令和5年7月22日～8月18日
風土記の空	1	4,976	令和5年11月17日～12月27日
鑑賞学習対応(延べ人数)	1	2,048	幼稚園1校、小学校26校、中学校4校 高校3校 専門学校4校 計38校
博物館実習	1	6	令和5年7月28日～8月2日
ジュニア・インターンシップ	1	4	令和5年11月14日～11月16日
学校連携・対外協力・部局連携	11	305	
合計	51	26,630	

3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総利用者数(人)		65,965	61,352	91,461	107,430	101,880
展覧会	展覧会観覧者数(人)	54,115	56,376	73,704	87,288	75,250
	企画展本数(本)	5	4	5	5	5
普及事業	普及事業参加者数(人)	11,850	4,976	17,757	20,142	26,630
	普及事業回数(回)	48	15	30	43	51

※令和2年度の企画展本数は、「石田智子展」(令和元年度事業)を除く。

利用者数推移グラフ



4) 教育普及事業別参加者数の推移状況

年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アート・トーク	参加者数(人)	248	令和元年度で 終了	令和元年度で 終了	令和元年度 で終了	令和元年度 で終了
	回数	3				
講演会	参加者数(人)	376	140	229	352	425
	回数	5	3	4	5	6
シンポジウム	参加者数(人)	-	-	-	40	-
	回数	-	-	-	1	-
文化講座	参加者数(人)	-	14	54	286	218
	回数	-	1	1	3	2
美術講座	参加者数(人)	172	123	0	155	113
	回数	5	3	0	7	4
スライドトーク	参加者数(人)	-	-	303	102	-
	回数	-	-	10	4	-
アーティスト トーク	参加者数(人)	-	-	110	-	-
	回数	-	-	2	-	-
ギャラリートーク	参加者数(人)	470	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	207	256
	回数	18			8	10
ワークショップ	参加者数(人)	160	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	26	77	140
	回数	4			2	6
ミュージアム・ シアター	参加者数(人)	316	74	304	200	201
	回数	4	2	6	4	6
ミュージアム・ コンサート	参加者数(人)	0	488	72	145	82
	回数	0	2	1	1	1
グリーティング・ イベント	参加者数(人)	222	-	-	-	-
	回数	4	-	-	-	-
風土記の丘の 美術展	参加者数(人)	4,304	新型コロナウイルス 感染症拡大 防止のため中止	4,525	14,984	17,856
	回数	1			1	1
風土記の空	参加者数(人)	1,793	1,787	8,735	1,579	4,976
	回数	1	1	1	1	1
鑑賞学習対応	参加者数(人)	3,780	2,270	3,394	2,008	2,048
	受入れ校数	47	49	60	47	38
博物館実習	参加者数(人)	5	5	5	7	6
	受入れ校数	5	3	3	5	3
ジュニア・ インターンシップ	参加者数(人)	4	0	0	0	4
	受入れ校数	2	0	0	0	1
学校連携・対外協力 部局連携	参加者数(人)	※令和5年度より掲載				305
	回数					11

VI 管理運営

1) 関係法規

郡山市立美術館条例

【設置】

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

(令4条例43・一部改正)

【名称及び位置】

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

【管理】

第3条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、これを管理する。

【事業】

第4条 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1)美術品その他美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2)美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3)美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4)前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

(平22条例78・一部改正)

【観覧料】

第5条 美術館の常設展(美術品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

(1)国民の祝日に関する法律(昭和23年法律178号)に規定する休日に観覧する場合

(2)次項に定める企画展を観覧する場合

2 美術館の企画展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

(平10条例35・一部改正)

【撮影等の許可及び特別観覧料】

第6条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

【観覧料等の不返還】

第7条 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

(1)観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。

(2)その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

【観覧料等の免除】

第8条 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

【入館の制限等】

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

(1)公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。

(2)施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。

(3)この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。

(4)前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

(平22条例78・一部改正)

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

(平22条例78・一部改正)

【美術館協議会】

第11条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例31・令4条例43・一部改正)

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成10年郡山市条例第35号)

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年郡山市条例第31号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年郡山市条例第25号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成22年郡山市条例第78号)

(施行期日)

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

附 則(平成24年郡山市条例第31号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。(経過措置)

2 この条例の施行の際限にこの条例による改正前の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員である者は、この条例による改正後の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員とみなす。

附 則(平成30年郡山市条例第41号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1 【第5条関係】

(平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正)
常設展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

(平13条例31・平15条例25・平30条例41・一部改正)
企画展観覧料

区 分	観覧料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつど市長が定める額	
一 般		

備考

- 1 「団体」とは、20名以上をいう。
- 2 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。

別表第3 【第6条関係】

(平22条例78・一部改正)

特別観覧料

区 分	観覧料	
撮影	モノクローム	1点1回につき 1,600円
	カラー	1点1回につき 3,100円
模 写	1点1日につき	2,100円
模 造	1点1日につき	200円
熟 覧	1点1回につき	200円

備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子(巻物をいう。)は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

郡山市立美術館条例施行規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館条例(平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

【観覧券の交付】

第2条 郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券(第1号様式)を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

【撮影等の許可】

第3条 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書(第3号様式)を申請人に交付する。

【観覧料等の返還】

第4条 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めにやらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合
当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合
教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

【観覧料等の免除】

第5条 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書(第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書(第6号様式)を申請人に交付する。

【開館時間】

第6条 郡山市立美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

【休館日】

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日とする。)

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

【遵守事項】

第8条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(4) 風紀及び秩序を乱さないこと。

(5) その他職員の指示に従うこと。

【委任】

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則(平成6年教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成15年教委規則第4号)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

郡山市立美術館協議会規則

【趣旨】

第1条 この規則は、郡山市立美術館協議会(以下「協議会」という。)の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

【招集】

第2条 協議会は、郡山市立美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

【定例会及び臨時会】

第3条 協議会は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

【会長及び副会長】

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

【職務】

第5条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 協議会は、委員の過半数で成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

【庶務】

第7条 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第8条 この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

郡山市美術品収集評価委員会設置要綱

【設置】

第1条 郡山市が美術品を収集するため、その適正な評価等を行うに当たり、有権者の意見を聴くために開催する郡山市美術品収集評価委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定めるものとする。

【委員会の役割】

第2条 会議は次の事項について意見交換を行う。

- (1)美術品の選定評価に関すること。
- (2)美術品の寄託又は、寄贈に関すること。
- (3)美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

【委員会の構成】

第3条 委員会の委員は、8名以内とし、美術に関する専門的知識を有する者のうちから教育長が依頼する。

2 委員の依頼期間は、2年以内とする。

3 委員会に座長を置き、委員の互選により定める。

【会議】

第4条 委員会の会議は、教育長が招集する。

2 会議は、座長が進行する。

3 座長に事故あるときは、あらかじめ座長の指名する者が会議を進行する。

【庶務】

第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年7月1日から施行する。

2) 名簿・組織（令和5年度）

郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長

（任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日）

- 平塚 学 郡山市立河内小学校長
- 横田 勝秋 郡山市立第四中学校長
- 源田 浩一 日本大学工学部情報工学科教授
- 馬場 典枝 FMいわきパーソナリティ
- 宗像 利訓 本郷焼・宗像窯9代目
- 高澤 俊郎 画家
- 斎藤由美子 白沢ふれあい文化ホール副専門学芸員
- ◎荒木 康子 福島県立美術館専門員
- 瀬谷 賢次 福島交通株式会社郡山支社長
- 高橋 真貴子 （公募）尚志高等学校非常勤講師

郡山市立美術館収集評価委員会

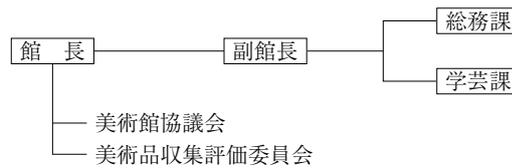
（任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日）

- 齋藤 美保子 郡山女子大学短期大学部副学長
- 古田 亮 東京芸術大学大学美術館教授
- 早川 博明 福島県立美術館前館長
- 猿渡 紀代子 （公財）三溪園保勝会副理事長
- 吉田 尊子 岩手県立美術館学芸普及課長
- 濱崎 礼二 宮城県美術館副館長
- 杉村 浩哉 慶応義塾大学文学部教授
- 唐澤 昌宏 国立工芸館長

郡山市立美術館職員

- 館長 菅野 洋人
- 副館長 杉原 聡
- 学芸課長 永山多貴子
- 総務課長 村越 隆久
- 総務課主任 伊藤 恵子
- 学芸課主任学芸員 富岡 進一
- 学芸課主査(再任用) 中山 恵理
- 学芸課主査 田中有沙子
- 学芸課主査 新田 量子
- 学芸課主査 川上 恵理
- 学芸員 塚本 敬介
- 学芸員 鈴木えみこ
- 会計年度任用職員 武田 幸也

■組織図



3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24㎡
[建築概要]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車123台 バス 8台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス(二面サンドブラスト加工)
展示室壁	不燃クロス貼ペンキ拭取仕上げ
展示室床	木製フローリング(ホワイトオーク)
■設計	(株)TAK建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	(株)方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	(株)和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	(株)ユアテック郡山営業所
空調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	(株)ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業(株)
昇降機設置工事	フジテック(株)仙台営業所
■工期	着工：1990(平成2)年12月18日 竣工：1992(平成4)年6月30日
■建築費	40億円
[設備概要]	
■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン228PS、出力3相200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、LEDスポットライト、直管式LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV監視装置(監視カメラ、14型カラーモニター・四分割型)
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

■空気調和設備

熱源設備

空冷ヒートポンプチラー(圧縮機50KW) 4台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー(圧縮機40KW)

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

空調設備

4管式恒温恒湿制御方式(収蔵庫系統)、4管式再熱制御方式(展示室系統)

VAV方式(普及部門諸室系統)

外調機+ファンコイルユニット方式(事務管理諸室系統)

空調機+ファンコイルユニット方式(エントランスホール・ロビー系統)

その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

■給排水設備

給水設備

圧力給水方式 受水槽10㎡、副受水槽1.5㎡

給湯設備

電気温水器(貯湯量224ℓ、10KW)電気湯沸器(貯湯量40ℓ、4KW)

消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備(収蔵庫)

■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式4.0㎡、ミニガスベンベ脱着方式

■昇降機設備

乗用

750Kg、11人乗り(車椅子対応)

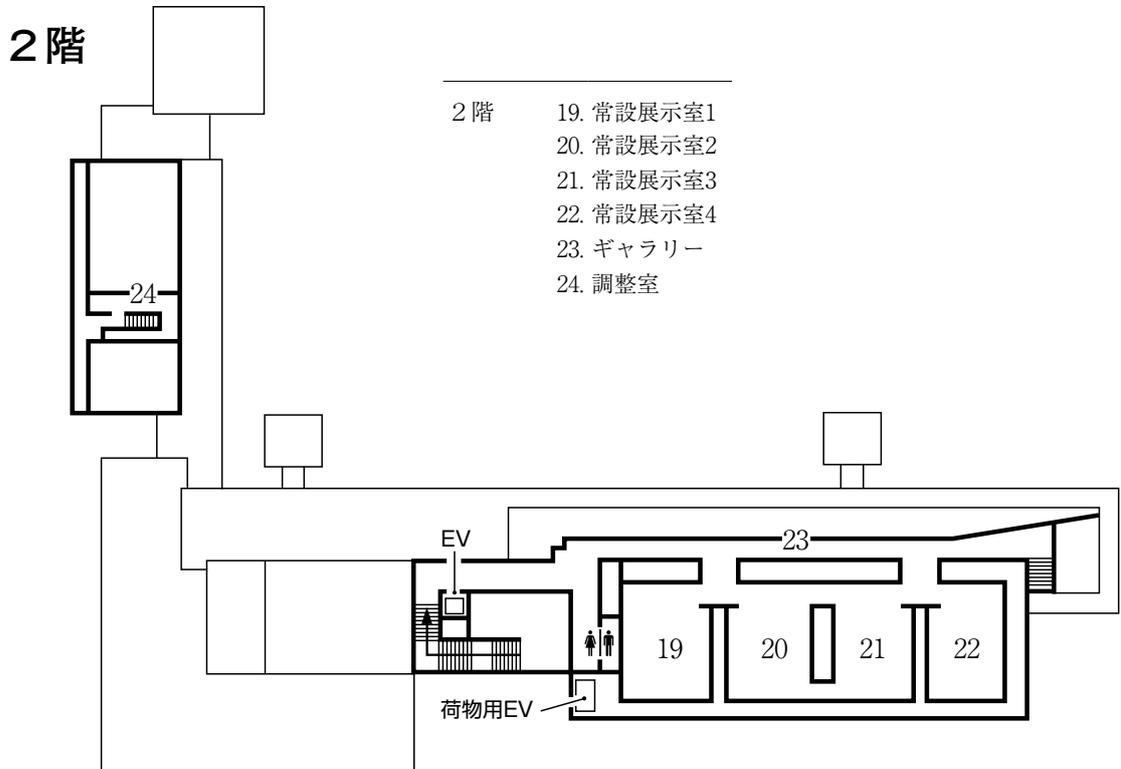
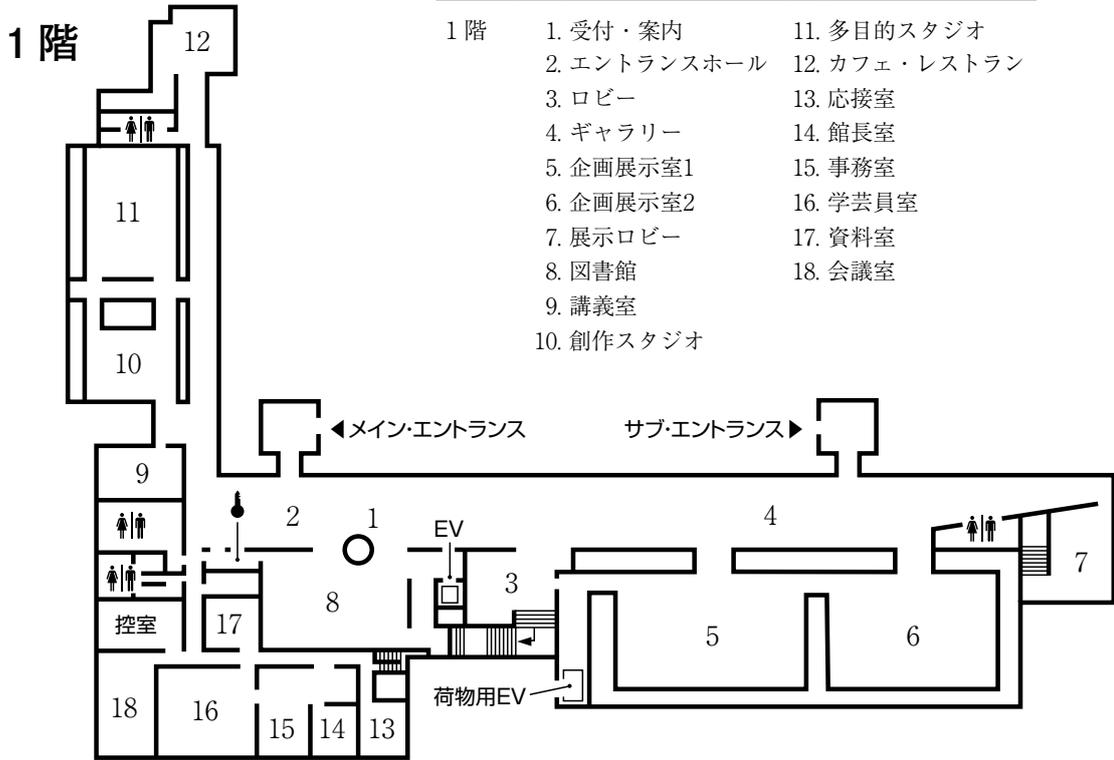
荷物用

3,000 Kg、油圧加速制御

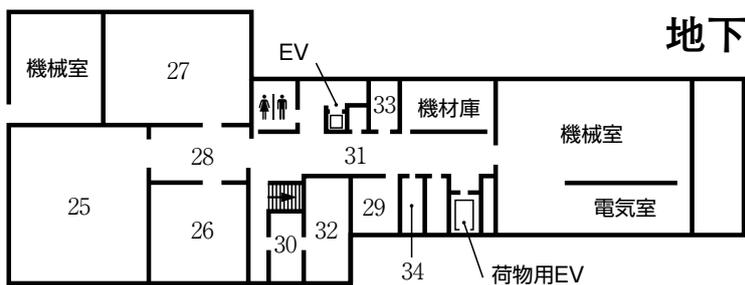
テーブルリフター

2,000 Kg

■平面図・面積表



- 地下
- 25. 収蔵庫1
 - 26. 収蔵庫2
 - 27. 収蔵庫3
 - 28. 収蔵庫前室
 - 29. 修復室
 - 30. 中央監視室
 - 31. 荷解場
 - 32. トラックヤード
 - 33. くん蒸室
 - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m ²	2	常設展示室1~4	932.51 m ²
		1	企画展示室1~2、展示ロビー	1,333.24 m ²
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m ²
収蔵部門	1,040.28 m ²	B1	収蔵庫1~3	618.35 m ²
		B1	収蔵庫前室	61.48 m ²
		B1	器材庫	69.25 m ²
		B1	荷解場	238.71 m ²
		B1	くん蒸室	19.10 m ²
		B1	修復室	33.39 m ²
教育普及部門	570.34 m ²	1	多目的スタジオ	196.42 m ²
		1	創作スタジオ	122.40 m ²
		1	講義室	56.87 m ²
		1	図書室(ビデオコーナーを含む)	194.65 m ²
研究研修部門	117.45 m ²	1	学芸員室	117.45 m ²
管理部門	852.19 m ²	B1	中央監視室	24.22 m ²
		B1	機械室	520.43 m ²
		1	事務室	79.85 m ²
		1	館長室	32.48 m ²
		1	会議室	73.92 m ²
		1	応接室	38.10 m ²
		B1・1	控室	54.52 m ²
		1	資料室	28.67 m ²
サービス部門	702.62 m ²	1	エントランスホール	222.77 m ²
		1	ギャラリー	344.72 m ²
		1	ロッカールーム	16.69 m ²
		1	カフェ・レストラン	118.44 m ²
その他	1,235.11 m ²	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m ²
計	6,848.37 m ²			6,848.37 m ²

4) 利用案内

■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>



■開館時間

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

■交通案内

- 郡山駅から美術館まで約4km
- 乗用車 駐車場(123台、バス8台収容・料金は無料)
- バス 郡山駅前5番のりばから『美術館経由東部ニュータウン行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間10分)



■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、その都度定めた額	
高・学大生	100円	70円		
65歳以上	無料			
中学生以下	無料			
障害者手帳をお持ちの方	無料(手帳を提示)			

郡山市立美術館年報

令和5年度

令和6年7月30日発行

発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350

E-mail bijutsukan@city.koriyama.lg.jp



